

第2章 計画区間及び周辺地域の概況並びに環境の特性

第2章 計画区間及び周辺地域の概況並びに環境の特性

1 周辺地域の概況

(1) 気象

計画区間周辺の風向・風速、気温の測定地点としては、一般環境大気測定局（以下、「一般局」という。）である中原測定局及び幸測定局があげられる。

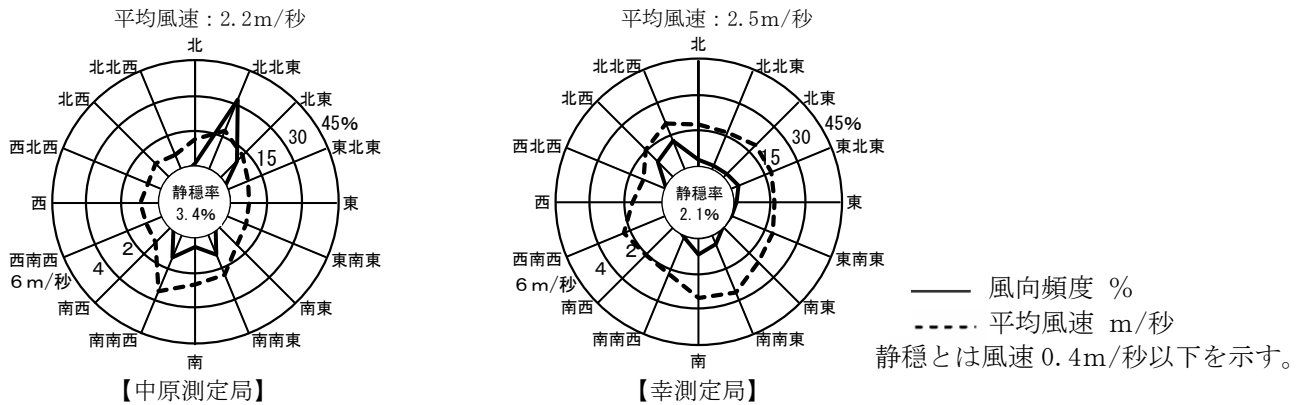
また、降水量の測定地点としては、一般局である田島測定局（川崎市川崎区田島町20-5）があげられる。

計画区間と中原測定局及び幸測定局の位置関係は図2-3に、中原測定局及び幸測定局における令和3年度の風配図は図2-1に、令和3年度の月別平均気温及び田島測定局における令和3年度の月間降水量は図2-2に示すとおりである。

令和3年度の最多風向は中原測定局において北北東、幸測定局において北北西となっており、年平均風速は中原測定局において2.2m/秒、幸測定局において2.5m/秒となっている。

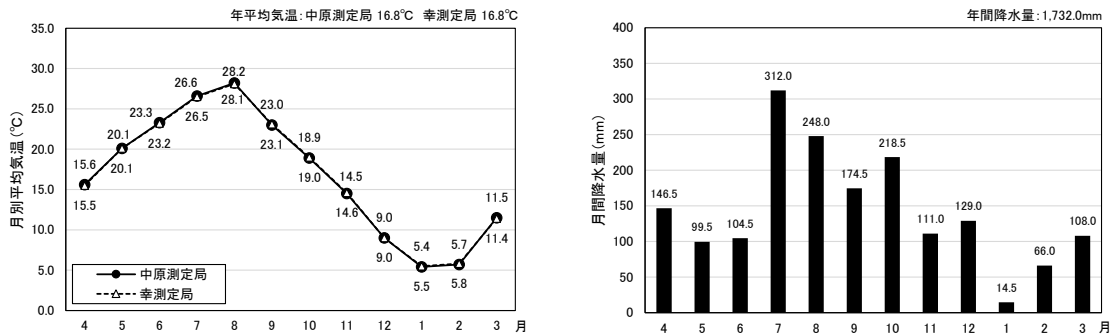
年平均気温は中原測定局及び幸測定局において16.8℃となっている。中原測定局における月別平均気温の最高は8月の28.2℃、最低は1月の5.4℃となっている。幸測定局における月別平均気温の最高は8月の28.1℃、最低は1月の5.5℃となっている。

また、年間降水量は1,732.0mmであり、7月に312.0mmで最大となっている。



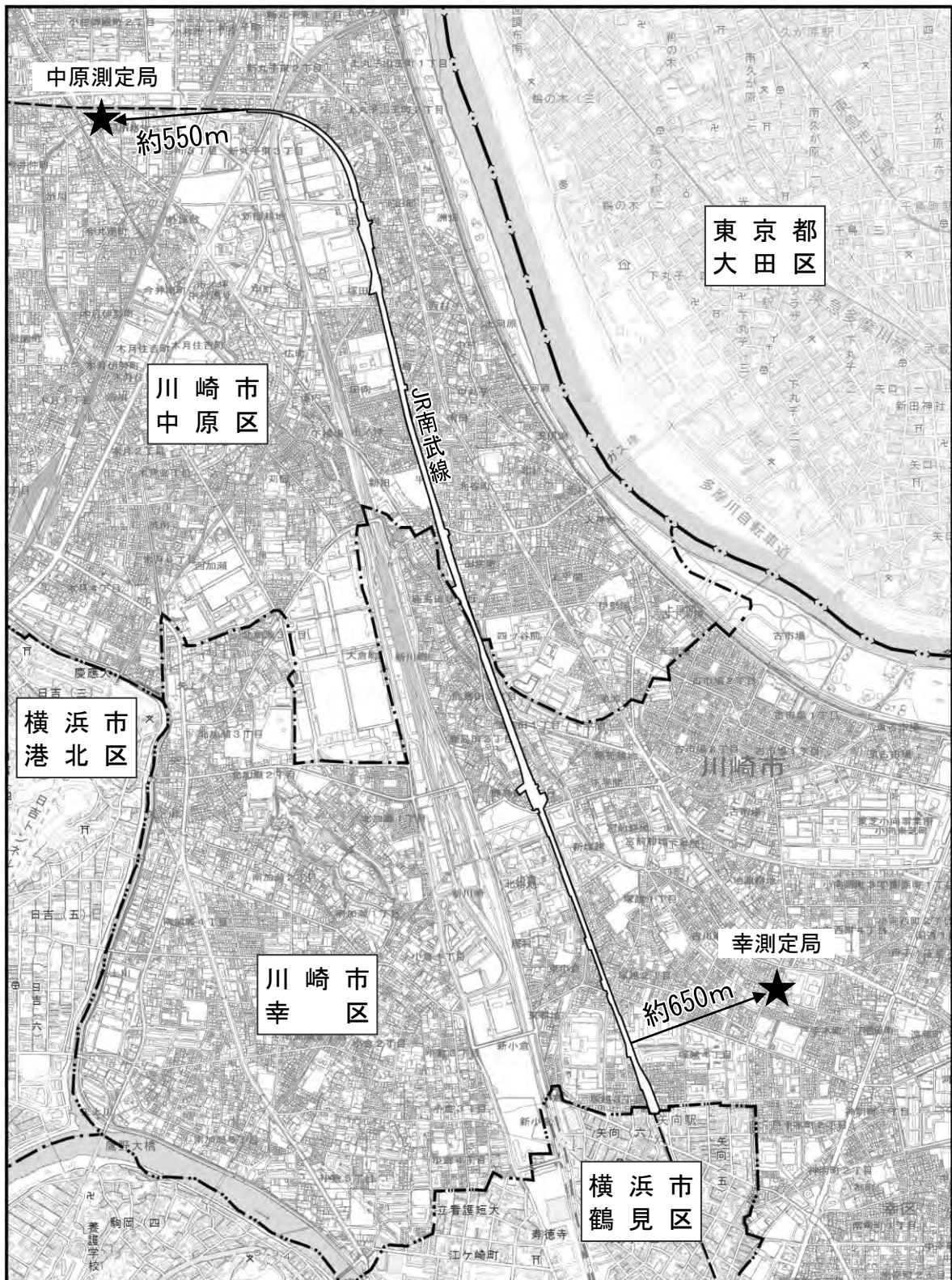
出典：「川崎市大気データ」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）より作成

図2-1 風配図（令和3年度）








出典：「川崎市大気データ」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）より作成

図2-2 気温（中原測定局及び幸測定局）及び降水量（田島測定局）（令和3年度）

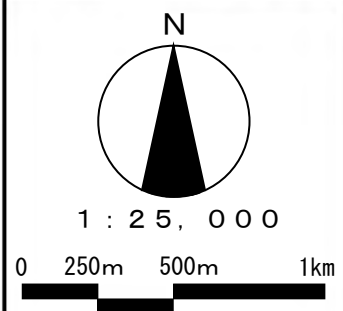


凡 例

- | | |
|--|---|
|  計画区間 |  都県境 |
|  一般局 |  市 境 |
| |  区 境 |

この地図は、「川崎市デジタル地形図 2500 Ver. 5」(川崎市)及び「電子地形図 25000」(国土地理院)を使用したものである。

図2-3 一般局位置図



(2) 地象

ア 地形

計画区間及びその周辺の地形分類図は図2-4に、凡例は図2-7に示すとおりである。

計画区間は、平坦な地形となっているが、計画区間周辺は主に人工地形である盛土地となっており、低地の微高地である自然堤防及び砂堆・砂州や低地の一般面である旧河道も分布している。

イ 土質

計画区間及びその周辺の土壌図は図2-5に、凡例は図2-7に示すとおりである。

計画区間周辺は主に人工改変低地土である市街地及びその他の人工改変低地土となっている。

ウ 地質

計画区間及びその周辺の表層地質図は図2-6に、凡例は図2-7に示すとおりである。

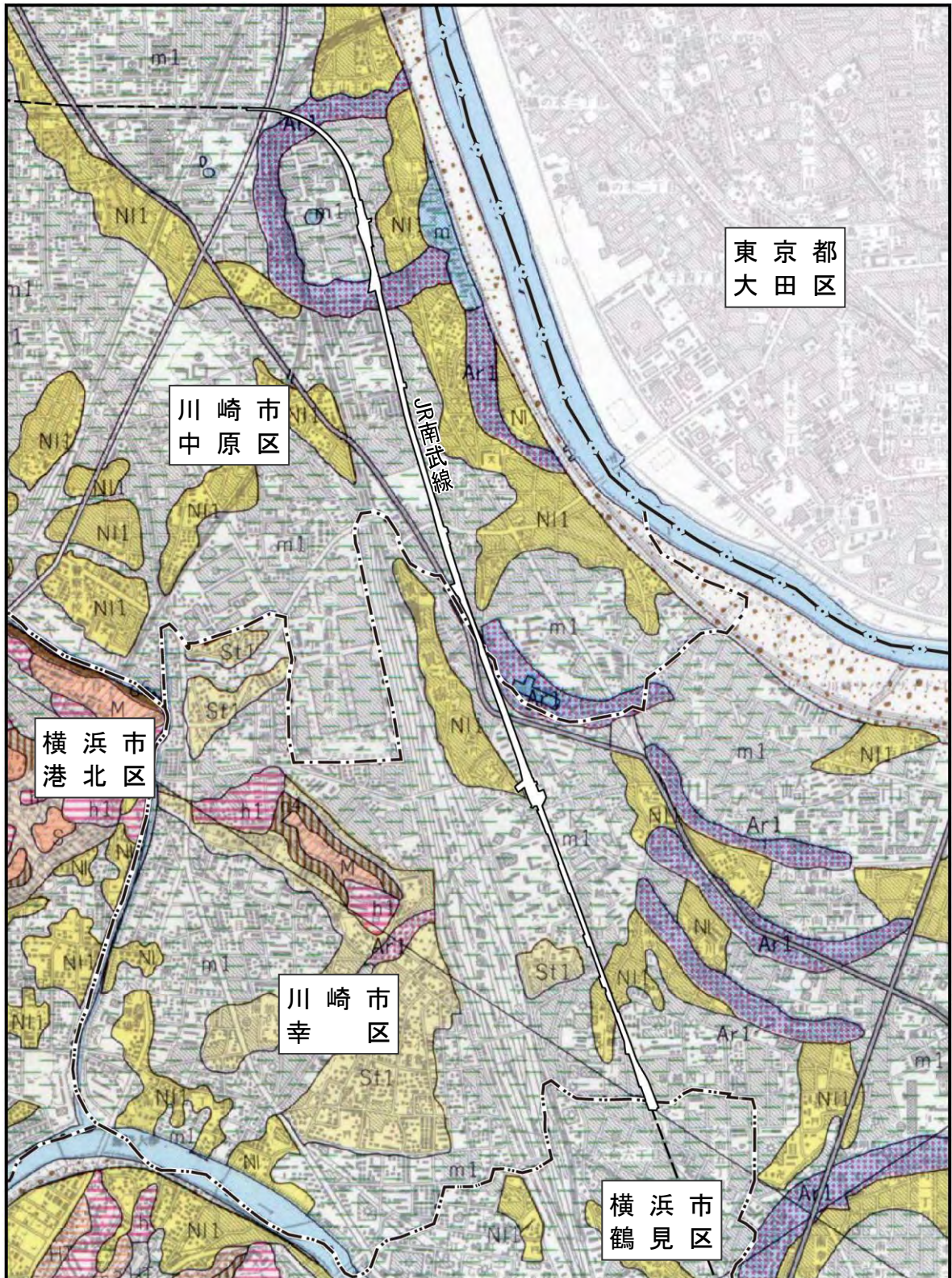
計画区間及びその周辺は、多摩川下流部の三角州性低地に位置し、地質は多摩川に沿って分布する泥層よりなる低湿地堆積物及び旧河道堆積物、砂層よりなる自然堤防及び砂州堆積物となっている。

(3) 水象

計画区間及びその周辺の水象の状況は、図2-8に示すとおりであり、主要な河川として計画区間の東側に多摩川、西側に鶴見川、矢上川及び渋川が位置している。また、主要な用水路として、計画区間及びその北西側に二ヶ領用水が位置している。

「令和2年度 川崎市の災害概要」(令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ)によると、中原区及び幸区の平成28～令和2年度における住家浸水被害発生状況は、床上浸水が計971棟、床下浸水が計149棟である。(このうち、令和元年度については、床上浸水が958棟、床下浸水が144棟である。令和元年度の棟数は、発行済の罹災証明書をもとに集計された件数単位に基づく。)

なお、計画区間及びその周辺では、湧水は確認されていない。

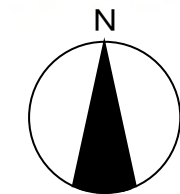


凡例

- 計画区間
- 都県境
- 市境
- 区境

注) 図中の凡例は、図2-7中の凡例と対応する。

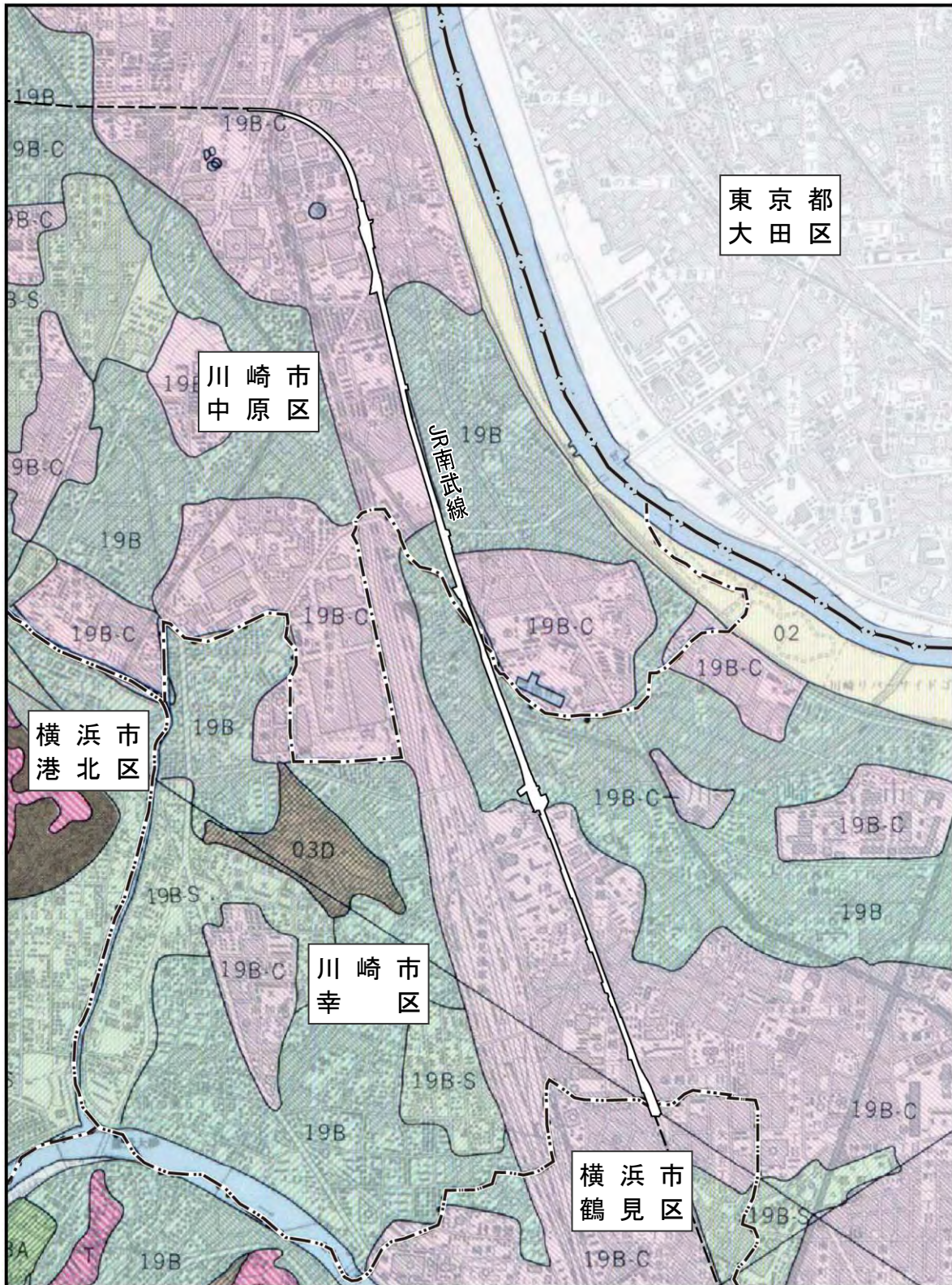
出典: 「土地分類基本調査図(地形分類図)(横浜・東京西南部・東京東南部・木更津)」(昭和63年6月24日指定 神奈川県)



1 : 25,000



図2-4 地形分類図



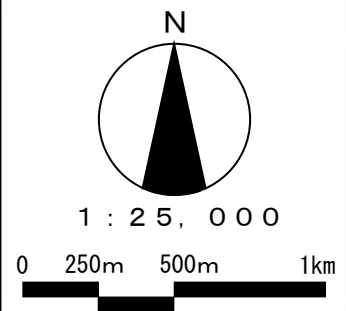
凡例

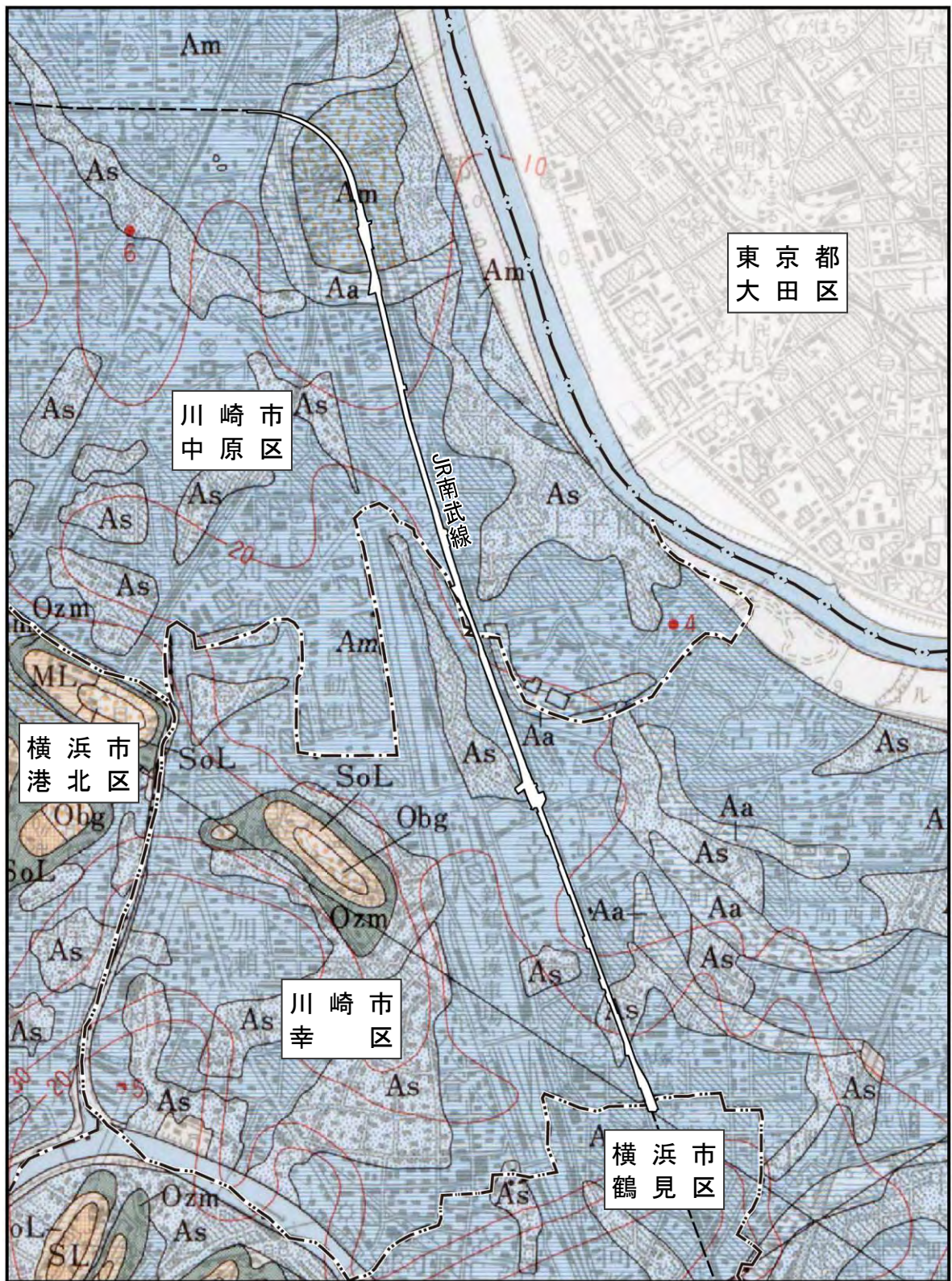
- 計画区間
- 都県境
- 市境
- 区境

注) 図中の凡例は、図2-7中の凡例と対応する。

出典: 「土地分類基本調査図(土壌図)(横浜・東京西南部・東京東南部・木更津)」(昭和63年6月24日指定 神奈川県)

図2-5 土壌図





凡例

- 計画区間
- 都県境
- 市境
- 区境

注) 図中の凡例は、図2-7中の凡例と対応する。

出典: 「土地分類基本調査図(表層地質図)(横浜・東京西南部・東京東南部・木更津)」(昭和63年6月24日指定 神奈川県)

図2-6 表層地質図

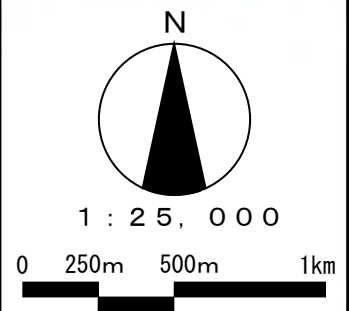


図 2-4 地形分類図の凡例
















段丘地形		人工地形	
	下末吉段丘面群		平坦化地
	武蔵野段丘面群		盛土地
	完新世段丘面群	その他	
低地の微高地			国道・主要地方道
	自然堤防		地形界
	砂堆・砂州		等深線
低地の一般面			
	旧河道		
	河原		

図 2-5 土壌図の凡例

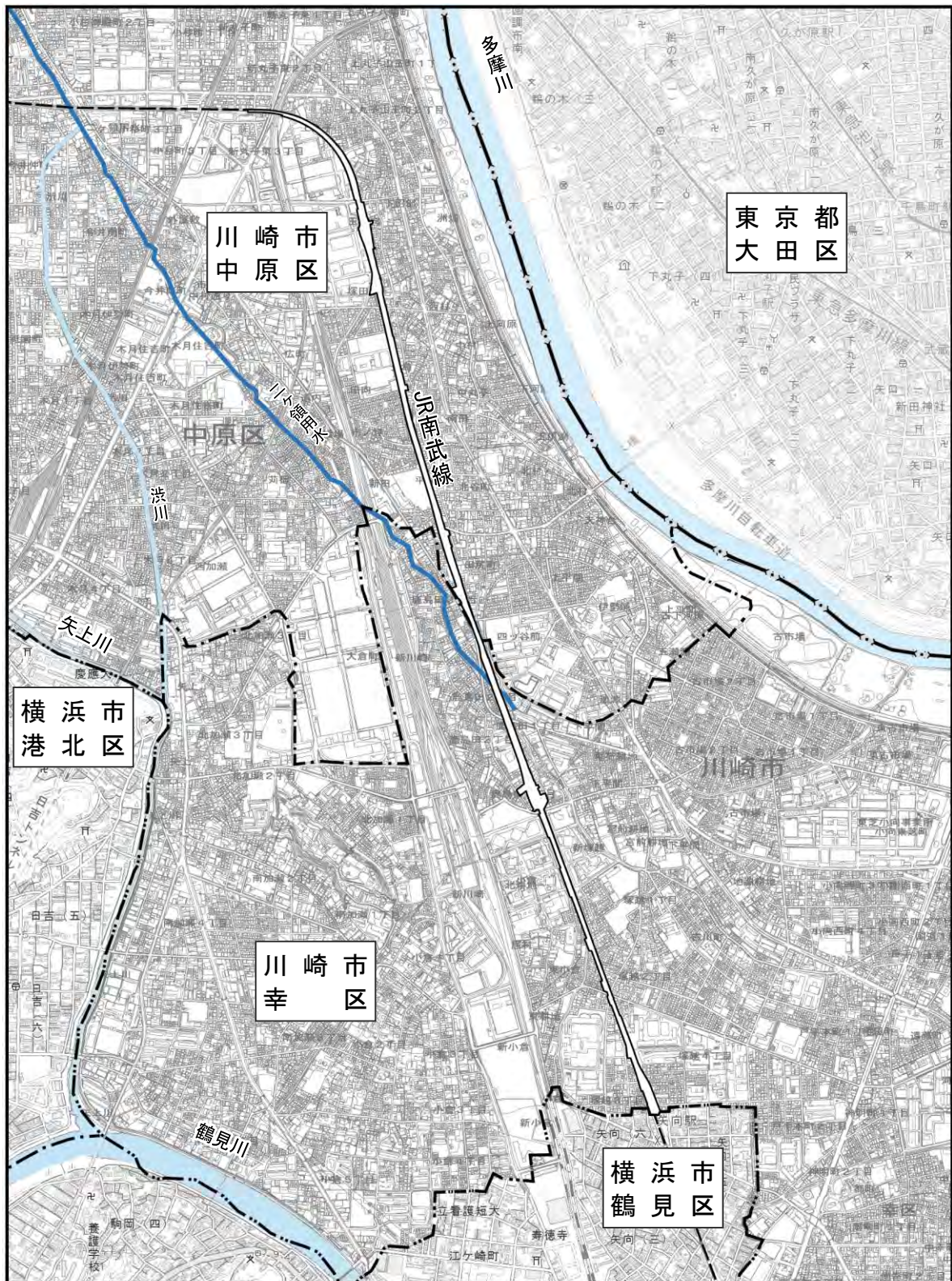
砂丘未熟土		人工改変低地土	
	砂丘未熟土		元水田
黒ボク土			市街地
	表層腐植質黒ボク土		その他の人工改変低地土
灰色低地土		大規模造成地	
	細粒灰色低地土・灰色系		大規模造成地

図 2-6 表層地質図の凡例

泥を主とする		泥勝ち砂・泥互層	
	旧河道堆積物		王禅寺層
	低湿地堆積物	その他	
砂を主とする			走向・傾斜
	自然堤防及び砂州堆積物		断層
火山灰・礫及び砂			推定断層
	武蔵野ローム層・武蔵野礫層		向斜軸
	小原台砂礫層・善行礫層		背斜軸
火山灰・泥、砂及び礫			ボーリングの位置番号
	下末吉ローム層・下末吉層		沖積層の基底の等高度曲線
	早田ローム層、舞岡ローム層 ・鶴見層、舞岡層		

注) 図中の凡例は、図 2-4、図 2-5 及び図 2-6 中の凡例と対応する。

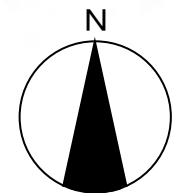
図 2-7 地質分類図、土壌図及び表層地質図の凡例



凡例

- | | | | |
|--|------|--|--------|
| | 計画区間 | | 主要な河川 |
| | 都県境 | | 主要な用水路 |
| | 市境 | | |
| | 区境 | | |

この地図は、「川崎市デジタル地形図 2500 Ver. 5」(川崎市)及び「電子地形図 25000」(国土地理院)を使用したものである。



1 : 25,000

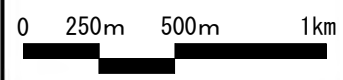


図2-8 計画区間及びその周辺の水象の状況

(4) 植物、動物の状況

計画区間は、現在、そのほとんどが現状のJR南武線の路線となっており、計画区間周辺は、主に市街化区域となっている。

計画区間の東側に流れる多摩川の河川敷では緑地がみられ、「河川水辺の国勢調査（多摩川の調査結果）」（令和4年6月閲覧 国土交通省関東地方整備局ホームページ）によると、スギナやミゾソバ等の植物種が確認されている。また、動物種では、マガモ、アオサギ等の鳥類やアユ、オイカワ等の魚類が確認されており、重要種としては、ダイサギやコチドリ等の鳥類、ヒメハゼ等の魚類が確認されている。

計画区間及びその北西側に位置する二ヶ領用水では、「かわさき水辺の生きものー川と海に出かけてみようー」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）によると、コイ、オイカワ等の魚類が確認されており、絶滅危惧種としては、ミナミメダカ等の魚類が確認されている。また、現地踏査により、マガモ、サギ類、ハクセキレイ等の鳥類が確認されている。

(5) 人口及び産業

ア 人口

計画区間及びその周辺の人口及び世帯数は表2-1に、人口の推移は図2-9に、計画区間及びその周辺の町丁界の状況は図2-10に示すとおりである。

令和4年3月末日時点での計画区間に関する中原区の人口は260,130人、世帯数は136,913世帯、幸区の人口は171,885人、世帯数は85,644世帯、鶴見区の人口は294,081人、世帯数は150,062世帯である。計画区間及び計画区間周辺における人口及び世帯数は、中丸子が最大となっている。

人口の推移は、中原区、幸区及び鶴見区ともに平成30～令和2年まで増加傾向となっており、それ以降は概ね横ばいとなっている。

表2-1 人口及び世帯数

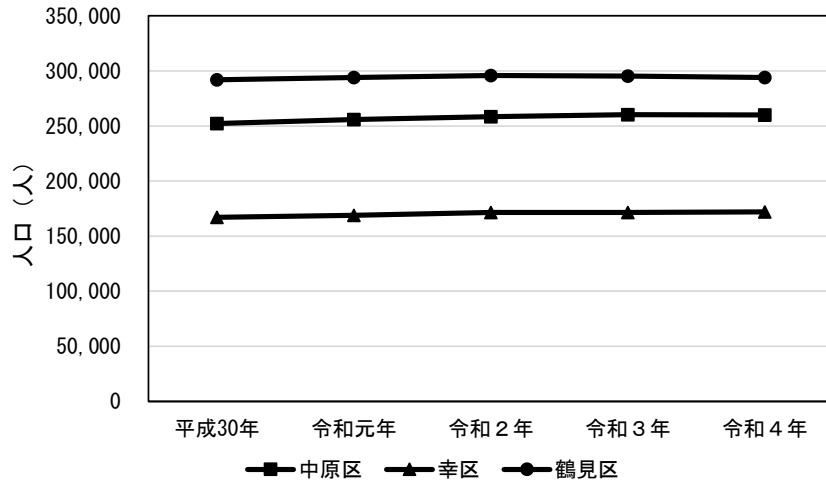
区分	項目	平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年				
		人口(人)	世帯数(世帯)	人口(人)	世帯数(世帯)	人口(人)	世帯数(世帯)	人口(人)	世帯数(世帯)	人口(人)	世帯数(世帯)			
計画区間周辺	川崎市	中原区	市ノ坪	11,048	5,510	11,347	5,684	11,448	5,734	11,426	5,771	11,562	5,867	
			上平間	10,600	5,112	10,599	5,194	10,694	5,286	10,872	5,444	10,766	5,461	
			上丸子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			上丸子山王町1丁目	2,172	1,364	2,215	1,384	2,215	1,377	2,251	1,424	2,153	1,391	
			上丸子山王町2丁目	1,946	1,162	1,969	1,184	1,879	1,125	1,976	1,213	1,969	1,233	
			北谷町	2,468	1,294	2,429	1,294	2,411	1,289	2,384	1,281	2,377	1,293	
			下沼部	4,730	2,667	4,725	2,680	4,739	2,700	4,721	2,718	4,695	2,743	
			新丸子東2丁目	2,238	1,562	2,286	1,604	2,309	1,599	2,234	1,580	2,184	1,573	
			新丸子東3丁目	5,990	2,435	6,023	2,451	6,068	2,491	6,037	2,513	6,078	2,552	
			田尻町	2,087	1,264	2,111	1,294	2,100	1,314	2,044	1,286	2,075	1,313	
	中丸子	15,356	7,199	15,502	7,327	15,474	7,344	15,511	7,418	15,568	7,560			
	幸区	小向西町4丁目	1,777	837	1,780	841	1,921	896	2,114	982	2,137	977		
		紺屋町	1,161	633	1,160	648	1,228	697	1,261	716	1,265	721		
		下平間	7,942	4,057	7,963	4,085	8,062	4,185	8,168	4,270	8,141	4,306		
		新塚越	3,132	1,215	3,154	1,230	3,111	1,221	3,118	1,229	3,088	1,221		
		神明町1丁目	2,288	948	2,292	955	2,305	971	2,288	982	2,304	1,044		
		神明町2丁目	1,565	887	1,597	909	1,586	902	1,506	842	1,488	831		
		塚越1丁目	1,901	851	1,938	856	1,960	859	1,950	853	1,944	858		
		塚越2丁目	3,106	1,519	3,120	1,543	3,126	1,543	3,064	1,522	3,135	1,571		
		塚越3丁目	2,925	1,346	2,909	1,341	2,931	1,361	2,921	1,363	2,898	1,355		
		塚越4丁目	5,937	2,432	5,900	2,448	5,928	2,473	5,896	2,470	5,845	2,457		
		戸手本町1丁目	1,633	841	1,656	835	1,715	877	1,687	828	1,637	800		
		戸手本町2丁目	4,496	1,800	4,518	1,844	4,523	1,847	4,457	1,830	4,459	1,833		
		古川町	3,262	1,533	3,186	1,446	3,224	1,458	3,328	1,547	3,192	1,532		
		南幸町3丁目	3,334	2,000	3,353	2,052	3,489	2,125	3,489	2,142	3,510	2,168		
		都町	726	457	725	449	710	439	708	440	706	429		
		小倉	4,037	1,697	4,028	1,695	4,052	1,722	4,008	1,712	3,967	1,711		
		鹿島田1丁目	2,767	1,387	2,846	1,441	2,843	1,440	2,728	1,394	2,763	1,407		
		鹿島田2丁目	2,305	1,192	2,343	1,212	2,322	1,204	2,398	1,240	2,373	1,230		
		鹿島田3丁目	2,455	1,309	2,428	1,284	2,486	1,329	2,464	1,322	2,452	1,318		
		東小倉	2,484	1,236	2,494	1,228	2,537	1,247	2,573	1,267	2,587	1,314		
	横浜市	鶴見区	矢向5丁目	3330	1817	3361	1829	3324	1816	3,316	1,808	3,283	1,821	
			矢向6丁目	1914	1190	1882	1174	1847	1164	1,839	1,170	1,805	1,138	
中原区			252,321	129,797	255,912	132,148	258,555	134,013	260,313	135,847	260,130	136,913		
幸区			167,086	81,451	168,871	82,727	171,478	84,456	171,487	84,887	171,885	85,644		
川崎市			1,492,038	734,619	1,504,392	746,239	1,517,566	758,490	1,522,098	768,315	1,521,692	774,649		
鶴見区			291,900	144,600	293,915	146,699	295,864	149,115	295,310	149,961	294,081	150,062		
港北区			343,878	168,258	346,670	170,674	349,256	173,033	351,152	175,111	352,113	176,366		
横浜市			3,735,766	1,770,764	3,745,377	1,790,302	3,757,831	1,813,405	3,758,300	1,830,842	3,751,344	1,840,372		

注1) 各年の3月末日の値である。

注2) 町丁区域界は、図2-10に記載のとおりである。

出典：「平成30年～令和4年町別世帯数・人口 3月末日現在」(令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ)

「平成30年(2018)～令和4年(2022) 町別人口」(令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ)



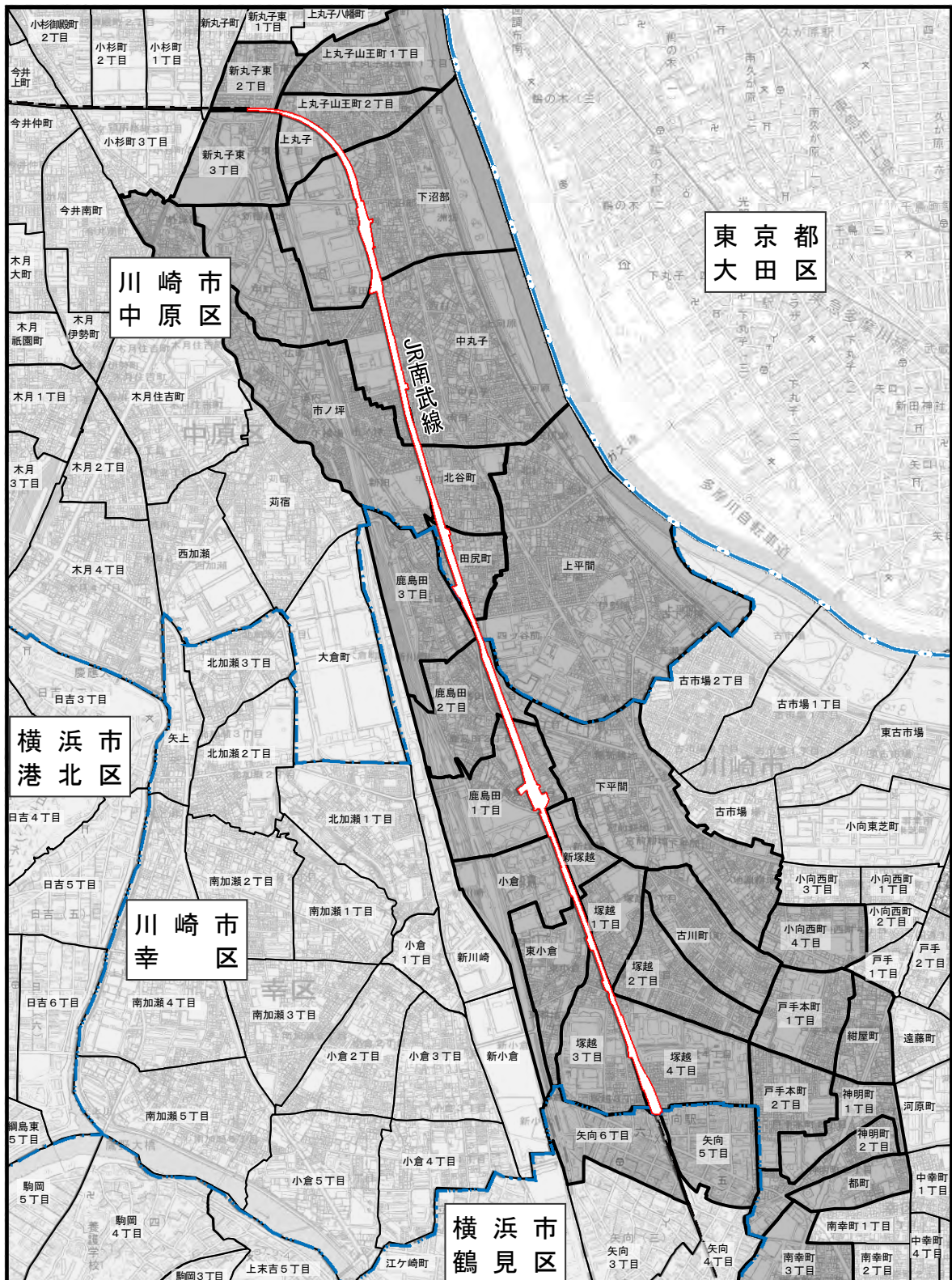
注1) 各年の3月末日の値である。

注2) 町丁区域界は、図2-10に記載のとおりである。

出典：「平成30年～令和4年町別世帯数・人口 3月末日現在」(令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ)

「平成30年(2018)～令和4年(2022) 町別人口」(令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ)

図2-9 人口の推移

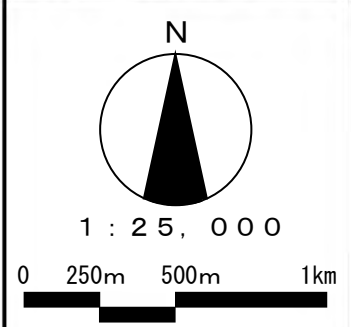


凡例

- 計画区間
- 都県境
- 市境
- 区境
- 町丁の区域 (計画区間周辺)
- 町丁の区域

この地図は、「川崎市デジタル地形図 2500 Ver. 5」(川崎市)及び「電子地形図 25000」(国土地理院)を使用したものである。

図2-10 計画区間及びその周辺における町丁区域図



イ 産業

計画区間及びその周辺の4区における平成28年6月1日現在の産業大分類別事業所数及び従業者数は、表2-2に示すとおりである。

川崎市中原区では事業所が7,053事業所、従業者数が98,137人、幸区では事業所が4,590事業所、従業者数が82,251人となっている。

また、横浜市鶴見区では、事業所が8,754事業所、従業者数が107,135人、港北区では事業所が11,370事業所、従業者数が148,103人となっている。

業種別にみると、横浜市鶴見区を除き、川崎市中原区、幸区及び横浜市港北区では、卸売業、小売業が事業所数及び従業者数ともに最も多くなっている。

表2-2 中原区、幸区、鶴見区、港北区内の事業所数、従業者数（平成28年6月1日現在）

分類	川崎市				横浜市			
	中原区		幸区		鶴見区		港北区	
	事業所数	従業者数 (人)	事業所数	従業者数 (人)	事業所数	従業者数 (人)	事業所数	従業者数 (人)
農業、林業、漁業	4	36	7	141	4	22	12	102
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	433	3,111	462	4,810	1,079	11,059	809	6,874
製造業	528	12,389	349	11,898	807	19,190	1,222	19,634
電気、ガス、熱供給、水道業	1	15	5	213	8	796	2	176
情報通信業	145	15,912	66	10,169	92	1,382	291	11,156
運輸業、郵便業	89	4,290	139	2,390	494	13,834	159	5,123
卸売業、小売業	1,553	19,187	1,103	16,175	1,896	16,395	2,606	35,249
金融業、保険業	87	1,389	47	1,043	81	1,201	152	2,786
不動産業、物品賃貸業	636	3,062	387	1,305	651	2,745	1,364	6,170
学術研究、専門・技術サービス業	278	5,361	149	12,155	328	4,160	579	5,237
宿泊業、飲食サービス業	1,277	10,937	636	5,653	1,116	7,448	1,220	14,081
生活関連サービス業、娯楽業	641	3,371	442	2,709	682	4,187	826	5,383
教育、学習支援業	285	2,613	120	954	272	2,743	387	6,193
医療、福祉	809	11,415	451	7,913	759	12,873	1,114	17,984
複合サービス事業	22	238	17	156	25	165	32	598
サービス業 (他に分類されないもの)	265	4,811	210	4,567	460	8,935	595	11,359
合計	7,053	98,137	4,590	82,251	8,754	107,135	11,370	148,103

出典：「平成28年経済センサス 活動調査結果」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）
「横浜市統計書[Web版]」（令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ）

(6) 土地利用

ア 用途地域

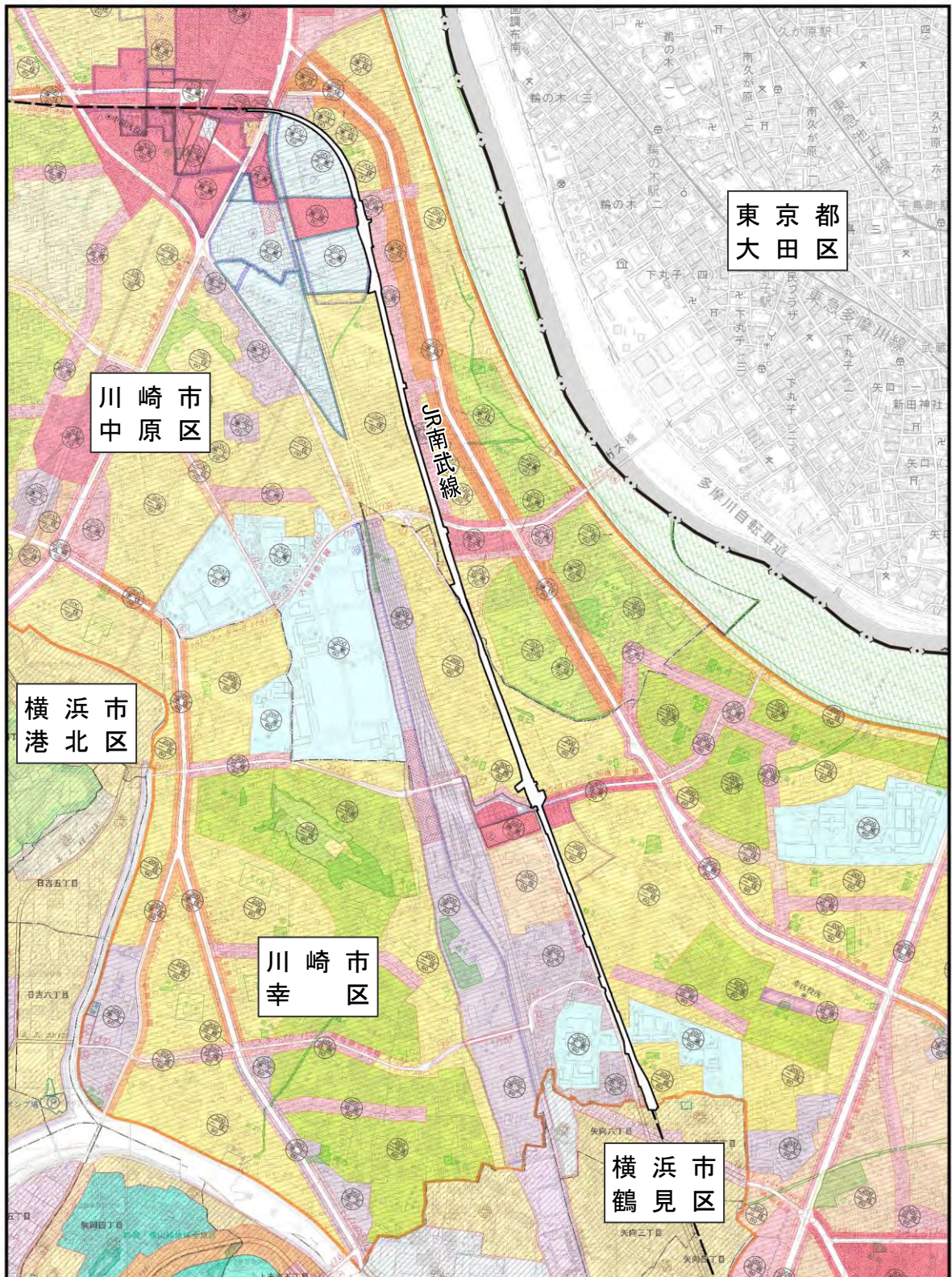
計画区間及びその周辺における都市計画区域の指定状況は図2-11(1)、(2)に示すとおりである。

計画区間周辺は主に市街化区域となっており、第一種住居地域及び第一種中高層住居専用地域が多くみられる。また、計画区間北部には近隣商業地域、商業地域及び工業地域が、計画区間南部には準工業地域及び工業地域が多くみられる。

イ 土地利用の状況

計画区間及びその周辺における土地利用の現況は図2-12(1)、(2)に、空中写真は写真2-1に、計画区間周辺における現況写真は写真2-2に示すとおりである。

計画区間は、現在、そのほとんどが現状のJR南武線の路線（鉄道用地）となっている。計画区間周辺は、主に住宅用地、集合住宅用地となっているほか、学校をはじめとした文教・厚生用地や軽工業用地等がみられる。



凡例
 計画区間 市境
 都県境 区境

出典：「川崎市都市計画図（中原区）」（令和3年3月 川崎市）
 「川崎市都市計画図（幸区）」（令和4年3月 川崎市）
 「横浜市都市計画図（港北区）」（平成31年3月 横浜市）
 「横浜市都市計画図（鶴見区）」（平成31年3月 横浜市）

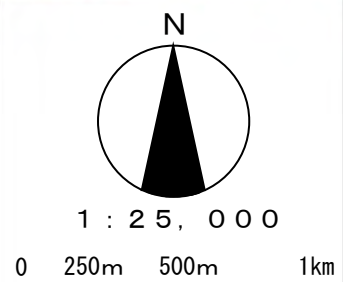
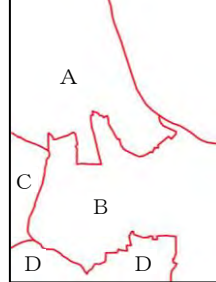


図2-11(1) 都市計画区域の指定状況

川崎市中原区
(色凡例区分：A)

凡		例	
市・区境界	地区計画	市街地再開発事業区域	第一種低層住居専用地域
地区計画	学	一団地の住宅施設	第二種低層住居専用地域
学	下水	ボンプ処理場及び埋	第一種中高層住居専用地域
下水	緑	公園	第二種中高層住居専用地域
緑	公園	都市高速鉄道	第一種住居地域
公園	都市計画道路	都市計画道路	第二種住居地域
都市計画道路	生産緑地地区	生産緑地地区	準住居地域
生産緑地地区	特別緑地保全地区	特別緑地保全地区	近隣商業地域
特別緑地保全地区	風致地区	風致地区	商業地域
風致地区	準防火地域	準防火地域	準工業地域
準防火地域	防火地域	防火地域	工業地域
防火地域	特定街	特定街	高度利用地区
特定街	高度利用地区	高度利用地区	特別工業地区
高度利用地区	特別工業地区	特別工業地区	工業地区
特別工業地区	工業地区	工業地区	準工業地区
工業地区	準工業地区	準工業地区	商業地区
準工業地区	商業地区	商業地区	近隣商業地区
商業地区	近隣商業地区	近隣商業地区	準住居地区
近隣商業地区	準住居地区	準住居地区	第一種住居地区
準住居地区	第一種住居地区	第一種住居地区	第二種住居地区
第一種住居地区	第二種住居地区	第二種住居地区	第一種中高層住居専用地区
第二種住居地区	第一種中高層住居専用地区	第一種中高層住居専用地区	第二種中高層住居専用地区
第一種中高層住居専用地区	第二種中高層住居専用地区	第二種中高層住居専用地区	市街化区域
第二種中高層住居専用地区	市街化区域	市街化区域	

(注) 路線的に用途地域が定められている場合は、原則として、道路(都市計画道路を含む)の境界から奥行25m又は50mとしています。
また、鉄道の沿線については、原則として軌道の中央から50mとしています。

川崎市幸区
(色凡例区分：B)

凡		例	
市・区境界	地区計画	市街地再開発事業区域	第一種低層住居専用地域
地区計画	学	市街	第二種低層住居専用地域
学	ごみ焼却場及び埋	ごみ焼却場及び埋	第一種中高層住居専用地域
ごみ焼却場及び埋	汚物処理場	汚物処理場	第二種中高層住居専用地域
汚物処理場	下水処理場及び埋	下水処理場及び埋	第一種住居地域
下水処理場及び埋	緑	公園	第二種住居地域
緑	公園	都市計画道路	準住居地域
公園	都市計画道路	都市計画道路	近隣商業地域
都市計画道路	生産緑地地区	生産緑地地区	商業地域
生産緑地地区	特別緑地保全地区	特別緑地保全地区	準工業地域
特別緑地保全地区	風致地区	風致地区	工業地域
風致地区	準防火地域	準防火地域	高度利用地区
準防火地域	防火地域	防火地域	特別工業地区
防火地域	特定街	特定街	工業地区
特定街	高度利用地区	高度利用地区	準工業地区
高度利用地区	特別工業地区	特別工業地区	商業地区
特別工業地区	工業地区	工業地区	近隣商業地区
工業地区	準工業地区	準工業地区	準住居地区
準工業地区	商業地区	商業地区	第一種住居地区
商業地区	近隣商業地区	近隣商業地区	第二種住居地区
近隣商業地区	準住居地区	準住居地区	第一種中高層住居専用地区
準住居地区	第一種住居地区	第一種住居地区	第二種中高層住居専用地区
第一種住居地区	第二種住居地区	第二種住居地区	市街化区域
第二種住居地区	第一種中高層住居専用地区	第一種中高層住居専用地区	
第一種中高層住居専用地区	第二種中高層住居専用地区	第二種中高層住居専用地区	
第二種中高層住居専用地区	市街化区域	市街化区域	

(注) 路線的に用途地域が定められている場合は、原則として、道路(都市計画道路を含む)の境界から奥行25m又は50mとしています。
また、鉄道の沿線については、原則として軌道の中央から50mとしています。

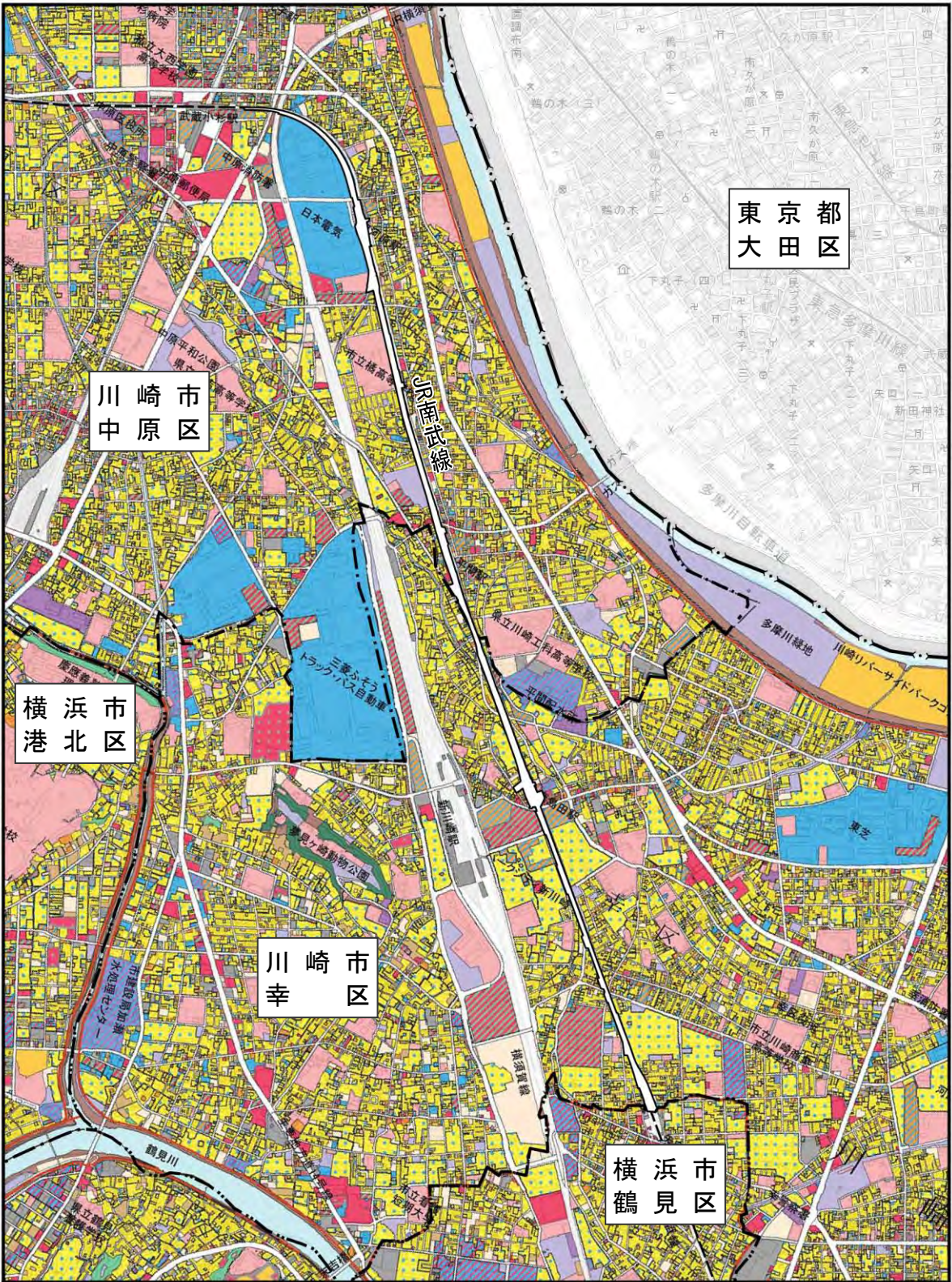
横浜市港北区
(色凡例区分：C)

土地利用		摘 要	
凡	例	略 称	建 築 量 積 算
	市街化調整区域		
	第一種低層住居専用地域	1 低	50/30 - 100/60
	第二種低層住居専用地域	2 低	50/40 - 150/60
	第一種中高層住居専用地域	1 中高	150/60
	第二種中高層住居専用地域	2 中高	150/60
	第一種住居地域	1 住	200/60
	第二種住居地域	2 住	200/60
	準住居地域	準住	200/60
	近隣商業地域	近商	200/80 - 400/80
	商業地域	商業	400/80 - 800/80
	準工業地域	準工	200/60 - 400/60
	工業地域	工業	200/60
	工業専用地域	工専	200/40 - 200/60
	防火地域		
	準防火地域		
	風致地区		注-1は種別
	特別緑地保全地区(緑地保全地区)		
	生産緑地地区		
	駐車場整備地区		
	地区計画等		
都市計画施設			
	自動車専用道路		
	都市計画道路		
	都市高速鉄道		
	駐 車 場	○自動車 ○自転車	
	都市計画交通広場		
	都市計画通路		
	都市計画公園		
	都市計画緑地		
	水再生センター		
	ボ ン プ 場		
	貯 留 施 設		
	河 川		
	教育文化施設		
	病 院		
市街地開発事業			
	土地区画整理事業		
	市街地再開発事業		

横浜市鶴見区
(色凡例区分：D)

土地利用		摘 要	
凡	例	略 称	建 築 量 積 算
	市街化調整区域		
	第一種低層住居専用地域	1 低	50/30 - 100/60
	第二種低層住居専用地域	2 低	50/40 - 150/60
	第一種中高層住居専用地域	1 中高	150/60
	第二種中高層住居専用地域	2 中高	150/60
	第一種住居地域	1 住	200/60
	第二種住居地域	2 住	200/60
	準住居地域	準住	200/60
	近隣商業地域	近商	200/80 - 400/80
	商業地域	商業	400/80 - 800/80
	準工業地域	準工	200/60 - 400/60
	工業地域	工業	200/60
	工業専用地域	工専	200/40 - 200/60
	防火地域		
	準防火地域		
	風致地区		注-1は種別
	臨港地区		
	特別緑地保全地区(緑地保全地区)		
	生産緑地地区		
	高度利用地区		
	地区計画等		
都市計画施設			
	自動車専用道路		
	都市計画道路		
	都市高速鉄道		
	都市計画公園		
	都市計画緑地		
	水再生センター		
	ボ ン プ 場		
	ごみ焼却場		
	市 街 地 再 開 発 事 業		
市街地開発事業			
	市街地改造事業		
	市街地再開発事業		

図 2-11(2) 都市計画区域の指定状況



凡 例

- 計画区間
- 市 境
- 都県境
- 区 境

出典：「神奈川県土地利用現況図[川崎東]（平成 27 年度都市計画基礎調査）」
 （平成 31 年 神奈川県土地整備局都市部都市計画課）

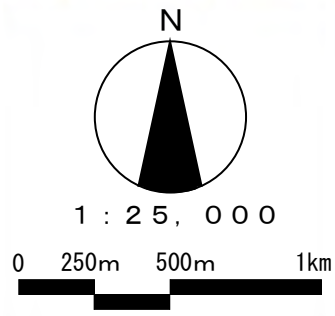


図 2-12(1) 土地利用現況図

土地利用現況図の凡例



















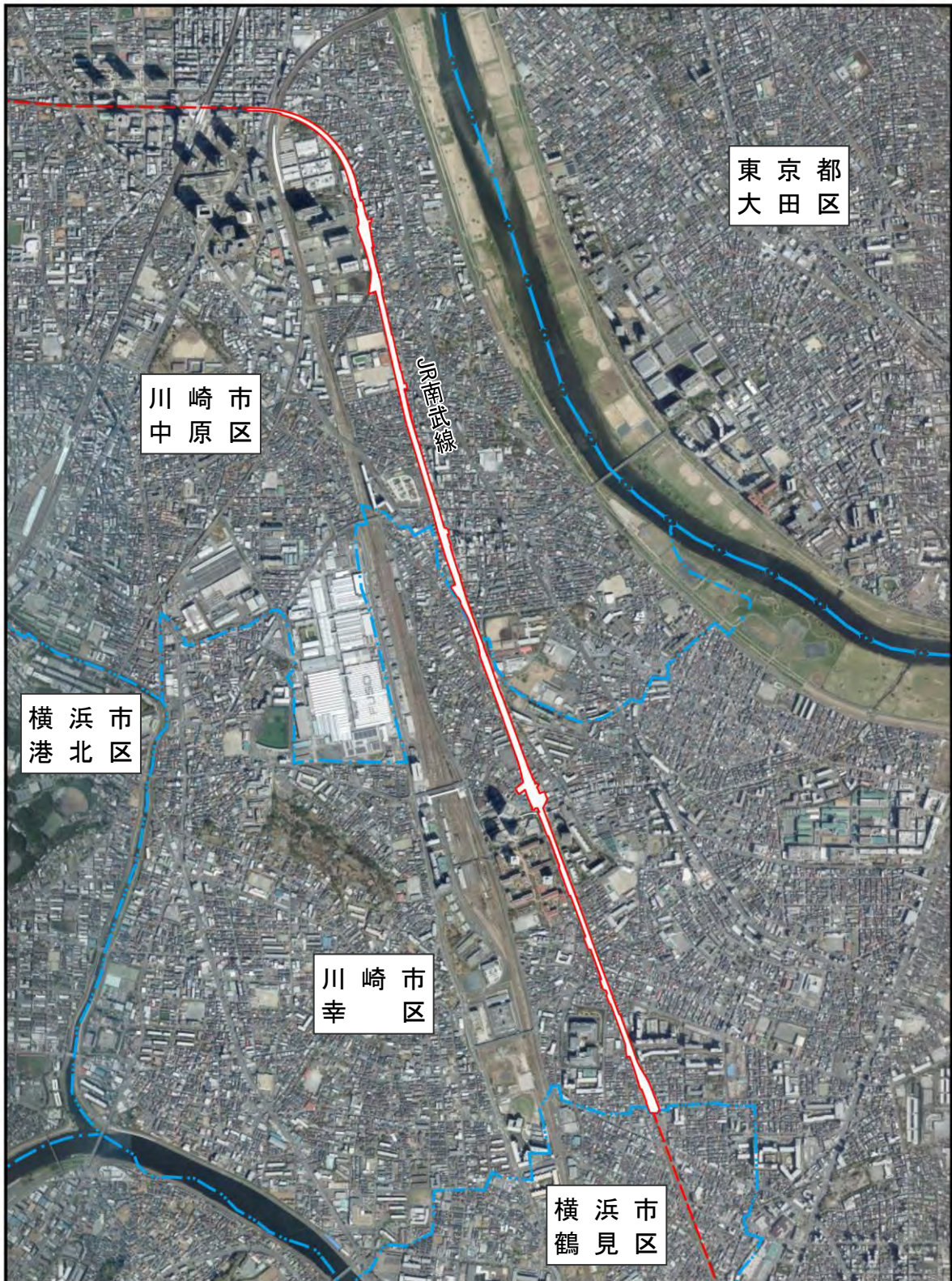
		土 地 利 用 分 類 Land Use Classification	彩 色 Color
自然 的 土 地 利 用 Natural Land Use	農 地 Agricultural Land	田 (水田) Rice Paddy	
		畑 (畑、果樹園、養鶏場、農業施設用地) Field(field,orchard,poultry farm,agricultural facility)	
		耕作放棄地 Uncultivated Fields	
	山 林 Forest	平地地山林 (傾斜度 15 度未満の山林) Forest on the Flat Ground	
		傾斜地山林 (傾斜度 15 度以上の山林) Forest on the Hill or Mountain	
	河川、水面、水路 River,Lake,Waterway		
	荒地、海浜、河川敷 Wasteland,Seashore,Riverbed		
都 市 的 土 地 利 用 Urban Land Use	住宅用地 Detached House		
	集合住宅用地 Apartment House		
	併 用 住 宅 用 地 Detached House with Dual Purpose	店舗併用住宅用地 Detached House with a Store	
		作業所併用住宅用地 Detached House with a Workshop	
	併用集合住宅用地 Apartment House with Stores		
	業務施設用地 Business Area		
	商業用地 Commercial Area		
	宿泊娯楽施設用地 Hotel and Recreational Facility		
	重化学工業用地 Heavy Chemical Industry Area		
	軽工業用地 Light Industry Area		
	運輸施設用地 Transportation Facility		
	公共用地 Land for Public Utilization		
	供給処理施設用地 Public Utilities Processing Facility		
	文教・厚生用地 (学校、病院、図書館、公民館、寺院) Educational and Welfare Facility(school,hospital,library,public hall,temple)		
	公共空地 (都市公園、広場、緑地、運動場等) Public Open Space(city park,vacant lot,green space,athletic field,etc)		
	民間空地 (ゴルフ場、企業・大学等のグラウンド、民地の広場等) Private Open Space(golf course,athletic field of a company,college,etc.,vacant lot,etc.)		
	その他の空地(未建築宅地、用途変更中の土地、屋外利用地) Other Vacant Lots		
	防衛施設 (自衛隊、米軍提供施設) The Self-Defence Forces and U.S.Military Facilities		
	道路用地 (駅前広場、道路(私道、農道、林道を含む)) Road		
	鉄道用地 Railway		
農振農用地 Farmland inAgricultural Promotion Area			
市街化区域と市街化調整区域の境界 Border of Urbanization Promotion Area and Urbanization Control Area			

図 2-12(2) 土地利用現況図



凡 例

- 計画区間
- <·> 都県境
- 市 境
- · - 区 境

注) 撮影時期は平成 30 年 5 月及び平成 31 年 4 月である。
 出典: 「GEOSPACE CDS プラス」 ((C) NTT インフラネット, DigitalGlobe Inc.)

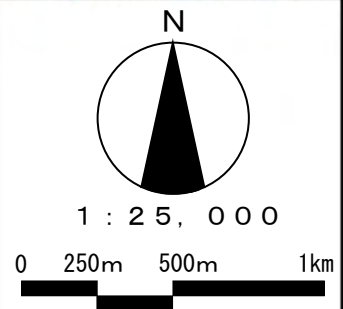


写真 2-1 空中写真



①：塚越踏切南西側 北東方向を望む



②：鹿島田駅南側 北方向を望む



③：鹿島田駅東側 西方向を望む



④：平間駅東側 西方向を望む



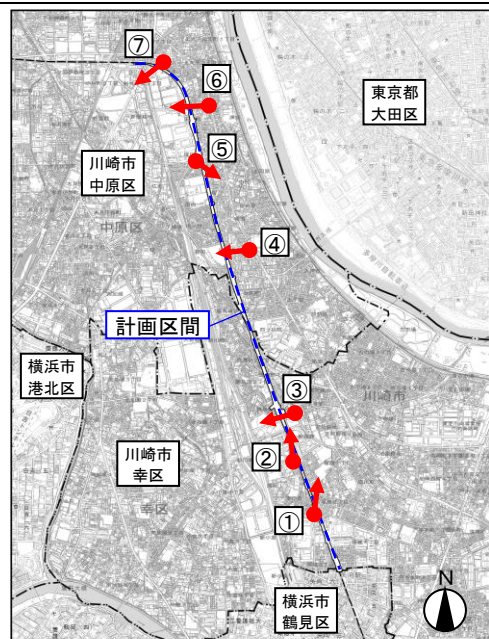
⑤：川崎市立橋高等学校東側 南東方向を望む



⑥：向河原駅東側 西方向を望む



⑦：JR 武蔵小杉駅北東側 南西方向を望む



撮影地点図（撮影日：令和4年5月18日）

この地図は、「川崎市デジタル地形図 2500 Ver.5」（川崎市）及び「電子地形図 25000」（国土地理院）を使用したものである。

写真 2-2 計画区間周辺における現況写真

(7) 交通及び運輸

ア 道路交通

計画区間及びその周辺の主な道路は、図2-13に示すとおりである。

計画区間及びその周辺の主な道路として、一般国道409号、東京丸子横浜及び大田神奈川線が計画区間と一部交差している。

計画区間及びその周辺の道路交通センサス（全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査）の調査結果は、表2-3(1)～(3)に示すとおりである。

平成27年度の結果をみると、平日昼間の12時間交通量は、計画区間と交差する一般国道409号（区間番号：10160～10200）で5,666～17,009台、東京丸子横浜（区間番号：40020～40040）で13,784～17,827台、大田神奈川線で（区間番号：60060～60160）4,339～10,905台となっている。なお、計画区間及びその周辺における主な道路の平日昼間12時間交通量の最大値は、一般国道1号（区間番号：10005）で28,344台となっている。

表2-3(1) 道路交通センサス調査結果（平日）

道路名	区間番号 ^{注1)}	観測地点 ^{注2)}	年度	昼間12時間交通量 (台/12時間)	12時間大型車混入率 (%)
一般国道1号	10005	幸区小向仲野4	17	35,430	15.0
		幸区柳町58-3	22	26,347	15.2
		幸区小向仲野町5	27	28,344	12.9
	10010	幸区小向仲野4	17	35,430	15.0
		幸区柳町58-3	22	26,347	15.2
		幸区神明町1-41	27	26,363	16.2
一般国道409号	10160	幸区下平間20	17	20,193	17.2
		川崎区駅前本町26	22	22,364	28.6
		幸区戸手4-7	27	14,283	22.5
	10170	幸区下平間20	17	20,193	17.2
		幸区下平間214	22	19,654	13.7
			27	17,009	16.9
	10180	幸区鹿島田45	17	6,605	19.5
		幸区鹿島田48	22	6,903	16.8
		幸区鹿島田3-6	27	5,666	18.5
	10190	幸区鹿島田45	17	6,605	19.5
		—	22	6,903	19.5
		中原区中丸子150	27	7,019	18.1
	10200	中原区宮内264	17	10,115	18.2
		中原区宮内2-1	22	8,741	20.2
		中原区小杉御殿町2-77	27	8,160	18.3

注1) 区間番号は、平成27年度調査の番号を示す。

注2) 「—」については、調査は行われていないが、斜体で示した交通量及び大型車混入率の推定値が示されている。

出典：「平成17年度全国道路交通情勢調査（道路交通センサス 一般交通量調査）（国土交通省）

「平成22年度全国道路交通情勢調査（道路交通センサス 一般交通量調査）（国土交通省）

「平成27年度全国道路交通情勢調査（道路交通センサス 一般交通量調査）（国土交通省）

表 2-3(2) 道路交通センサス調査結果 (平日)

道路名	区間 番号 ^{注1)}	観測地点 ^{注2)}	年 度	昼間 12 時間 交通量 (台/12 時間)	12 時間 大型車 混入率 (%)
東京丸子横浜	40020	中原区丸子通 1-467	17	25,164	13.0
			22	21,549	11.0
		中原区新丸子東 3-1156	27	13,784	16.1
	40030	中原区木月住吉町 2050	17	16,401	13.0
		中原区木月 4-33	22	16,518	12.4
		中原区木月住吉町 33	27	17,827	12.9
	40040	中原区木月住吉町 2050	17	16,401	13.0
		中原区木月 4-32	22	14,082	11.6
			27	14,117	10.9
鶴見溝ノ口	40290	幸区小倉 1658	17	12,279	—
			22	12,890	17.5
		横浜市鶴見区上末吉 5-12	27	14,683	18.1
	40300	幸区小倉町 1658	17	12,279	21.1
			22	12,890	17.5
		幸区小倉 5-18	27	12,541	17.1
	40310	幸区北加瀬 457	17	15,147	19.4
		—	22	<i>15,716</i>	<i>19.4</i>
		幸区北加瀬 2-17	27	18,437	17.3
	40320	幸区北加瀬 457	17	15,147	19.4
		幸区矢上 4	22	15,716	12.3
			27	15,210	18.2
	40330	幸区北加瀬 457	17	15,147	19.4
		幸区矢上 4	22	15,716	12.3
		高津区明津 231	27	15,622	17.8
幸多摩線	40470	幸区小向仲野町 15	17	8,737	40.1
		幸区戸手 4-3	22	9,286	35.0
			27	8,079	34.7
	40480	中原区等々力 2900	17	13,014	32.8
		中原区等々力 20	22	12,233	30.0
		高津区下野毛 1-13	27	11,928	30.0

注 1) 区間番号は、平成 27 年度調査の番号を示す。

注 2) 「—」については、調査は行われていないが、斜体で示した交通量及び大型車混入率の推定値が示されている。

出典：「平成 17 年度全国道路交通情勢調査 (道路交通センサス) 一般交通量調査」(国土交通省)

「平成 22 年度全国道路交通情勢調査 (道路交通センサス) 一般交通量調査」(国土交通省)

「平成 27 年度全国道路交通情勢調査 (道路交通センサス) 一般交通量調査」(国土交通省)

表2-3(3) 道路交通センサス調査結果（平日）

道路名	区間 番号 ^{注1)}	観測地点 ^{注2)}	年度	昼間 12 時間 交通量 (台/12 時間)	12 時間 大型車 混入率 (%)
大田神奈川線	60060	中原区上平間 337	17	6,298	15.5
			22	5,443	12.3
			27	5,232	15.1
	60070	幸区南加瀬 5-34 中原区市ノ坪 628	17	13,520	14.5
			22	4,989	13.4
			27	4,339	11.4
	60080	中原区上平間 337 中原区荏宿 56	17	6,298	15.5
			22	4,709	17.2
			27	4,387	20.7
	60090	幸区南加瀬 5-34	17	13,520	14.5
			22	12,686	8.5
			27	10,905	13.0
60160	鶴見区駒岡 2-18 神奈川区西寺尾 1-25 —	17	10,229	—	
		22	7,035	14.9	
		27	8,986	14.9	
川崎駅丸子線	80010	中原区上丸子山王町 幸区下平間 23-17	17	13,904	15.2
			22	11,647	15.8
			27	10,728	16.5
	80020	中原区上丸子山王町 中原区上丸子山王町 2	17	13,904	15.2
			22	12,904	13.2
			27	11,261	17.1
	80030	中原区上丸子山王町 中原区上丸子山王町 2 中原区小杉町 2-276	17	13,904	15.2
			22	12,904	13.2
			27	13,101	17.1
	80040	中原区上丸子山王町 中原区上丸子山王町 2 中原区上丸子山王町 1-865	17	13,904	15.2
			22	12,904	13.2
			27	2,384	19.2
小杉菅線	80130	中原区今井上町 83	17	12,818	15.2
			22	12,376	12.9
			27	11,148	13.7
川崎町田線	60230	鶴見区駒岡 5-1 — 上末吉	17	15,742	—
			22	14,959	20.5
			27	14,521	18.3

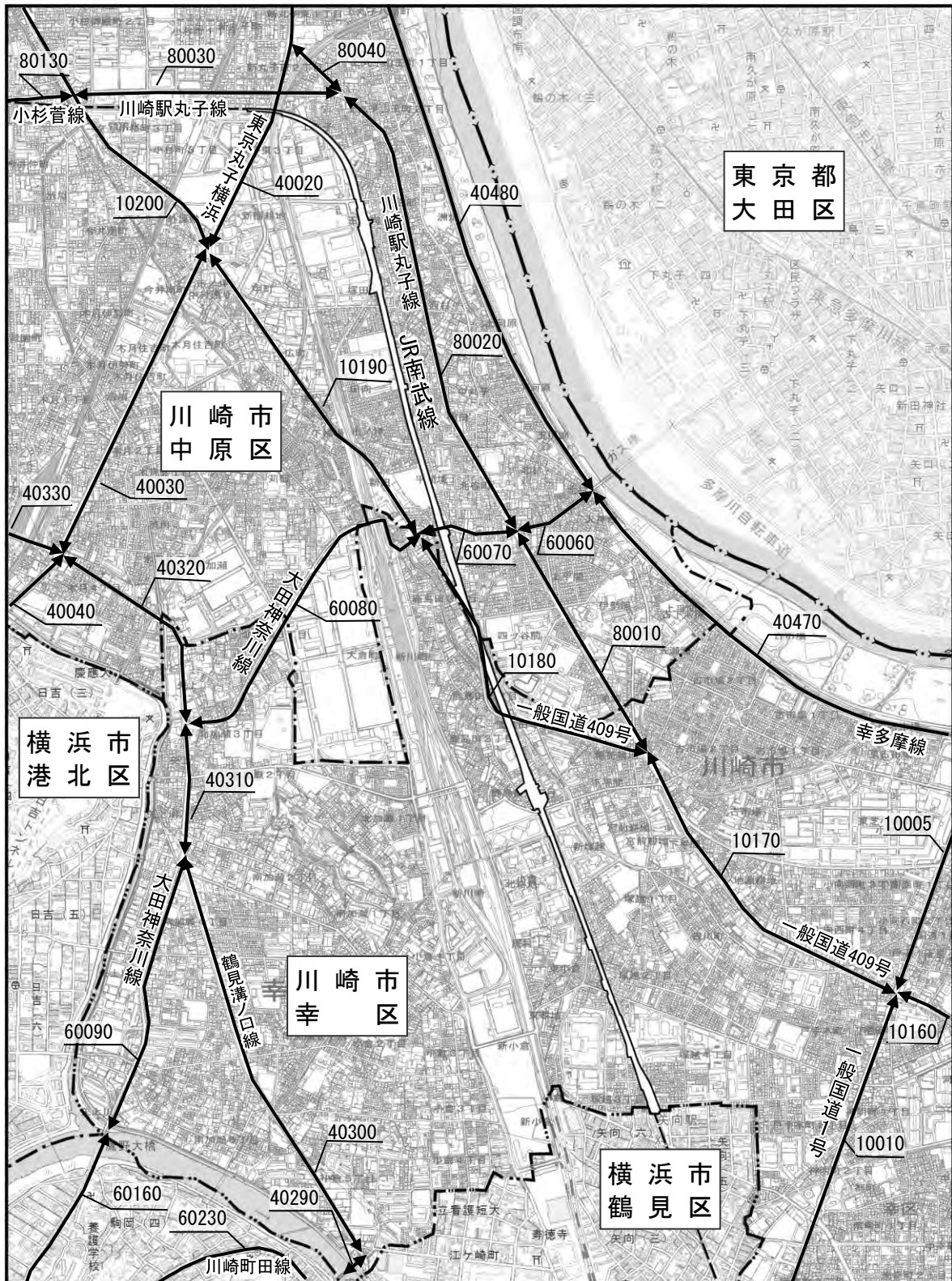
注1) 区間番号は、平成 27 年度調査の番号を示す。

注2) 「—」については、調査は行われていないが、斜体で示した交通量及び大型車混入率の推定値が示されている。

出典：「平成 17 年度全国道路交通情勢調査（道路交通センサス）一般交通量調査」（国土交通省）

「平成 22 年度全国道路交通情勢調査（道路交通センサス）一般交通量調査」（国土交通省）

「平成 27 年度全国道路交通情勢調査（道路交通センサス）一般交通量調査」（国土交通省）

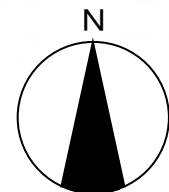


凡例

- 計画区間
- 市境
- 調査区間
- 都県境
- 区境
- 区間番号

出典：「平成 17 年度全国道路交通情勢調査（道路交通センサス）一般交通量調査」（国土交通省）
 「平成 22 年度全国道路交通情勢調査（道路交通センサス）一般交通量調査」（国土交通省）
 「平成 27 年度全国道路交通情勢調査（道路交通センサス）一般交通量調査」（国土交通省）

この地図は、「川崎市デジタル地形図 2500 Ver. 5」（川崎市）及び「電子地形図 25000」（国土地理院）を使用したものである。



1 : 25,000



図 2-13 道路状況図

イ 鉄道

計画区間及びその周辺の鉄道の状況は、図2-14に示すとおりである。

計画区間周辺には、東急東横線及び東急目黒線が走行しており、そのほか本事業のJR南武線と概ね並行してJR湘南新宿ライン及びJR横須賀線が走行、東海道新幹線と計画区間とが一部交差している。

また、計画区間及びその周辺の駅別乗車人員等は、表2-4(1)、(2)に示すとおりである。

計画区間周辺に位置する駅の令和3年度におけるJR線の1日平均乗車人員は、6,758～91,146人であり、JR南武線の武蔵小杉駅の乗車人員が最も多い。また、東急線の1日平均乗降車人員は、15,201～128,947人であり、東急東横線の武蔵小杉駅の乗降者人員が最も多い。

表2-4(1) JR線における駅別乗車人員（令和3年度）

路線名	駅名	1日平均乗車人員(人)
JR 南武線	武蔵小杉駅	91,146
	向河原駅	6,758
	平間駅	11,781
	鹿島田駅	14,392
	矢向駅	15,135
JR 横須賀線	新川崎駅	20,666

注) JR南武線及びJR横須賀線の値は、乗車人員のみの値であり、降車人員等は含まれていない。
出典：「各駅の乗車人員 2021年度」（令和4月6月閲覧 JR東日本ホームページ）

表2-4(2) 東急線における駅別乗降車人員（令和3年度）

路線名	駅名	1日平均乗降人員(人)
東急東横線	武蔵小杉駅	128,947
	元住吉駅	37,060
東急目黒線	武蔵小杉駅	36,951
	元住吉駅	15,201

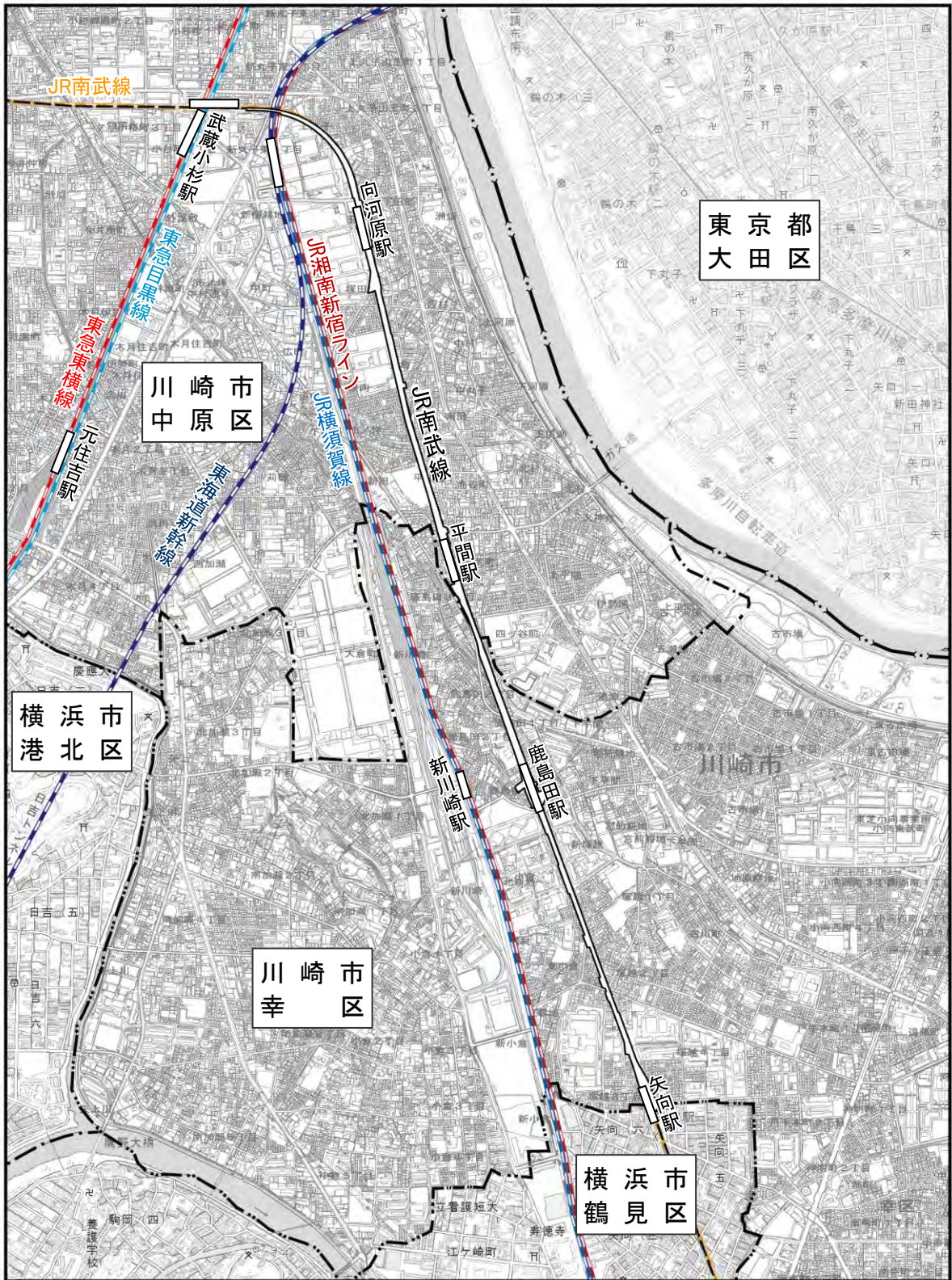
注) 東急東横線及び東急目黒線の値は、他社線との相互乗換人員及び相互直通運転による通過人員を含む。

出典：「2021年度乗降人員」（令和4月6月閲覧 東急電鉄株式会社ホームページ）

ウ バス

計画区間及びその周辺のバス路線及びバス停留所は、図2-15に示すとおりである。

計画区間及びその周辺では、国道をはじめとした主要道路沿いにバス網が整備されており、最寄りのバス停留所としては、「平間駅前」、「田尻町」、「鹿島田中町」、「鹿島田駅前」等がある。

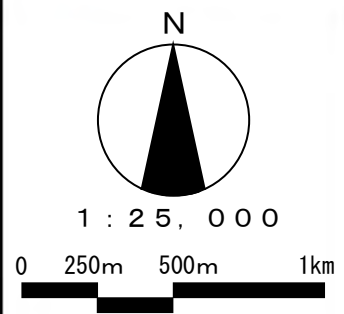


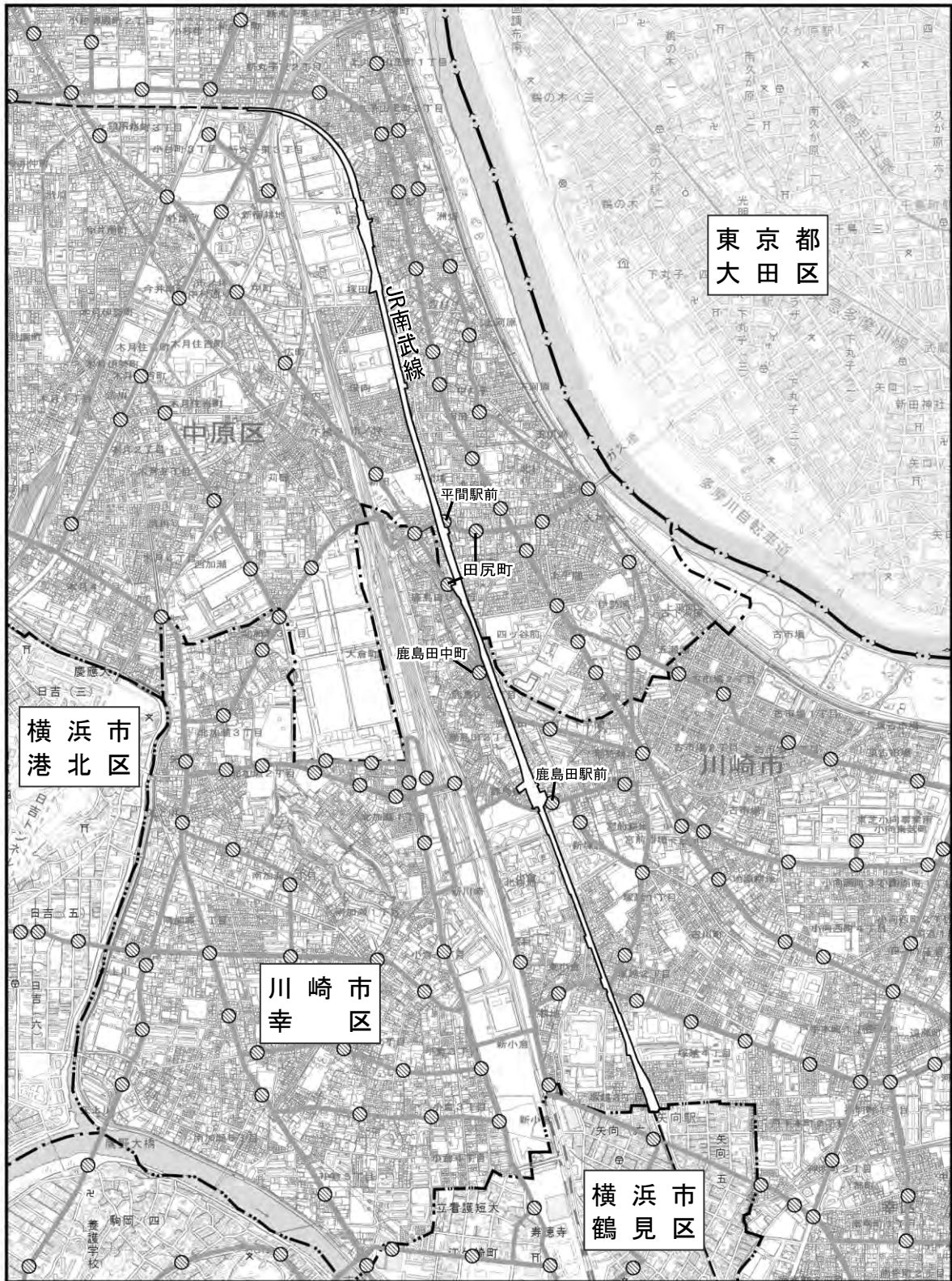
凡例

- 計画区間
- 都県境
- 市境
- 区境
- 鉄道網

この地図は、「川崎市デジタル地形図 2500 Ver. 5」(川崎市)及び「電子地形図 25000」(国土地理院)を使用したものである。

図2-14 鉄道状況図





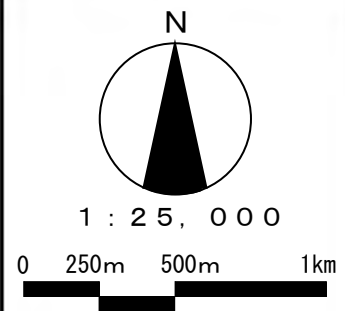
凡 例

- | | | | | | |
|--|------|--|-----|--|-------|
| | 計画区間 | | 市 境 | | バス路線 |
| | 都県境 | | 区 境 | | バス停留所 |

出典：「さいわいガイドマップ 2022」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）
「中原区ガイドマップ」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）
「市営バスマップ」（令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ）

この地図は、「川崎市デジタル地形図 2500 Ver.5」（川崎市）及び「電子地形図 25000」（国土地理院）を使用したものである。

図2-15 バス路線及びバス停留所図



(8) 公共施設等

ア 主要公共施設等

計画区間周辺の主要公共施設等は表2-5(1)～(6)に、分布の状況は図2-16(1)～(4)に示すとおりである。

計画区間周辺の教育施設としては、計画区間西側に隣接して玉川中学校及び橘高等学校が存在する。

計画区間周辺の保育園としては、計画区間東側に隣接してぶどうの実平間園が、計画区間内にはにじいろ保育園鹿島田が存在する。

計画区間周辺の病院としては、計画区間東側約80mに鹿島田病院が存在する。

計画区間周辺の高齢者福祉施設としては、計画区間東側に地域包括支援センターかしまだが、計画区間内には中丸子いこいの家が存在する。

計画区間周辺の市民利用施設としては、計画区間東側約60mにこども家庭センターが、西側約70mにしゃんぐりらベビーホームが存在する。

表2-5(1) 計画区間周辺の主要公共施設等（幼稚園・学校）

区分	市	区	No.	名称	所在地	区分	市	区	No.	名称	所在地
幼稚園	川崎市	中原区	1	月影学園幼稚園	木月 1-6-36	小学校	川崎市	幸区	33	古川小学校	古川町 70
			2	大西学園幼稚園	小杉町 2-284				34	東小倉小学校	東小倉 1-1
			3	サクラノ幼稚園	下沼部 2033				35	下平間小学校	下平間 175
			4	大楽幼稚園	木月 4-22-32				36	古市場小学校	古市場 1-1
			5	東住吉幼稚園	今井南町 10-58				37	日吉小学校	北加瀬 1-37-1
			6	平間幼稚園	上平間 550				38	小倉小学校	小倉 2-20-1
		幸区	7	梅園幼稚園	南幸町 1-39			39	南加瀬小学校	南加瀬 4-24-1	
			8	みのり幼稚園	紺屋町 12			40	夢見ヶ崎小学校	南加瀬 2-13-1	
			9	小鳩幼稚園	古市場 1772			41	上末吉小学校	上末吉 5-24-1	
			10	日吉幼稚園	南加瀬 3-34-7						
			11	小峰幼稚園	小倉 5-11-5			42	矢向小学校	矢向 3-8-1	
			12	白山幼稚園	北加瀬 2-13-2						
			13	川崎こまどり幼稚園	南加瀬 1-18-9						
			鶴見区	14	鹿島田幼稚園			鹿島田 2-22-44	43	矢上小学校	日吉3-23-1
				15	第二ひかり幼稚園			古川町 16			
横浜市	16	泉幼稚園		矢向5-3-25							
	17	矢向幼稚園	矢向 4-22-38								
	18	チロル幼稚園	日吉 3-10-23								
小学校	川崎市	中原区	19	下河原小学校	上平間585	中学校	川崎市	中原区	44	平間中学校	上平間1368
			20	平間小学校	上平間1480				45	玉川中学校	中丸子562
			21	玉川小学校	北谷町32				46	住吉中学校	木月住吉町27-1
			22	下沼部小学校	下沼部1955				47	今井中学校	今井仲町7-1
			23	荻宿小学校	荻宿25-1				48	大西学園中学校	小杉町2-284
			24	木月小学校	木月4-53-1				49	法政大学第二中学校	木月大町 6-1
			25	住吉小学校	木月祇園町17-1				50	御幸中学校	戸手 4-2-1
			26	東住吉小学校	木月住吉町1-11						
			27	上丸子小学校	上丸子八幡町815						
		幸区	28	大西学園小学校	小杉町2-284			51	塚越中学校	塚越 1-60	
			29	南河原小学校	都町18						
			30	御幸小学校	遠藤町1						
			31	西御幸小学校	小向西町4-30						
			32	戸手小学校	戸手本町1-165						
高等学校	川崎市	中原区	54	橘高等学校	中丸子 562						
			55	川崎工科高等学校	上平間 1700-7						
			56	住吉高等学校	木月住吉町 34-1						
大学	川崎市	幸区	57	大西学園高等学校	小杉町 2-284						
			58	法政大学第二高等学校	木月大町 6-1						
			59	幸高等学校	戸手本町 1-150						
支援学校	川崎市	鶴見区	60	看護短期大学	小倉 4-30-1						
			61	慶應義塾大学理工学部 矢上キャンパス	日吉 3-14-1						
			62	中原養護学校住吉分教室	木月住吉町 34-1						
			63	鶴見養護学校	駒岡 4-40-1						

出典：「中原区ガイドマップ」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）
「さいわいガイドマップ2022」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）
「つるみ生活・防災マップ」（令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ）
「港北区ガイドマップ」（令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ）
「子ども・教育に関する施設」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）
「幼稚園・認定こども園一覧」（令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ）
「横浜市立学校名簿」（令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ）
「神奈川県立特別支援学校」（令和4年6月閲覧 神奈川県ホームページ）
「県内大学一覧」（令和4年6月閲覧 神奈川県ホームページ）

表 2-5(2) 計画区間周辺の主要公共施設等（保育園）

区分	市	区	No.	名称	所在地	区分	市	区	No.	名称	所在地
保育園	川崎市	中原区	1	中丸子保育園	中丸子1155	保育園	川崎市	中原区	33	武蔵小杉コスモス保育園	今井南町7-54
			2	ひらま保育園	上平間366 (令和4年9月に移転予定)				34	アスク今井南保育園	今井南町9-35
			3	ひらま乳児保育園					35	すこやか小杉保育園	新丸子東3-447-2
			4	木月保育園	木月4-42-14				36	第2武蔵小杉コスモス保育園	今井仲町2-32
			5	新日本保育園	木月伊勢町3-3				37	レイモンド元住吉保育園	木月住吉町2-24
			6	すみれ保育園	木月住吉町1-12				38	木月ほほえみ保育園	木月4-14-5
			7	多摩保育園	上丸子山王町2-1337				39	みらいく木月園	木月4-28-2
			8	にじいろ保育園南平間	上平間1183				40	ニチイキッズひらま保育園	北谷町24-3
			9	アスク武蔵小杉保育園	小杉町1-526-5				41	あいみー平間保育園	北谷町21-2
			10	ベネッセ武蔵小杉保育園	新丸子東3-1100-12				42	武蔵小杉雲母(きらら)保育園	市ノ坪363-7
			11	すみよしのはら保育園	木月祇園町17-2				43	しらかし保育園	上丸子山王町1-1454
			12	たんぼぼのはら保育園	市ノ坪223-9				44	天才キッズクラブ楽学館武蔵小杉園	上丸子山王町2-1369-1
			13	こすぎっこ保育園	新丸子東2-901				45	元住吉おおぞら保育園	木月祇園町9-24
			14	わおわお元住吉保育園	木月2-17-1				46	京進のほいくえんHOPPAパークシティ武蔵小杉園	小杉町2-228-1
			15	らいらくく保育園	木月伊勢町6-1				47	にじいろ保育園新丸子	新丸子964-3
			16	長幼会玉川保育園	北谷町61				48	そらいろ武蔵小杉保育園	上丸子山王町1-1390
			17	アスク平間保育園	北谷町7-7				49	中原区保育・子育て総合支援センター中原保育園	小杉陣屋町2-3-1
			18	アスク向河原保育園	中丸子364-1				50	まめの木保育園	小杉町3-1501
			19	ベネッセ元住吉保育園	木月3-35-20				51	ミアヘルサ保育園ひびき元住吉	西加瀬2-2
			20	小学館アカデミーかりやど保育園	荻宿3-6				52	小杉もりのこ保育園	市ノ坪386-4
			21	茶々なかまち保育園	今井仲町2-28				53	アイン武蔵小杉保育園	中丸子1246-6
			22	まなびの森保育園小杉	新丸子東3-1241-4				54	まなびの森保育園向河原	中丸子324-1
			23	ベネッセ市ノ坪保育園	市ノ坪375				55	ピュアリー小杉御殿町保育園	小杉御殿町2-119-14
			24	小学館アカデミーしんまるこ保育園	新丸子東2-902-1				56	エクセレント武蔵小杉保育園	小杉町2-313
			25	アスク元住吉南保育園	木月4-1-30				57	かしの実保育園	木月1-33-15
			26	ポピンズナーサリースクール武蔵小杉	小杉町3-472				58	ベネッセ武蔵小杉第二保育園	小杉町3-600
			27	グローバルキッズ武蔵小杉園	新丸子東3-1135				59	あおいろ保育園	木月3-20-43
			28	心花保育園	木月祇園町15-6				60	にじいろ保育園武蔵小杉	中丸子245-5
			29	茶々むさしこすぎ保育園	今井仲町5-25				61	ももすもも保育園	木月住吉町6-21
			30	ぶどうの実平間園	北谷町693-10				62	サンライズ向河原保育園	下沼部1769-6
			31	ポポラー川崎武蔵小杉園	市ノ坪449-3				63	京進のほいくえんHOPPA下沼部園	下沼部1945
			32	わらべうた武蔵小杉保育園	新丸子東2-924-65				64	保育ルームClover武蔵小杉園	新丸子東3-953

出典：「子ども・教育に関する施設」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）

「ここ de サーチ」（令和4年6月閲覧 子ども・子育て支援情報公表システムホームページ）

表 2-5(3) 計画区間周辺の主要公共施設等（保育園）

区分	市	区	No.	名称	所在地	区分	市	区	No.	名称	所在地
保育園	川崎市	幸区	65	夢見ヶ崎保育園	南加瀬3-4-8	保育園	川崎市	幸区	96	保育園アレッタ	南幸町3-3
			66	おぐら保育園	小倉4-6-23				97	京進のほいくえん HOPPA南河原	神明町2-29-6
			67	ひよし保育園	南加瀬2-9-20				98	あいみー南加瀬保育園	南加瀬3-4-20
			68	どりーむ保育園	北加瀬1-31-5				99	プレシヤススターズ 保育園小倉園	小倉3-2-23
			69	にじいろ保育園塚越	塚越4-345-11				100	第2ひまわりほいくえん	北加瀬2-1-24
			70	保育園フェリチッタ	南幸町2-76				101	保育室びよびよ	戸手1-5-11
			71	つくし保育園	戸手本町2-420-1				102	ピュアリー鹿島田保育園	古川町140-4
			72	にじいろ保育園新川崎	小倉1-4-24				103	ヤクルト鹿島田保育園	下平間131
			73	新川崎もりのこ保育園	新川崎3-1				104	さいわい保育園	都町36-11
			74	ふくじゅ保育園	鹿島田1-21-8				105	プレシヤススターズ保育 園	塚越3-427-5
			75	鹿島田もりのこ保育園	下平間290				106	保育Roomことり	塚越2-161
			76	キディ古市場保育園	古市場2-97-2				107	保育所tomorrow鹿島田園	古川町7-4
			77	どりーむ東小倉保育園	東小倉2-36				108	(仮称) MIRAGE	南幸町2-80
			78	かわの風保育園	戸手2-12-10				109	保育所ひまわり	小倉1-14-9
			79	SPACE KID 保育園	下平間259-1				110	チャイルドタイム鹿島田 エンゼルホーム	新塚越1-2
			80	にじいろ保育園北加瀬	北加瀬2-11-4				111	保育所ひまわり 2	小倉1-4-14
			81	マジオたんぼぼ保育園下 平間	下平間386-1				112	ちぐさ保育園	下平間108-5
			82	小学館アカデミー しんかわさき保育園	鹿島田1-1-3				113	エンジェルナーサリー 鹿島田園	鹿島田2-20-53
			83	小倉はなかご保育園	小倉4-15-8				114	保育所アネックス	南加瀬3-4-3
			84	ミアヘルサ保育園ひびき 鹿島田	下平間143-16				115	保育所ひまわり 3	新小倉2-3
			85	ミアヘルサ保育園ひびき 夢見ヶ崎	南加瀬1-13-5				116	河原町保育園	河原町1
			86	保育園リエッタ	南幸町2-9				117	みなみがわら保育園	河原町1-77
			87	マミー保育園新川崎	新川崎5-2				118	古川保育園	古川町120
			88	まなびの森保育園矢向	小倉3-1-15				119	ねむの樹北加瀬保育園	北加瀬3-19-1
			89	幸いづみ保育園	南幸町3-149-3				120	新川崎えほんの森保育園	北加瀬1-10-1
			90	らいらっく幸保育園	塚越2-220-37				121	Nest鹿島田保育園	下平間326-8
			91	小向さくら保育園	小向西町3-52-3				122	みなみかせ保育園	南加瀬3-12-8
			92	にじいろ保育園鹿島田	鹿島田1-10-22				123	和ごころ小倉保育園	小倉2-16-29
			93	新川崎みらいのそら保育 園	北加瀬1-11-4				124	ほくほく保育園	南加瀬4-4-15
			94	らいらっく山吹保育園	塚越1-60-160				125	おひさま保育園	南加瀬3-1-3
95	新川崎・学びの保育園	鹿島田1-6-5	126	優祥会かしまだえきまえ 保育園	鹿島田1-10-4						

出典：「子ども・教育に関する施設」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）

「ここ de サーチ」（令和4年6月閲覧 子ども・子育て支援情報公表システムホームページ）

表 2-5(4) 計画区間周辺の主要公共施設等（保育園、病院、高齢者福祉施設、その他市民利用施設）

区分	市	区	No.	名称	所在地	区分	市	区	No.	名称	所在地		
保育園	横浜市	鶴見区	127	駒岡こども園	駒岡 5-15-32	高齢者福祉施設	川崎市	幸区	7	特別養護老人ホーム 地域包括支援センター 幸風苑	都町64-1		
			128	駒岡保育園	駒岡 4-5-31				8	特別養護老人ホーム 地域包括支援センター 夢見ヶ崎	南加瀬1-7-14		
			129	尻手すきっぷ保育園	矢向4-26-13				9	特別養護老人ホーム 地域包括支援センター しゃんぐりら	東小倉6-1		
			130	ゆめいろ保育園	矢向3-11-48				10	特別養護老人ホーム 地域包括支援センター みんなと暮らす町	東古市場116-12		
			131	ココファン・ナーサリー 矢向	矢向4-22-13				11	特別養護老人ホーム 南さいわい	南幸町3-149-3		
			132	矢向保育園	矢向5-12-24				12	特別養護老人ホーム クロスハート幸・川崎	河原町1-37		
			133	ベネッセ矢向保育園	矢向 4-30-17				13	介護老人保健施設 幸正の苑	小倉2-30-13		
			134	スターチャイルド 《矢向ナーサリー》	矢向6-12-1				14	地域包括支援センター かしまだ	新塚越201		
			135	新鶴見はなかが保育園	江ヶ崎町17-8				15	御幸いこいの家	紺屋町33-1		
			136	わおわお江ヶ崎保育園	江ヶ崎町21-6				16	南河原いこいの家	南幸町 1-11		
		137	木下の保育園 江ヶ崎	江ヶ崎町16-27	17				日吉いこいの家	北加瀬1-39-5			
		138	横浜矢向雲母保育園	矢向4-29-34	18				下平間いこいの家	下平間357-6			
		港北区	139	グローバルキッズ日吉五 丁目園	日吉5-29-18				19	古市場いこいの家	古市場1781-1		
			140	港北子育て支援ワーカー ズコレクティブ ココット	日吉5-24-33				20	小倉いこいの家	小倉5-32-5		
			141	ブライト保育園 横浜日 吉	日吉 5-21-1				21	特別養護老人ホーム しょうじゅの里鶴見	江ヶ崎町2-1		
			142	日吉こども園	日吉 5-11-24						22	新鶴見ホーム・新鶴見ホ ーム新館	江ヶ崎町 2-42
			143	くっくおさんぽ保育園	日吉 6-1-7						23	地域包括支援センター 矢向地域ケアプラザ	矢向 4-32-11
			144	神奈川東部ヤクルト販売 株式会社新小倉保育室	日吉 5-23-46				その他市民利用施設	川崎市	中原区	1	中原区あんしんセンター (中原区社会福祉協議 会)
病院	川崎市	中原区	1	関東労災病院	木月住吉町 1-1	2	福祉パルなかはら	今井上町1-34					
			2	日本医科大学武蔵小杉病 院	小杉町 1-383	3	もとすみ地域相談支援セ ンター	木月2-18-6					
			3	聖マリアンナ医科大学 東横病院	小杉町 3-435	4	いまい地域相談支援セン ター	今井仲町15-19					
		幸区	4	医療法人社団清恵会 田村外科病院	戸手 1-9-13	5	地域相談支援センターす まいる	北谷町12					
			5	医療法人社団正慶会 栗田病院	小倉 2-30-13	6	生活介護事業所ひらま	上平間 1564-12					
			6	医療法人社団育成会 鹿島田病院	鹿島田 1-21-20	7	障害福祉サービス事業所 オレンジふれあい	田尻町57					
高齢者福祉施設	川崎市	中原区	1	特別養護老人ホーム 地域包括支援センター ひらまの里	上平間611-1	8	中原市民館	新丸子東3-1100-12					
			2	地域包括支援センター とどろき	今井南町8-5	9	中原図書館	小杉町3-1301					
			3	特別養護老人ホーム いせうら	上平間1251-2	10	川崎市平和館	木月住吉町33-1					
			4	中丸子いこいの家	中丸子 378-4	11	川崎市総合自治会館	小杉町3-600					
			5	西加瀬いこいの家	西加瀬10-5	12	生涯学習プラザ	今井南町28-41					
			6	さいわい健康福祉プラザ (いきいきセンター)	戸手本町1-11-5	13	川崎市 コンベンションホール	小杉町2-276-1					

出典：「ここ de サーチ」（令和4年6月閲覧 子ども・子育て支援情報公表システムホームページ）

「病院・診療所名簿」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）

「高齢者施設のご案内」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）

「高齢者福祉保健施設一覧」（令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ）

「子ども・教育に関する施設」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）

表 2-5(5) 計画区間周辺の主要公共施設等（その他市民利用施設）

区分	市	区	No.	名称	所在地	区分	市	区	No.	名称	所在地
その他市民利用施設	川崎市	中原区	14	かわさき市民活動センター	新丸子3-1100-12	その他市民利用施設	川崎市	幸区	36	障害福祉サービス事業所インプレッションかしまだ	塚越2-218
			15	地域子育て支援センター虹・にじ	木月祇園町17-2				37	障害児福祉サービス事業所ハッピーテラス幸教室	南加瀬4-26-3
			16	地域子育て支援センターちゃちゃ	今井仲町5-31				38	地域活動支援センター小倉あさひ	小倉4-16-10
			17	地域子育て支援センターひらま	上平間 1323				39	地域活動支援センターかもみいる	南加瀬3-4-5
			18	SNG児童家庭支援センター	木月伊勢町 3-3				40	地域活動支援センターフォーラム幸	戸手2-2-2
			19	母子・父子福祉センターサン・ライブ	今井上町 1-34				41	地域活動支援センターみゆき作業所	古市場1808-1
			20	平間こども文化センター	上平間1323					計画相談支援事業所地域生活支援センターりっふる	
			21	玉川こども文化センター	市ノ坪464-2				42	計画相談支援事業所さいわい福祉ケアマネジメントセンター	北加瀬 2-3-5
			22	住吉こども文化センター	木月祇園町17-6				43	計画相談支援事業所シュシュけあぶらん	南加瀬 2-4-92
			23	西加瀬こども文化センター	西加瀬10-5				44	計画相談支援事業所アークス相談支援事業所	塚越 4-345-3
			24	小杉こども文化センター	小杉町3-600				45	さいわい基幹相談支援センター	古市場 2-91
			幸区	25	福祉パルさいわい				戸手本町 1-11-5	46	地域相談支援センターりぼん
		幸区社会福祉協議会			47			地域相談支援センターあんさんぶる		小向西町 4-61-101	
		幸区あんしんセンター			48			合資会社ライフパートナーさいわい		戸手本町 2-384	
		地域子育て支援センターさいわい			49			障害児福祉サービス事業所すまいるスペースそよ風の手紙		南加瀬 1-1-2	
		幸こども文化センター			50			障害児福祉サービス事業所ハッピーテラス新川崎		下平間 35-5	
		26		障害福祉サービス事業所こぶし園	小倉3-14-17			51	障害児福祉サービス事業所放課後デイCocoro	鹿島田1-7-20	
		27		障害福祉サービス事業所セルブきたかせ	北加瀬1-31-5			52	こども家庭センター	鹿島田1-21-9	
		28		障害福祉サービス事業所つくし	北加瀬2-11-17			53	しゃんぐりらこども家庭支援センター	東小倉6-1	
		29		障害福祉サービス事業所どりーむ	南加瀬3-4-7				しゃんぐりらベビーホーム		
		30		障害福祉サービス事業所御幸日中活動センター	紺屋町33-1			54	総合教育センター塚越相談室	塚越1-60	
		31		障害福祉サービス事業所パセオやがみ	矢上4-3				ゆうゆう広場さいわい		
		32		障害福祉サービス事業所C-plus川崎	南加瀬5-16-8			55	地域子育て支援センターふるいちば	古市場1-1	
		33		障害福祉サービス事業所studio FLAT	北加瀬2-11-3			56	地域子育て支援センターかんがるー	北加瀬1-31-5	
	34	障害福祉サービス事業所通所機能訓練障がい者リハビリセンター鹿島田	小倉1-1	57	地域子育て支援センターぶるーべりー		鹿島田1-21-8				
	35	障害児福祉サービス事業所よろずえクラブ	古市場 1-51-14	58	地域子育て支援センターゆずりは		戸手2-12-10				
		障害福祉サービス事業所まんまる社		59	地域子育て支援センター小倉		小倉5-17-59				

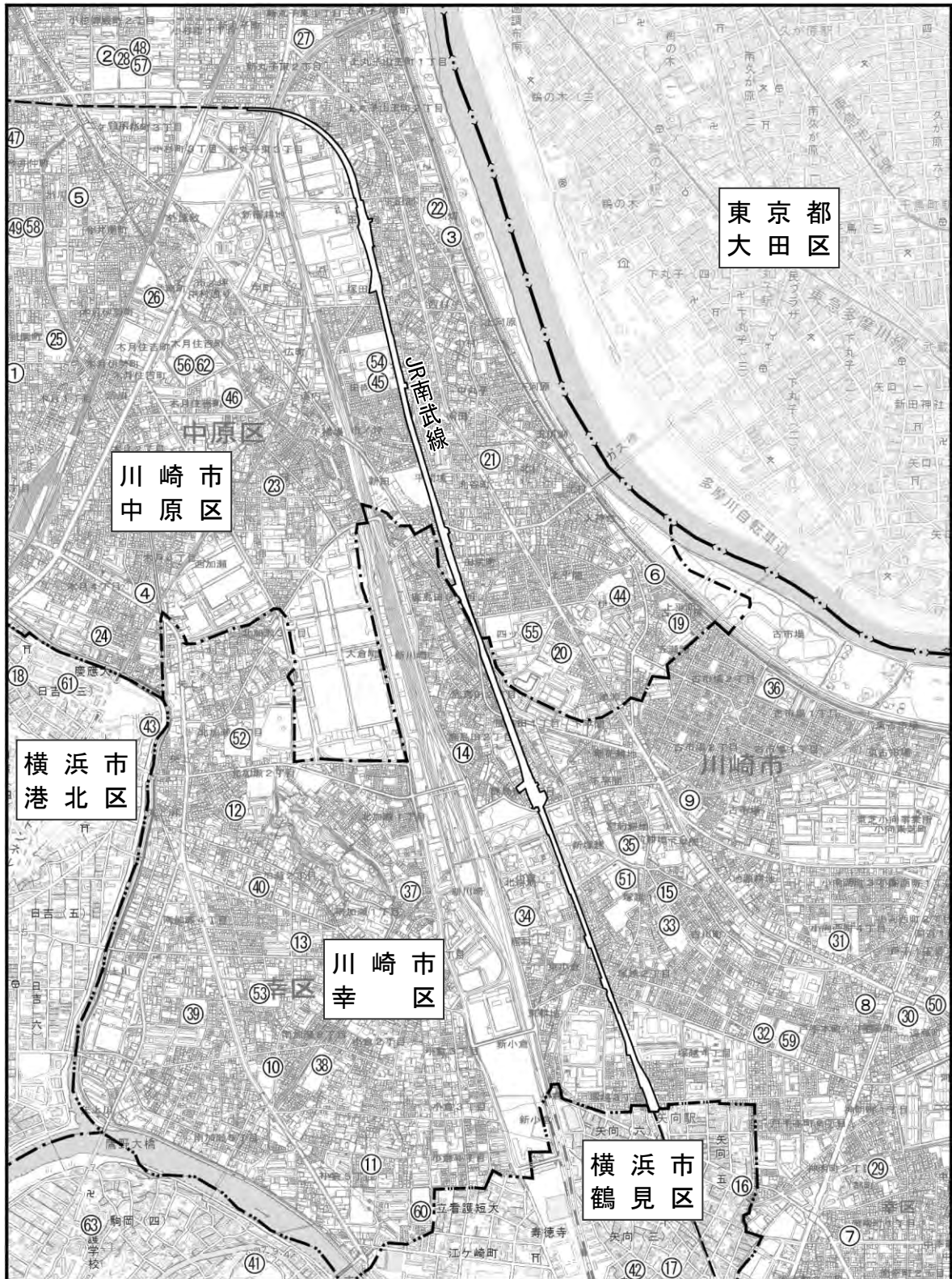
出典：「ふれあいー障害福祉の案内ー」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）
「子ども・教育に関する施設」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）

表 2-5(6) 計画区間周辺の主要公共施設等（その他市民利用施設）

区分	市	区	No.	名称	所在地	区分	市	区	No.	名称	所在地
その他市民利用施設	川崎市	幸区	60	南河原 こども文化センター	都町74-2	その他市民利用施設	川崎市	幸区	63	下平間 こども文化センター	下平間 70-1
			61	小倉こども文化センター	小倉5-17-59				64	北加瀬 こども文化センター	北加瀬 2-12-12
			62	南加瀬 こども文化センター	南加瀬 2-19-3			横浜市	鶴見区	65	矢向地区センター

出典：「子ども・教育に関する施設」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）

「地区センター一覧」（令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ）



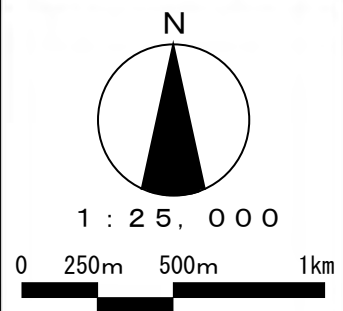
凡例

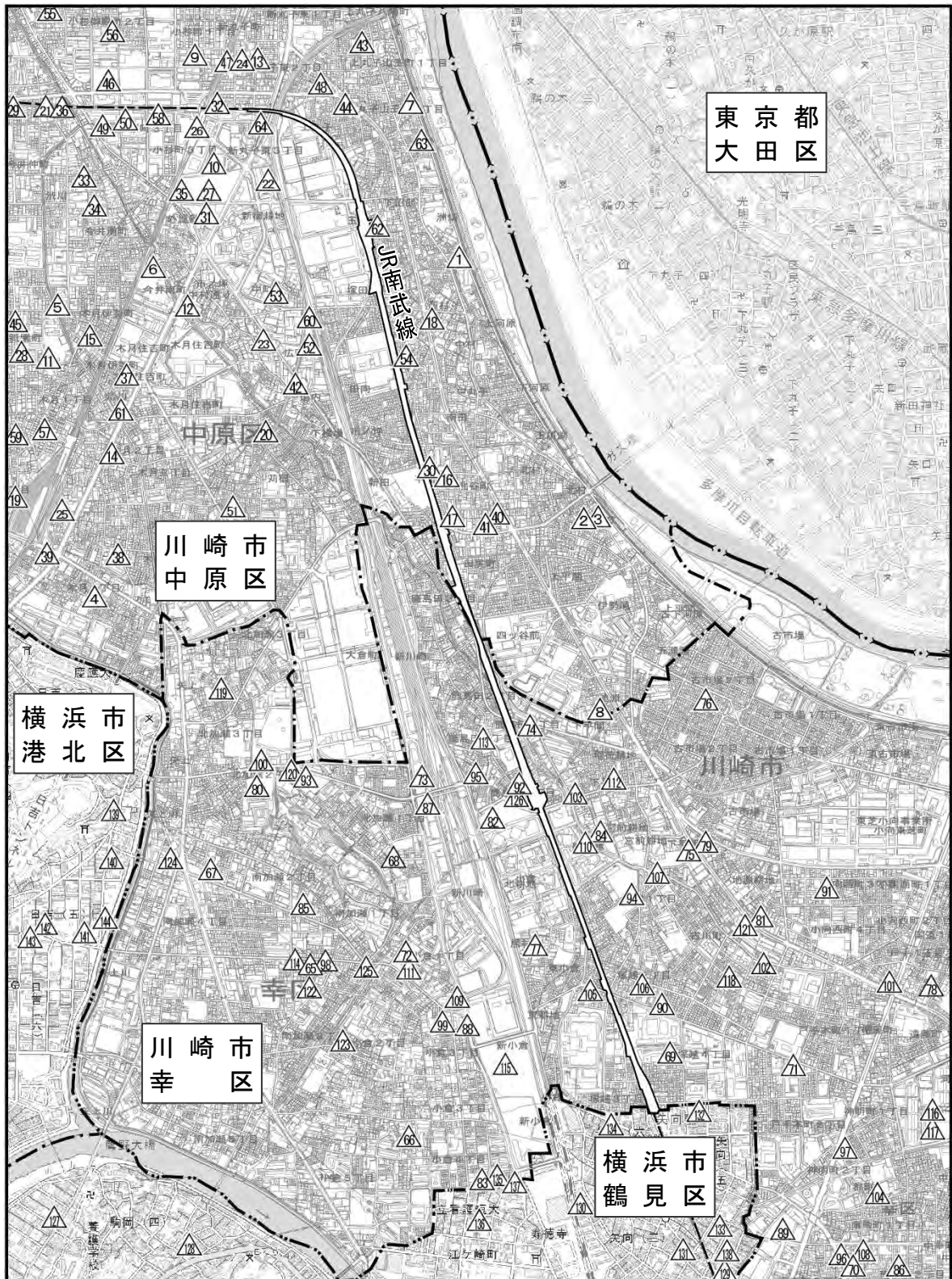
- 計画区間
- 市境
- 幼稚園・学校
- 都県境
- 区境

出典：「中原区ガイドマップ」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）
「さいわいガイドマップ2022」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）
「つるみ生活・防災マップ」（令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ）
「港北区ガイドマップ」（令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ）
「子ども・教育に関する施設」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）
「幼稚園・認定こども園一覧」（令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ）
「横浜市立学校名簿」（令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ）
「神奈川県立特別支援学校」（令和4年6月閲覧 神奈川県ホームページ）
「県内大学一覧」（令和4年6月閲覧 神奈川県ホームページ）

この地図は、「川崎市デジタル地形図 2500 Ver.5」（川崎市）及び「電子地形図 25000」（国土地理院）を使用したものである。

図2-16(1) 主要公共施設等位置図（幼稚園・学校）



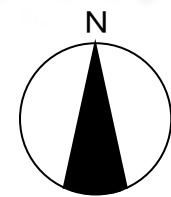


凡例

- 計画区間
 市境
 保育園
- 都県境
 区境

出典：「子ども・教育に関する施設」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）
 「ここdeサーチ」
 （令和4年6月閲覧 子ども・子育て支援情報公表システムホームページ）

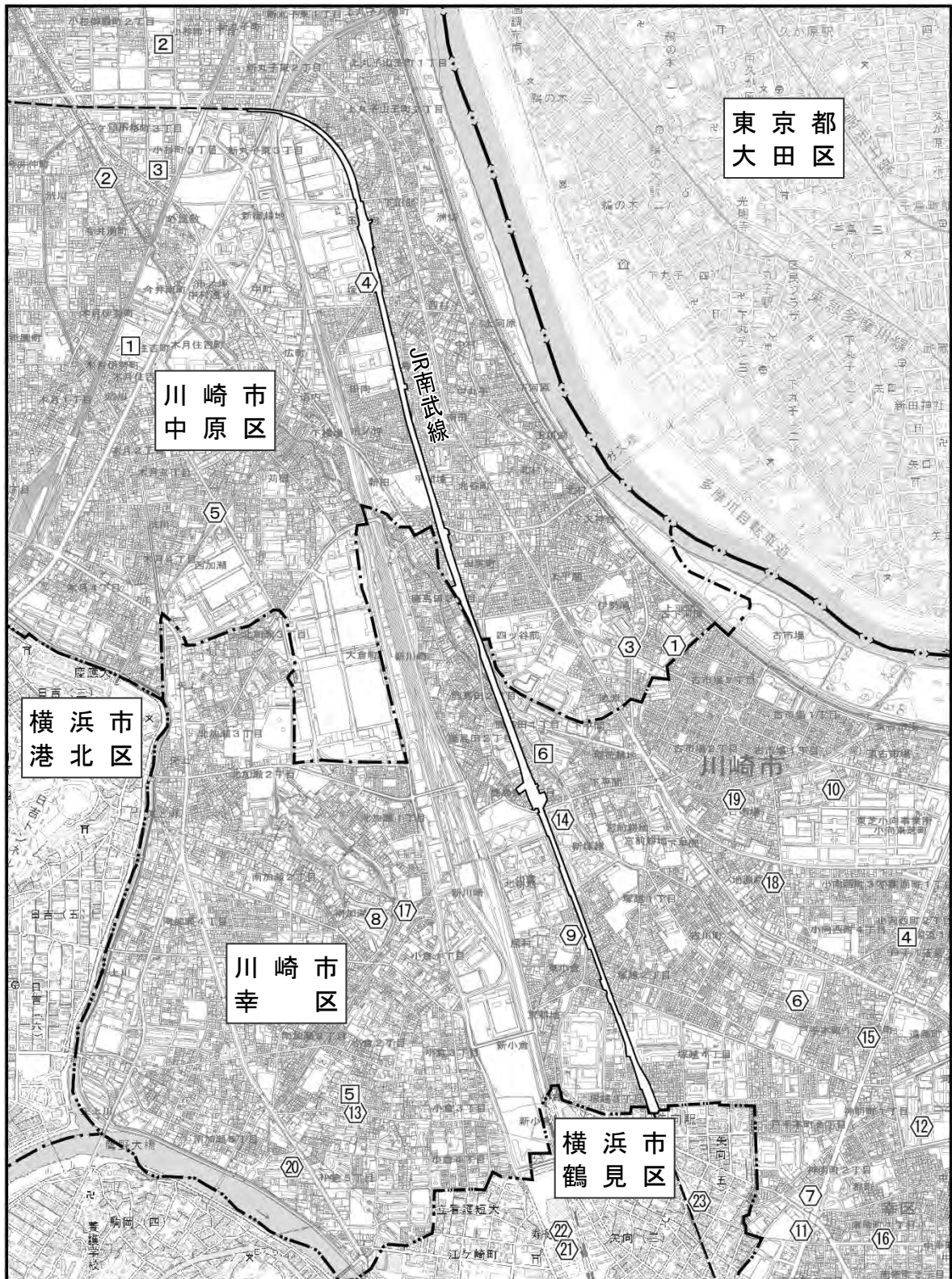
この地図は、「川崎市デジタル地形図 2500 Ver. 5」（川崎市）及び「電子地形図 25000」（国土地理院）を使用したものである。



1 : 25,000



図2-16(2) 主要公共施設等位置図（保育園）



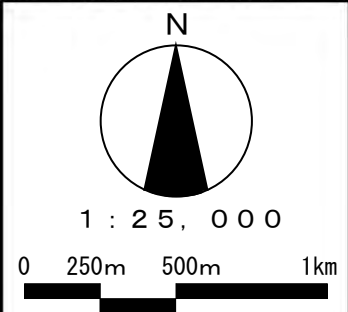
凡例

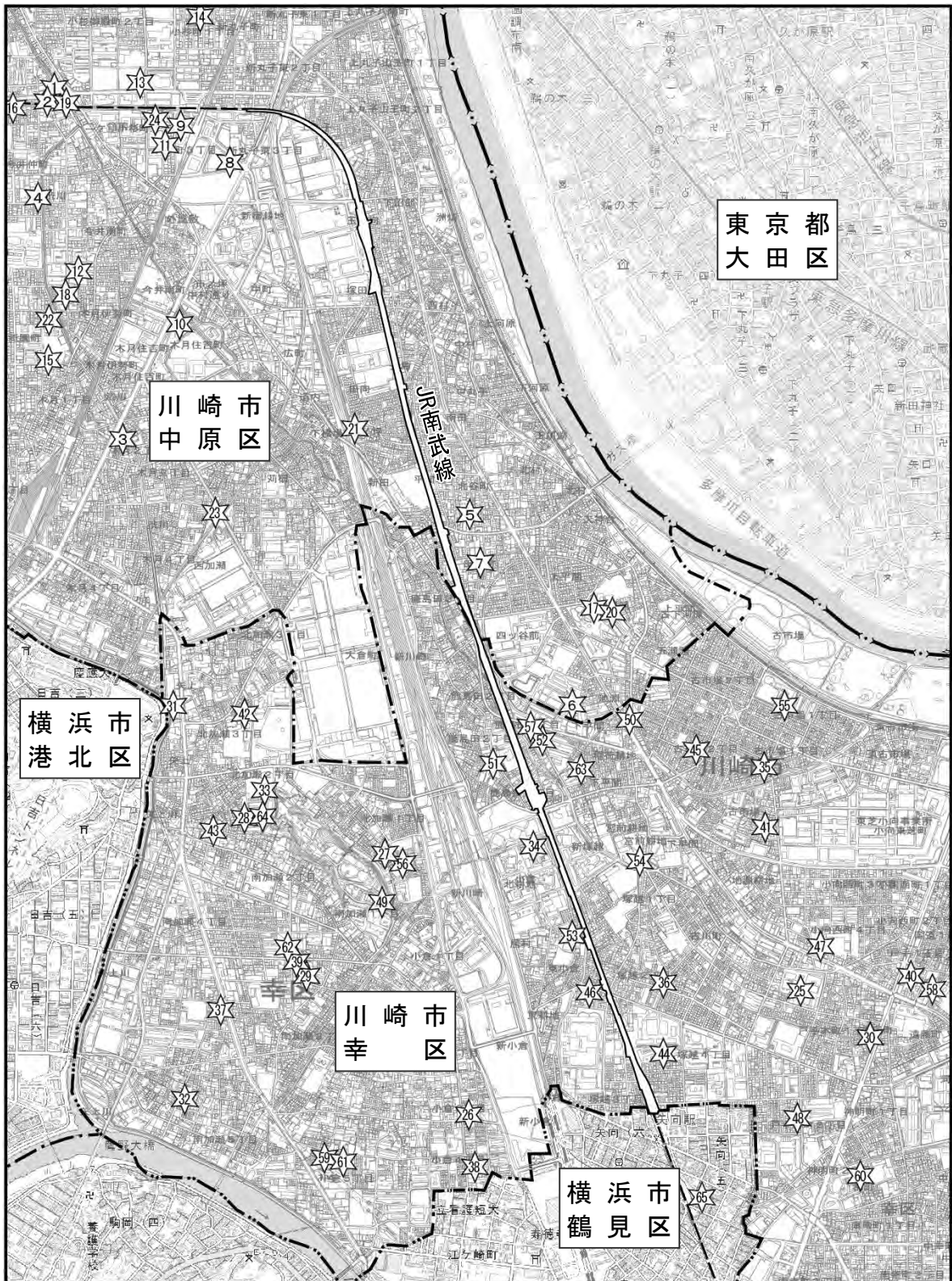
- | | | | | | |
|--|------|--|----|--|---------|
| | 計画区間 | | 市境 | | 病院 |
| | 都県境 | | 区境 | | 高齢者福祉施設 |

出典：「病院・診療所名簿」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）
「高齢者施設のご案内」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）
「高齢者福祉保健施設一覧」（令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ）

この地図は、「川崎市デジタル地形図 2500 Ver.5」（川崎市）及び「電子地形図 25000」（国土地理院）を使用したものである。

図2-16(3) 主要公共施設等位置図（病院、高齢者福祉施設）





凡例

- 計画区間

 市境

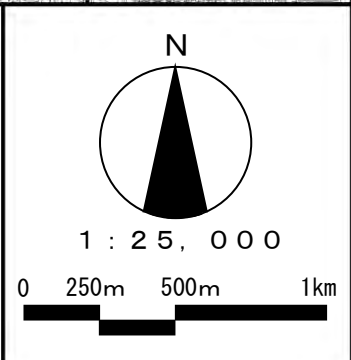
☆ その他市民利用施設
- 都県境

 区境

出典：「ふれあいー障害福祉の案内ー」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）
「子ども・教育に関する施設」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）
「地区センター一覧」（令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ）

この地図は、「川崎市デジタル地形図 2500 Ver. 5」（川崎市）及び「電子地形図 25000」（国土地理院）を使用したものである。

図2-16(4) 主要公共施設等位置図（その他市民利用施設）



イ 公園緑地等

計画区間周辺の公園緑地等の状況は、表2-6(1)～(4)及び図2-17(1)、(2)に示すとおりである。

計画区間は、現在、そのほとんどが現状のJR南武線の路線となっており、公園緑地等は存在しない。なお、計画区間に隣接する公園緑地等としては、下沼部公園、向河原駅前広場公園、町田堀ふれあい公園、FUSOグリーンガーデンがある。

表 2-6(1) 公園緑地等一覧

市	区	公園種別	名称	所在地	面積 (m ²)	
川崎市	中原区	運動公園	多摩川緑地上平間地区	上平間地内	62,030	
			多摩川緑地上丸子山王町地区	上丸子山王町1地内	6,473	
			多摩川緑地下沼部地区	下沼部地内	4,690	
			多摩川緑地中丸子地区	中丸子、上平間地内	25,516	
		地区公園	川崎市中原平和公園	木月住吉町33-1	40,740	
		近隣公園	平間公園	上平間1298	15,690	
		広場公園	向河原駅前広場公園	下沼部1753-18	1,100	
		都市公園	街区公園	市ノ坪さくら公園	市ノ坪410-76	338
				市ノ坪田向公園	市ノ坪410-40	203
				市ノ坪中村通公園	市ノ坪223-10	1,330
				市ノ坪西公園	市ノ坪132	323
				市ノ坪広町公園	市ノ坪386-8	207
				今井公園	今井仲町14-14	1,000
				今井南町公園	今井南町28-32	201
				今井南町四季の広場公園	今井南町34-26	409
				上平間公園	上平間1402-124	763
				上平間伊勢浦公園	上平間1301-4	207
				上平間くすのき公園	上平間1161-34	397
				上平間五瀬淵公園	上平間977-3	434
				上平間第2公園	上平間1700-315	333
				北谷町公園	北谷町95-45	400
				木月伊勢町公園	木月伊勢町2284-2	497
				木月下町公園	木月4-25-6	1,164
				木月住吉北公園	木月住吉町23-10	724
				木月住吉南公園	木月住吉町24-1	1,663
				木月諏訪公園	木月4-49-2	798
				木月寺前公園	木月4-13-1	322
				木月中山通公園	木月4-31-28	308
				木月八幡公園	木月4-14-4	884
				こすぎコアパーク	小杉町3-1302	1,100
				小杉御殿町2丁目公園	小杉御殿町2-47-8	2,115
				小杉町2丁目公園	小杉町2-235-8	256
				下沼部公園	下沼部1709-1	1,470
				下沼部さくら公園	下沼部1949-8	332
				新荻宿公園	荻宿101-2ほか	527
				新丸子公園	新丸子町964-3	347
				住吉子の神前公園	木月住吉町16-19	288
				中丸子公園	中丸子719-1	3,122
				中丸子第1公園	中丸子258	564
				中丸子第2公園	中丸子301-13	453
				中丸子西町公園	中丸子178-5	312
中丸子まちかど公園	中丸子13-22			248		
中丸子まるっこ公園	中丸子13-4			3,000		

出典：「川崎市公園・緑地等位置図」（令和3年3月31日現在 川崎市）

表2-6(2) 公園緑地等一覧

市	区	公園種別	名称	所在地	面積 (m ²)	
川崎市	中原区	都市公園	街区公園	西加瀬北公園	西加瀬 212-5	346
				若草第1公園	荻宿 34-36	607
				若草第2公園	荻宿 33-1	414
			緑道公園	市ノ坪緑道	市ノ坪、中丸子地内	2,225
				今井上町緑道	今井上町地内	2,640
				北谷町緑道	北谷町 95-1	1,842
				中丸子南緑道	中丸子地内	2,549
				中丸子緑道	中丸子地内	6,957
			平間緑道	上平間地内	2,667	
		都市緑地	上平間緑地	上平間 1700-343	95	
		市営公園	街区公園	市ノ坪公園	市ノ坪 440-12	483
				今井仲町公園	今井仲町 3-58	222
				荻宿公園	荻宿 19-17	248
				新幹線中丸子公園	中丸子 239-6	114
				新丸子東第2公園	新丸子東 3-946-12	479
	中丸子神明公園			中丸子 492-1	869	
	—	—	FUSO グリーンガーデン ^{注)}	上平間 1668 ほか	—	
	幸区	都市公園	運動公園	多摩川緑地古市場地区	古市場地内	95,542
			地区公園	御幸公園	東古市場 1	30,028
				夢見ヶ崎公園 (幸区市民健康の森)	南加瀬 1-2-1	63,828
			近隣公園	さいわいふるさと公園	新川崎 7	18,149
				南河原公園	都町 74-2	21,267
			街区公園	遠藤町公園	遠藤町 44-3	733
				小倉かつら公園	小倉 4-21-6	899
				小倉北公園	小倉 2-11-21	174
				小倉こども公園	小倉 4-5-11	239
				小倉下町公園	小倉 4-12-22	1,600
				小倉なかよし公園	小倉 2-11-30	687
				小倉西公園	小倉 5-17-1	4,564
				小倉4丁目公園	小倉 4-10-33	232
				鹿島田1丁目公園 (旧 鹿島田公園)	鹿島田 1-6-50	673
				鹿島田2丁目公園	鹿島田 2-21-35	1,776
				北加瀬2丁目公園	北加瀬 2-1	396
				北加瀬北ノ根公園	北加瀬 1-11-13	683
				北加瀬つつじ公園	北加瀬 1-11-5	474
				北加瀬熊野台公園	北加瀬 2-12-1	1,529
北加瀬公園 (旧 北加瀬第2公園)				北加瀬 1-22-20	1,253	
北加瀬第1公園				北加瀬 3-18-1	1,586	
北加瀬原町公園				北加瀬 3-3	666	
北加瀬ゆりのき公園			北加瀬 2-80-4	747		
小向第3公園			小向西町 4-15	3,876		
小向第4公園	小向西町 3-50-1	995				
小向第5公園	小向西町 4-81	1,318				
小向第7公園	小向西町 1-65	1,323				
紺屋町ニコニコ公園	紺屋町 14	845				
下平間あおば公園 (旧 下平間西公園)	下平間 1-5	312				
下平間稲荷公園	下平間 68-5	1,694				
下平間公園	下平間 48-20	609				

注)「FUSOグリーンガーデン」は、現地踏査により確認した。

出典：「川崎市公園・緑地等位置図」(令和3年3月31日現在 川崎市)

表 2-6(3) 公園緑地等一覧

市	区	公園種別	名称	所在地	面積 (m ²)	
川崎市	幸区	都市公園	街区公園	下平間第2公園	下平間 387-3	545
				下平間春風公園	下平間 233-9	4,000
				新川崎ふれあい公園	新川崎 1-1	4,000
				神明町公園	神明町 2-2-2	676
				諏訪公園	南幸町 2-38-1	1,671
				塚越4丁目公園	塚越 4-314-3	882
				塚越あさひ公園	塚越 4-320-6	530
				塚越公園	塚越 4-345-12	1,225
				塚越3丁目さくらの公園	塚越 3-406-1	2,194
				塚越こかげ公園	塚越 4-345-15	1,747
				塚越第2公園	塚越 1-60-84	620
				塚越第3公園	塚越 4-363-20	270
				塚越第4公園	塚越 2-220-17	443
				塚越沼ノ上公園	塚越 2-207	1,018
				塚越ふれあい公園	塚越 3-484-5	383
				塚越ゆうひ公園	塚越 4-320-9	854
				戸手第1公園	戸手本町 1-76-1	1,357
				戸手第2公園	小向西町 4-125 地先	516
				戸手本町こぶし公園	戸手本町 2-411-2	332
				戸手本町はなの木公園	戸手本町 2-396-4	395
				戸手本町りんごの木公園	戸手本町 2-393-3	370
				中幸町3丁目さくら公園	中幸町 3-26-45、46	500
				東小倉公園	小倉 4-17-1	1,019
				東小倉こども公園	東小倉 6-30	272
				東古市場第1公園	東古市場 83	488
				東古市場第2公園	東古市場 95	275
				東古市場中央公園	東古市場 118-4	2,937
				古市場公園	東古市場 116	2,492
				古市場第1公園	古市場 1-19	1,382
				古市場第2公園	古市場 1-45	2,341
				古市場第3公園	古市場 2-116	1,645
				古市場第4公園	古市場 2-97	1,180
				古市場第5公園	古市場 2-84	1,797
				古市場第6公園	古市場 1-64	323
				古市場第7公園	古市場 2-75	852
				古市場東公園	東古市場 82-3	2,124
				古市場ほほえみ公園	古市場 1786-21	288
				古市場まちかど公園	古市場 1756-5	279
				古市場南公園	古市場 1781-5	490
				古川町さくら公園	古川町 159-4	661
				町田堀ふれあい公園	新塚越 1-7	934
				夢見ふれあい公園	南加瀬 1-7-7	764
				南加瀬五反公園	南加瀬 2-19-4	1,888
南加瀬第1公園	南加瀬 3-24-15	850				
南加瀬江川公園	南加瀬 4-20-16	842				
南加瀬けやき公園	南加瀬 4-35-4	1,021				
南加瀬辻公園	南加瀬 5-38-3	2,254				

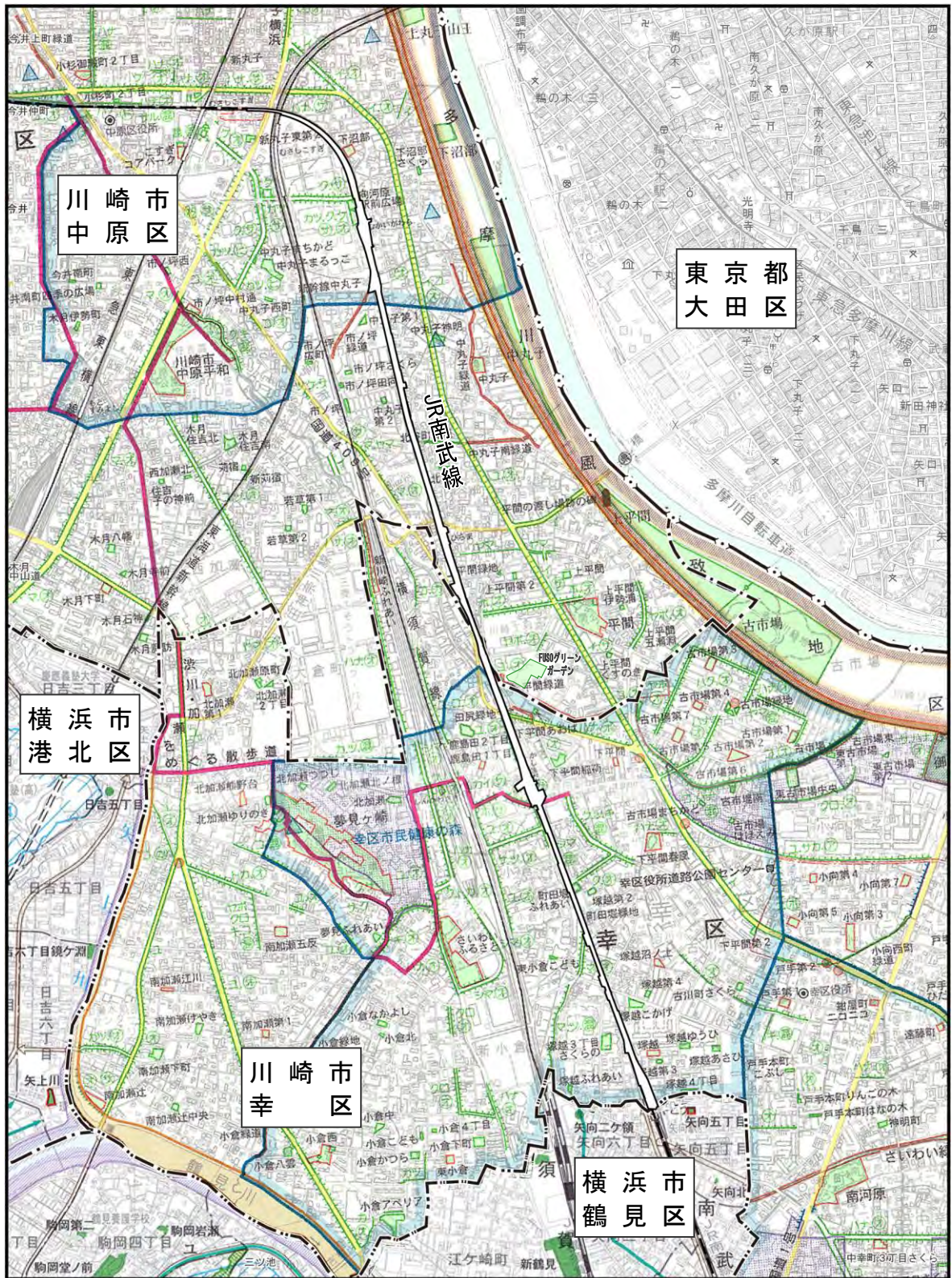
出典：「川崎市公園・緑地等位置図」（令和3年3月31日現在 川崎市）

表 2-6(4) 公園緑地等一覧

市	区	公園種別		名称	所在地	面積 (m ²)
川崎市	幸区	都市公園	緑道	小倉緑道 (旧小倉公園)	小倉 5、南加瀬 5 地内	1,576
				小向西町緑道 (旧小向西町遊歩道公園)	戸手 1 地内	902
				さいわい緑道 (旧河原町緑道)	河原町、神明 1、2 地内	21,797
			都市緑地	小倉緑地	小倉 2、南加瀬 3	1,587
				町田堀緑地	塚越 1-20-4	669
				古市場緑地	古市場 1-49-1	670
		市営公園	街区公園	小倉アベリア公園	小倉 4-28-3	4,077
				小倉中公園	小倉 4-8-4	925
				小倉八雲公園	小倉 5-32-6	1,033
				南加瀬下町公園	南加瀬 4-37	1,676
				南加瀬辻中央公園	南加瀬 5-14	638
				都市緑地	田尻緑地	鹿島田 2-1-14
			横浜市	鶴見区	近隣公園	新鶴見公園
駒岡堂ノ前公園	駒岡 4-28	9,083				
街区公園	江ヶ崎町公園	江ヶ崎町 1-31			2,130	
	駒岡岩瀬公園	駒岡 4-2342-1			1,634	
	駒岡第 2 公園	駒岡 4-38			878	
	矢向 5 丁目公園	矢向 5-12			1,163	
	矢向二ヶ領公園	矢向 6-18			279	
	矢向 6 丁目公園	矢向 6-5			358	
	矢向北公園	矢向 5-4			592	
港北区	都市公園	街区公園			日吉 5 丁目公園	日吉 5-1308-10
				日吉 6 丁目鏡ヶ淵公園	日吉 6-6	1,747
				矢上川公園	日吉 6-13	1,640

出典：「川崎市公園・緑地等位置図」(令和 3 年 3 月 31 日現在 川崎市)

「横浜市公園緑地配置図」(平成 29 年 7 月 1 日現在 横浜市)

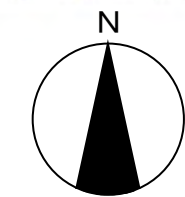


凡例

- 計画区間
- 市境
- 都県境
- 区境

出典：「川崎市公園・緑地等位置図」（令和3年3月31日現在 川崎市）
「横浜市公園緑地配置図」（平成29年7月1日現在 横浜市）

この地図は、「電子地形図25000」（国土地理院）を使用したものである。



1 : 25,000



図2-17(1) 公園緑地等位置図

川崎市（色凡例区分：A）

凡 例	
	主要な道路
	D I D (H27年)
	市街化調整区域
	区 境
	区画整理区域界
	緑地協定地
	地域緑化推進地区
	緑化推進重点地区
	遊歩道
	渡し場跡の碑
	グリーンポケット(国管理)
	グリーンポケット
	グリーンベルト
	街路樹
	グリーンベルト(国管理)
	街路樹(国管理)
	風致地区
	保存樹林
	ふれあいの森
	緑地保全協定地
	緑の保全地域
	特別緑地保全地区(特緑保)
	公園等予定地
	開設又は整備中の公園等
	都市計画公園等

街路樹種凡例																																
上木	アオ	ア	オ	ギ	リ	ケ	ケ	ヤ	キ	トカ	ト	ウ	カ	エ	テ	ベ	ベ	ニ	カ	ナ	メ	モ	チ									
	アキ	ア	キ	ニ	レ	コ	コ	ブ	シ	トチ	ト	チ	ノ	キ		ホ	ホ	ル	ト	ノ	キ											
	イ	イ	チ	ヨ	ウ	サ	サ	ク	ラ	ナ	ナ	ン	キン	ハ	ゼ	ボ	ボ															
	エ	エ	ン	ジュ		サカ	サ	ザ	ン	ナ	ナ	ナ	カ	マ	ド	マ	マ															
	オ	オ	ガ	タ	マ	サル	サ	ル	ス	ベ	ニ	ニ	セ	ア	カ	シ	モ	モ														
	カ	カ	リ	ン		シ	シ	ラ	カ	バ	ネ	ネ	ズ	ミ	モ	チ	ヤ	ヤ														
	カイ	カ	イツ	カイ	ブ	シマ	シ	マ	ト	ネ	ハ	ハ	ナ	ノ	キ		ヤ	ボ														
	カエ	カ	エ	テ		シユ	シ	ユ		ロ	ハク	ハ	ク	モ	ク	レ	ヤ	マ														
	カツ	カ	ツ	ラ		シン	シ	ン	ジュ		ハナ	ハ	ナ	ミ	ズ	キ	ユ	ユ														
	キ	キン	モ	ク	セイ	タ	タ	ブ	ノ	キ	ヒ	ヒ	メ	リ	ン	ゴ	ワ	シ														
ク	ク	ス	ノ	キ	ツ	ツ	バ	キ	類	ヒイ	ヒ	イ	ラ	ギ	モ	ク	セイ															
クロ	ク	ロ	ガ	ネ	モチ	ド	ド	イ	ツ	ウ	ヒ	プ	ラ	タ	ナス																	
下木	㊦	ア	ベ	リ	ヤ	㊦	キ	リ	シ	マ	ツ	ツ	ジ		㊦	ド	ウ	ダ	ン	ツ	ツ	ジ	㊦	ボ	ク	ス	ウ	ド				
	㊧	ウ	バ	メ	ガ	シ	㊧	ク	ル	メ	ツ	ツ	ジ		㊧	ハ	マ	ヒ	サ	カ	キ	㊧	マ	ル	バ	シ	ラ	ン	バ			
	㊨	オ	タ	フ	ク	ナ	ン	㊨	サ	ツ	キ	類			㊨	ヒ	ラ	ド	ツ	ツ	ジ	㊨	マ	メ	ツ	ゲ						
	㊩	オ	オ	ム	ラ	サ	キ	ツ	ジ		㊩	シ	ャ	リ	ン	バ	イ	㊩	ビ	ョ	ウ	ヤ	ナ	ギ	㊩	リ	ュ	ウ	キ	ウ	ツ	ジ
	㊪	カ	ン	ツ	バ	キ	㊪	ジ	ン	チ	ョ	ウ	ゲ		㊪	ヒ	イ	ラ	ギ	ナ	ン	テ		㊪	混							
	㊫	カ	ル	ミ	ア		㊫	ト	ベ	ラ		㊫	ベ	ニ	カ	ナ	メ	モ	チ													

横浜市（色凡例区分：B）

凡 例	
	都市計画公園・緑地
	都市公園
	市民の森・ふれあいの樹林・港湾緑地 八景島・三溪園・こどもの国・市有緑地
	公園予定地(事業中のもの)
	風致地区(①~④は種別)
	円海山・北鎌倉近郊緑地保全区域
	近郊緑地特別保全地区
	特別緑地保全地区
	市街化調整区域
	D I D 区域(平成27年度)
	街路樹(市管理)
	街路樹(国管理)
	幹線街路
	自動車専用道路

主要街路樹 凡例			
イ	イ	チ	ヨ
ウ	ウ	ウ	ウ
プ	プ	ラ	タ
ナス	ナス	ナス	ナス
混	混	混	混
植	植	植	植

色凡例区分

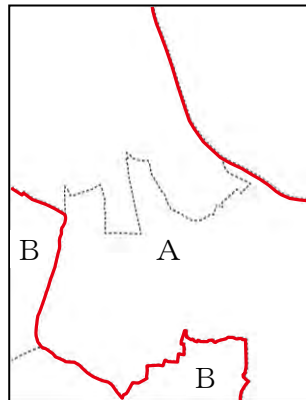


図2-17(2) 公園緑地等位置図

(9) 人と自然とのふれあい活動の場

計画区間は、現在、そのほとんどが現状のJR南武線の路線となっている。計画区間周辺は、主に住宅用地、集合住宅用地となっているほか、学校をはじめとした文教・厚生用地や軽工業用地等がみられる。

なお、計画区間最寄りの人と自然とのふれあい活動の場は、親水空間として二ヶ領用水があげられる。

(10) 史跡及び文化財

ア 指定文化財

計画区間周辺の指定文化財等の分布状況は、表2-7及び図2-18に示すとおりである。計画区間周辺には国登録文化財は存在しないが、建造物をはじめとした市の指定文化財が多数存在する。

なお、計画区間最寄りの指定文化財としては、紙本着色の閻魔府之図や四十七士像等があげられる。そのほか、川崎の歴史に深い関わりのある「我が国初の工業用水の案内碑」及び「稲毛・川崎二ヶ領用水余剰水取水口跡」等が存在する。

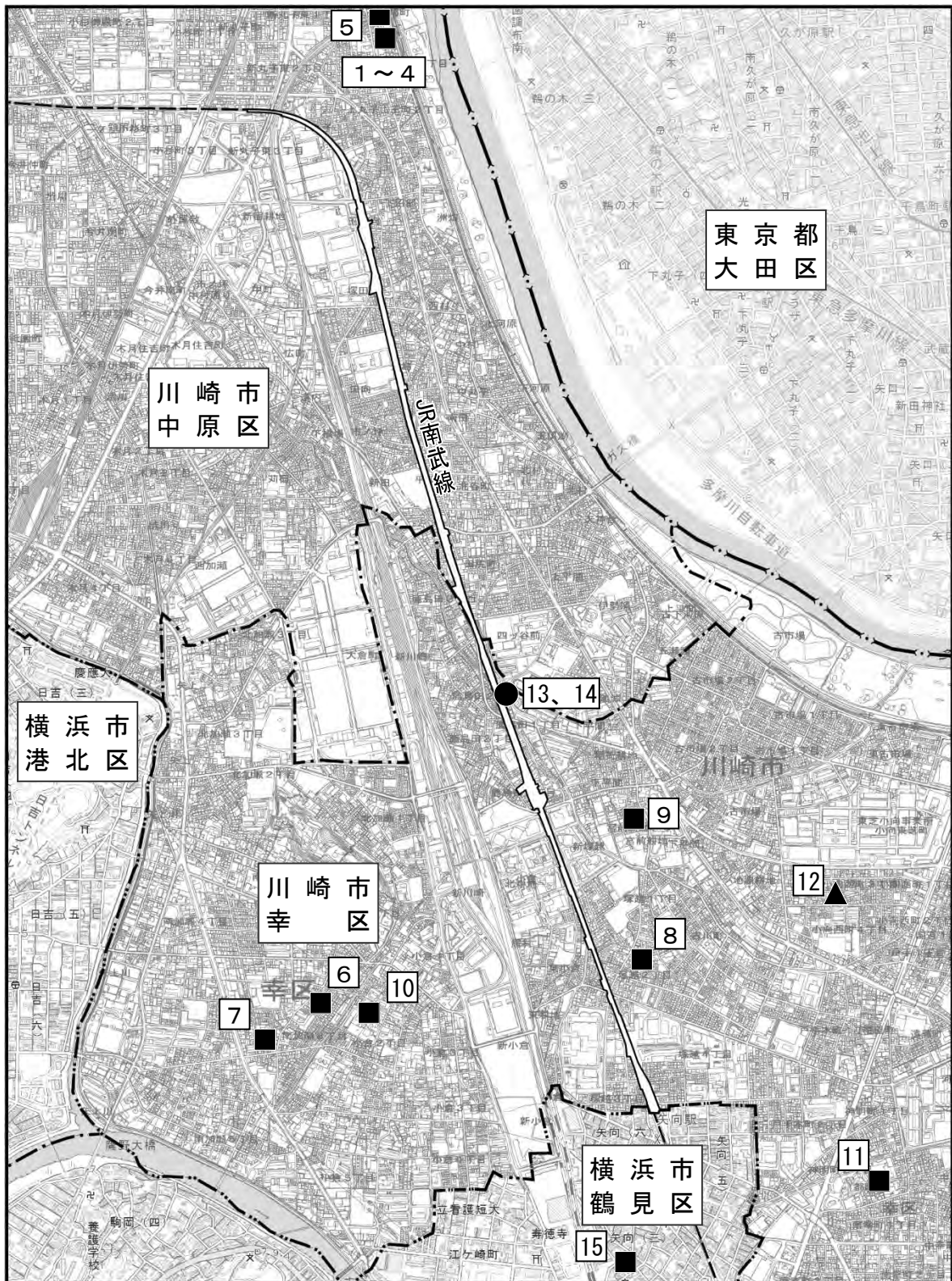
表2-7 計画区間周辺の指定文化財等

市	区	指定状況	分類	No.	名称	所在地
川崎市	中原区	市重要 歴史記念物	建造物	1	日枝神社本殿	中原区上丸子山王町 1-1455
		市重要 歴史記念物	書跡・ 古文書	2	後北条氏の虎の印判状（丁亥八月十八日付）	
		市重要 歴史記念物	書跡・ 古文書	3	後北条氏の虎の印判状（庚寅三月十六日付）	
		市重要 歴史記念物	書跡・ 古文書	4	徳川氏奉行人（代官頭）連署奉書	
		市重要 歴史記念物	彫刻	5	木造 釈迦如来坐像（大楽院）	中原区上丸子八幡町 1522
	幸区	市重要 歴史記念物	建造物	6	深瀬家長屋門	幸区南加瀬 3-13-25
		市重要 歴史記念物	建造物	7	長弘寺本堂	幸区南加瀬 3-24-16
		市重要 歴史記念物	絵画	8	紙本着色 閻魔府之図	幸区塚越 2-118
		市重要 歴史記念物	絵画	9	紙本着色 四十七士像	幸区下平間 183
		市重要 郷土資料	有形民俗 文化財	10	庚申塔（無量院）	幸区小倉 2-7-1
		市重要 郷土資料	有形民俗 文化財	11	南河原雨乞獅子頭	幸区都町 4-2
		県指定無形 民俗文化財	無形民俗 文化財	12	八幡大神（小向獅子舞）	幸区小向 242
		—	—	13	我が国初の工業用水の案内碑 ^{注)}	鹿島田 2-1
		—	—	14	稲毛・川崎二ヶ領用水余剰水取水口跡 ^{注)}	鹿島田 2-1
横浜市	鶴見区	市登録文化財	史跡	15	二ヶ領用水路地跡	鶴見区矢向 3-1000-5

注)「我が国初の工業用水の案内碑」及び「稲毛・川崎二ヶ領用水余剰水取水口跡」は、現地踏査により確認した。

出典：「指定文化財紹介」（令和4年6月閲覧 川崎市教育委員会ホームページ）

「市域文化財一覧」（令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ）



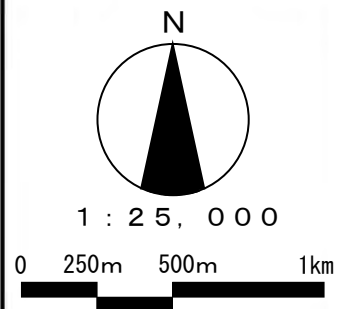
凡 例

- | | | | | | |
|--|------|--|-----|--|--------|
| | 計画区間 | | 市 境 | | 県指定文化財 |
| | 都県境 | | 区 境 | | 市指定文化財 |
| | | | | | その他 |

出典：「指定文化財紹介」（令和4年6月閲覧 川崎市教育委員会ホームページ）
 「市域文化財一覧」（令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ）

この地図は、「川崎市デジタル地形図 2500 Ver.5」（川崎市）及び「電子地形図 25000」（国土地理院）を使用したものである。

図2-18 指定文化財等位置図



イ 埋蔵文化財

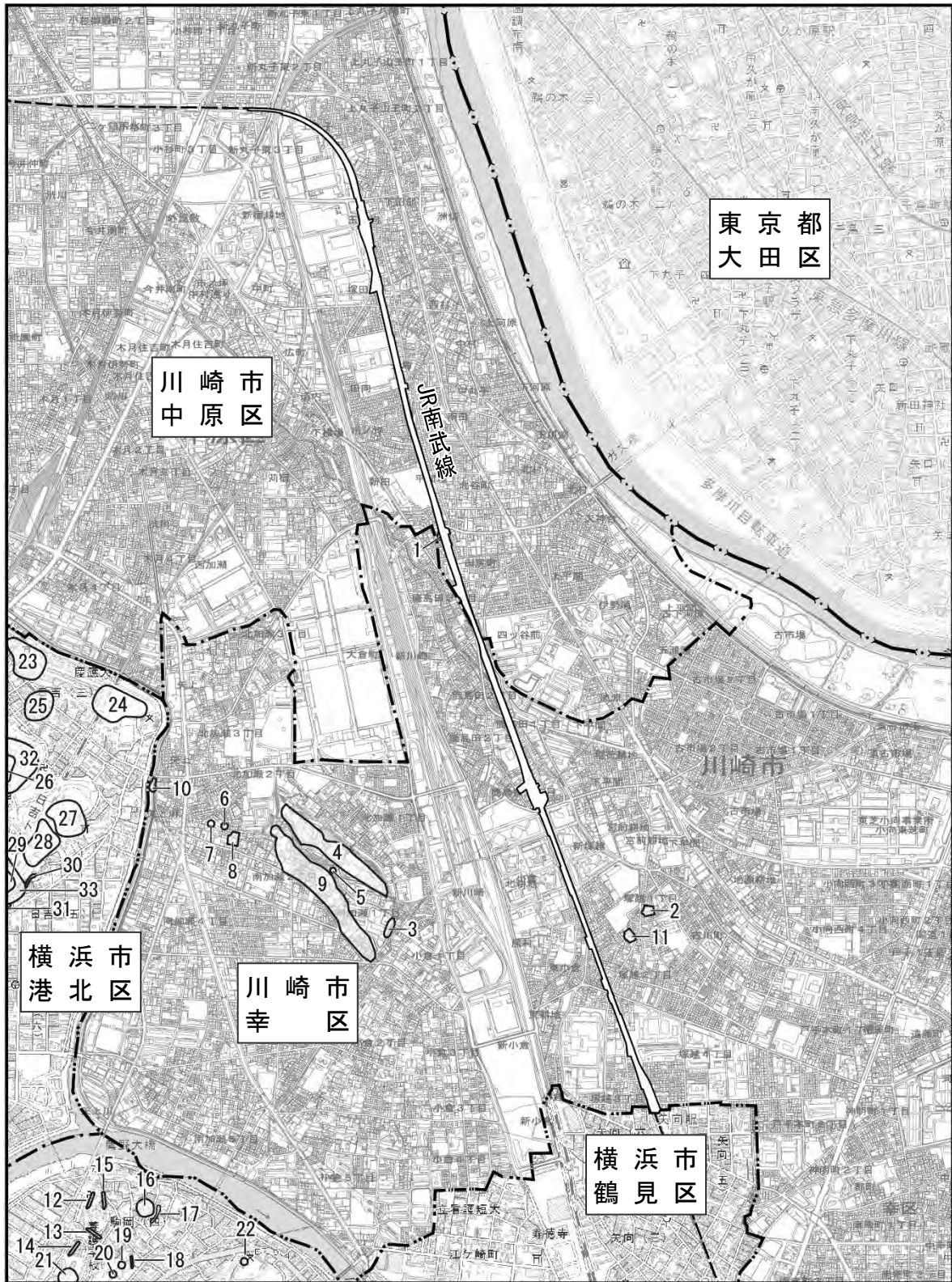
計画区間及びその周辺における周知の埋蔵文化財包蔵地の分布状況は、表2-8及び図2-19に示すとおりである。

計画区間には、周知の埋蔵文化財包蔵地として、古墳（平間銚子塚古墳）が存在する。

表 2-8 計画区間周辺の周知の埋蔵文化財包蔵地

市	区	区分	No.	種類	所在地
川崎市	中原区	埋蔵文化財包蔵地	1	古墳（平間銚子塚古墳）	田尻町 2064 付近
	幸区		2	古墳	塚越 2-179 付近
			3	横穴墳	北加瀬 1-13 付近
			4	集落跡	南加瀬 1-2 付近
			5	古墳	南加瀬 1-2 付近
			6	古墳	南加瀬 2-4 付近
			7	古墳	南加瀬 2-5 付近
			8	火葬骨蔵器（墓地）	南加瀬 2-4 付近
			9	散布地	南加瀬 1-5 付近
			10	散布地	矢上 11 付近
			11	古墳	塚越 1-110 付近
横浜市	鶴見区		12	横穴墓	駒岡 4-41-1 付近
			13	横穴墓	駒岡 4-38-9 付近
			14	横穴墓	駒岡 4-31-1 付近
			15	横穴墓	駒岡 4-41-28 付近
			16	古墳	駒岡 4-12-30 付近
			17	横穴墓	駒岡 4-12-8 付近
			18	横穴墓	駒岡 4-22-6 付近
			19	古墳	駒岡 4-34 付近
			20	古墳	駒岡 4-34 付近
			21	散布地	駒岡 4-32-2 付近
			22	古墳	駒岡 3-40 付近
	港北区		23	散布地	日吉 3-9 付近
			24	散布地・古墳	日吉 3-14 付近
			25	散布地	日吉 3-13 付近
			26	集落跡	日吉 4-665 付近
			27	集落跡・古墳・城跡	日吉 4-1 付近
			28	散布地・古墳・城跡	日吉 4-1 付近
			29	集落跡	日吉 4-1 付近
			30	横穴墓	日吉 5-12-4 付近
			31	横穴墓	日吉 5-2-11 付近
			32	地下壕	日吉 4-1 付近
			33	地下壕	日吉 4-1 付近

出典：「ガイドマップかわさき」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）
「行政地図情報提供システム」（令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ）



凡例

- 計画区間
- 市境
- 埋蔵文化財包蔵地
- 都県境
- 区境

出典：「ガイドマップかわさき」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）
「行政地図情報提供システム」（令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ）
この地図は、「川崎市デジタル地形図 2500 Ver. 5」（川崎市）及び「電子地形図 25000」（国土地理院）を使用したものである。

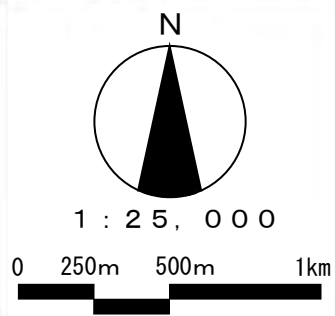


図2-19 周知の埋蔵文化財包蔵地位置図

(11) 公害等の状況

ア 公害苦情の状況

令和2年度における公害苦情件数は、表2-9及び図2-20に示すとおりである。

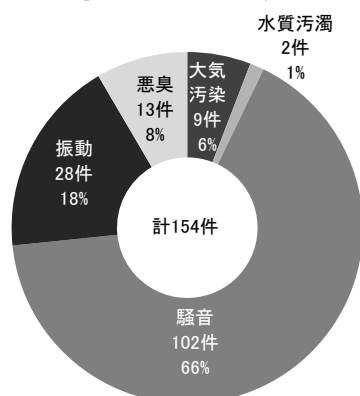
中原区の公害苦情件数は154件であり、騒音が最も多く、次いで振動となっている。また、幸区の公害苦情件数は67件であり、騒音が最も多く、次いで悪臭となっている。川崎市全体では、公害苦情件数は907件であり、騒音が最も多く、次いで振動、悪臭となっている。

横浜市における公害苦情件数は鶴見区内で94件、港北内で164件となっており、横浜市全体では、騒音、悪臭、大気汚染、振動の件数が多くなっている。

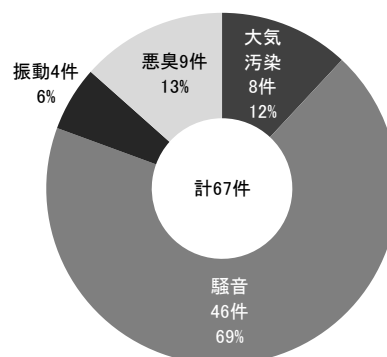
表2-9 公害苦情件数（令和2年度）

市区	種類	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	その他	計
中原区		9	2	0	102	28	0	13	0	154
幸区		8	0	0	46	4	0	9	0	67
川崎市全体		97	22	0	564	109	0	109	6	907
鶴見区		18	1	0	43	14	0	18	0	94
港北区		36	1	0	60	22	0	43	2	164
横浜市全体		445	74	0	555	151	0	466	13	1,704

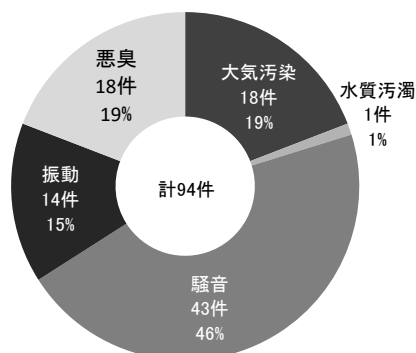
出典：「令和3年度 環境局事業概要－公害編－」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）
「横浜市統計書」（令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ）



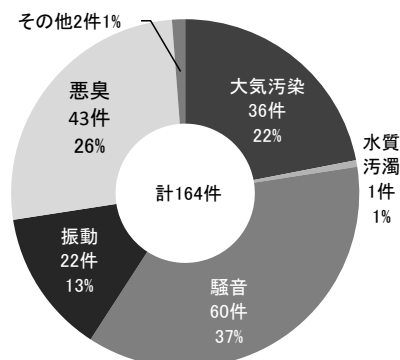
【中原区】



【幸区】



【鶴見区】



【港北区】

注) 中原区のグラフ中の割合の数値は、端数処理をしているため、その合計は100%にならない。

出典：「令和3年度 環境局事業概要－公害編－」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）
「横浜市統計書」（令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ）

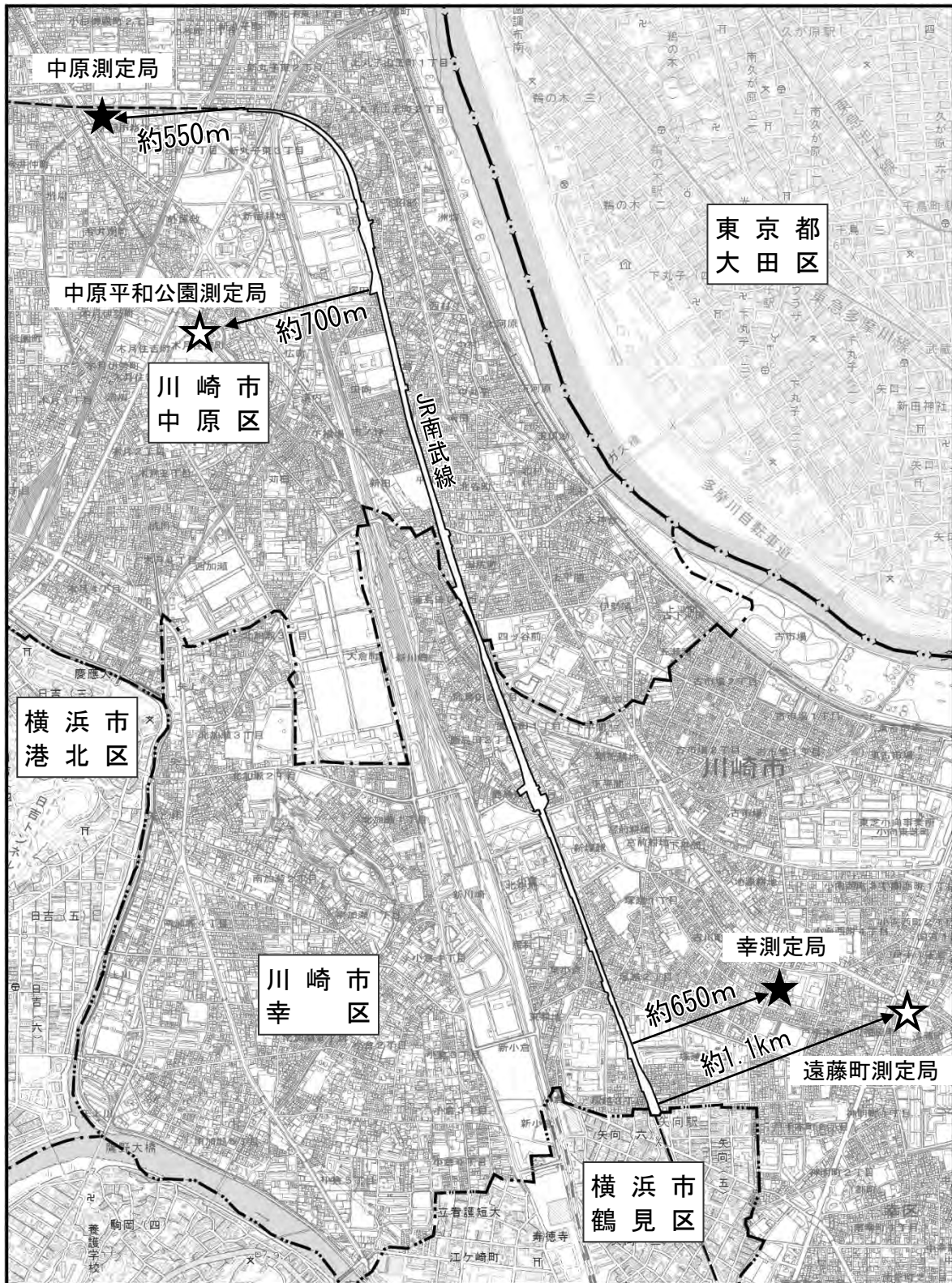
図2-20 公害現象別苦情件数（令和2年度）

イ 大気汚染







計画区間周辺の大気質の測定地点としては、一般局である中原測定局及び幸測定局と、自動車排ガス測定局（以下、「自排局」という。）である中原平和公園測定局及び遠藤町測定局があげられる。計画区間との位置関係は、図2-21に示すとおりである。

平成28～令和2年度における各測定局の二酸化窒素（以下、「NO₂」という。）、浮遊粒子状物質（以下、「SPM」という。）、微小粒子状物質（以下、「PM2.5」という。）の調査結果は表2-10に、経年変化は図2-22、23に示すとおりである。

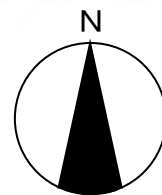
令和2年度の測定結果をみると、いずれの項目についても環境基準を達成している。



凡例

- | | | | |
|---|------|---|-----|
|  | 計画区間 |  | 一般局 |
|  | 都県境 |  | 自排局 |
|  | 市境 | | |
|  | 区境 | | |

この地図は、「川崎市デジタル地形図 2500 Ver. 5」(川崎市)及び「電子地形図 25000」(国土地理院)を使用したものである。



1 : 25,000



図2-21 測定局位置図

表2-10 計画区間周辺の大気質の状況（一般局・自排局）

測定局	項目	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度	環境基準	
中原測定局 (一般局)	NO ₂ (ppm)	年平均値	0.017	0.017	0.015	0.015	0.014	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
		年間 98%値	0.038	0.040	0.044	0.036	0.039	
		達成評価	○	○	○	○	○	
	SPM (mg/m ³)	年平均値	0.015	0.015	0.016	0.013	0.013	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。
		年間 2%除外値	0.035	0.038	0.040	0.033	0.030	
		達成評価	○	○	○	○	○	
	PM2.5 (μg/m ³)	年平均値	11.3	10.9	11.3	9.9	8.9	年平均値が15μg/m ³ 以下であり、かつ年間にわたる日平均値について98%値が35μg/m ³ 以下であること。
		年間 98%値	26.7	25.8	28.5	22.2	21.4	
		達成評価	○	○	○	○	○	
幸測定局 (一般局)	NO ₂ (ppm)	年平均値	0.017	0.018	0.016	0.016	0.015	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
		年間 98%値	0.037	0.042	0.043	0.036	0.040	
		達成評価	○	○	○	○	○	
	SPM (mg/m ³)	年平均値	0.015	0.015	0.016	0.015	0.014	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。
		年間 2%除外値	0.038	0.036	0.043	0.039	0.037	
		達成評価	○	○	○	○	○	
	PM2.5 (μg/m ³)	年平均値	11.6	12.0	11.6	9.6	8.9	年平均値が15μg/m ³ 以下であり、かつ年間にわたる日平均値について98%値が35μg/m ³ 以下であること。
		年間 98%値	26.6	27.4	28.1	22.0	22.8	
		達成評価	○	○	○	○	○	
中原平和 公園測定局 (自排局)	NO ₂ (ppm)	年平均値	0.019	0.018	0.017	0.016	0.015	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
		年間 98%値	0.039	0.042	0.043	0.036	0.039	
		達成評価	○	○	○	○	○	
	SPM (mg/m ³)	年平均値	0.018	0.017	0.018	0.015	0.014	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。
		年間 2%除外値	0.040	0.043	0.044	0.043	0.036	
		達成評価	○	○	○	○	○	
	PM2.5 ^{注4)} (μg/m ³)	年平均値	—	—	—	9.7	8.8	年平均値が15μg/m ³ 以下であり、かつ年間にわたる日平均値について98%値が35μg/m ³ 以下であること。
		年間 98%値	—	—	—	22.4	21.3	
		達成評価	—	—	—	○	○	
遠藤町 測定局 (自排局)	NO ₂ (ppm)	年平均値	0.030	0.030	0.027	0.026	0.024	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
		年間 98%値	0.052	0.051	0.053	0.046	0.047	
		達成評価	○	○	○	○	○	
	SPM (mg/m ³)	年平均値	0.015	0.015	0.016	0.014	0.013	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。
		年間 2%除外値	0.036	0.034	0.040	0.033	0.035	
		達成評価	○	○	○	○	○	

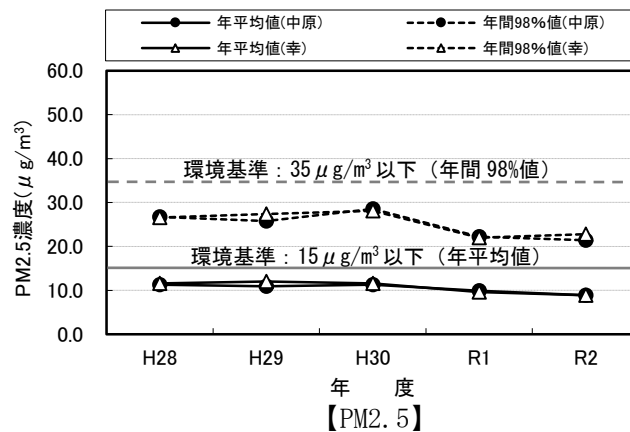
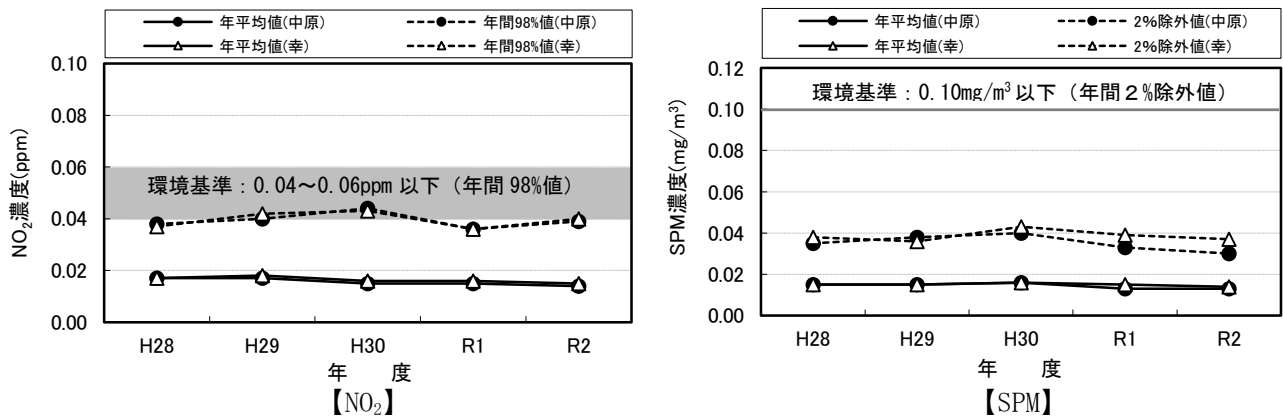
注1) NO₂については、日平均値の年間 98%値が環境基準を達成している場合を○、非達成の場合を×で示している。

注2) SPM については、日平均値の年間 2%除外値が環境基準（長期的評価：0.10mg/m³以下）を達成している場合を○、非達成の場合を×で示している。但し、日平均値の年間 2%除外値が 0.10mg/m³ 以下の場合においても、1日平均値が2日以上連続で 0.10mg/m³ を超過した場合は、環境基準非達成となる。

注3) PM2.5 については、年平均値及び年間 98%値が環境基準を達成している場合を○、非達成の場合を×で示している。

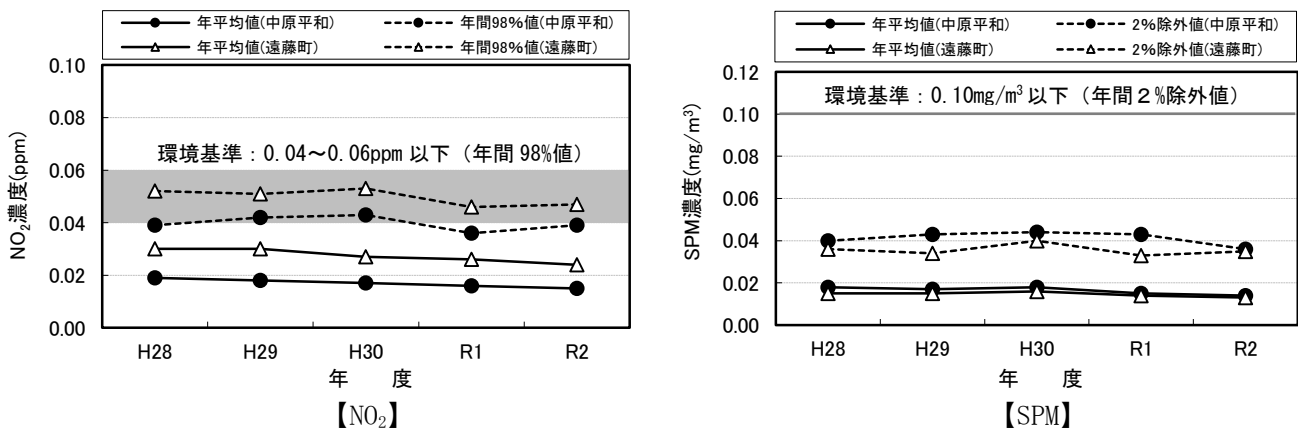
注4) 平成 30 年度より測定が開始されているが、有効測定日数が 250 日未満であることから、令和元年度以降を評価の対象としている。

出典：「平成 29～令和 3 年度 環境局事業概要－公害編－」（令和 4 年 6 月閲覧 川崎市ホームページ）



出典：「平成 29～令和 3 年度 環境局事業概要－公害編－」（令和 4 年 6 月閲覧 川崎市ホームページ）

図 2-22 一般局における大気中の NO₂、SPM 及び PM2.5 濃度の状況



出典：「平成 29～令和 3 年度 環境局事業概要－公害編－」（令和 4 年 6 月閲覧 川崎市ホームページ）

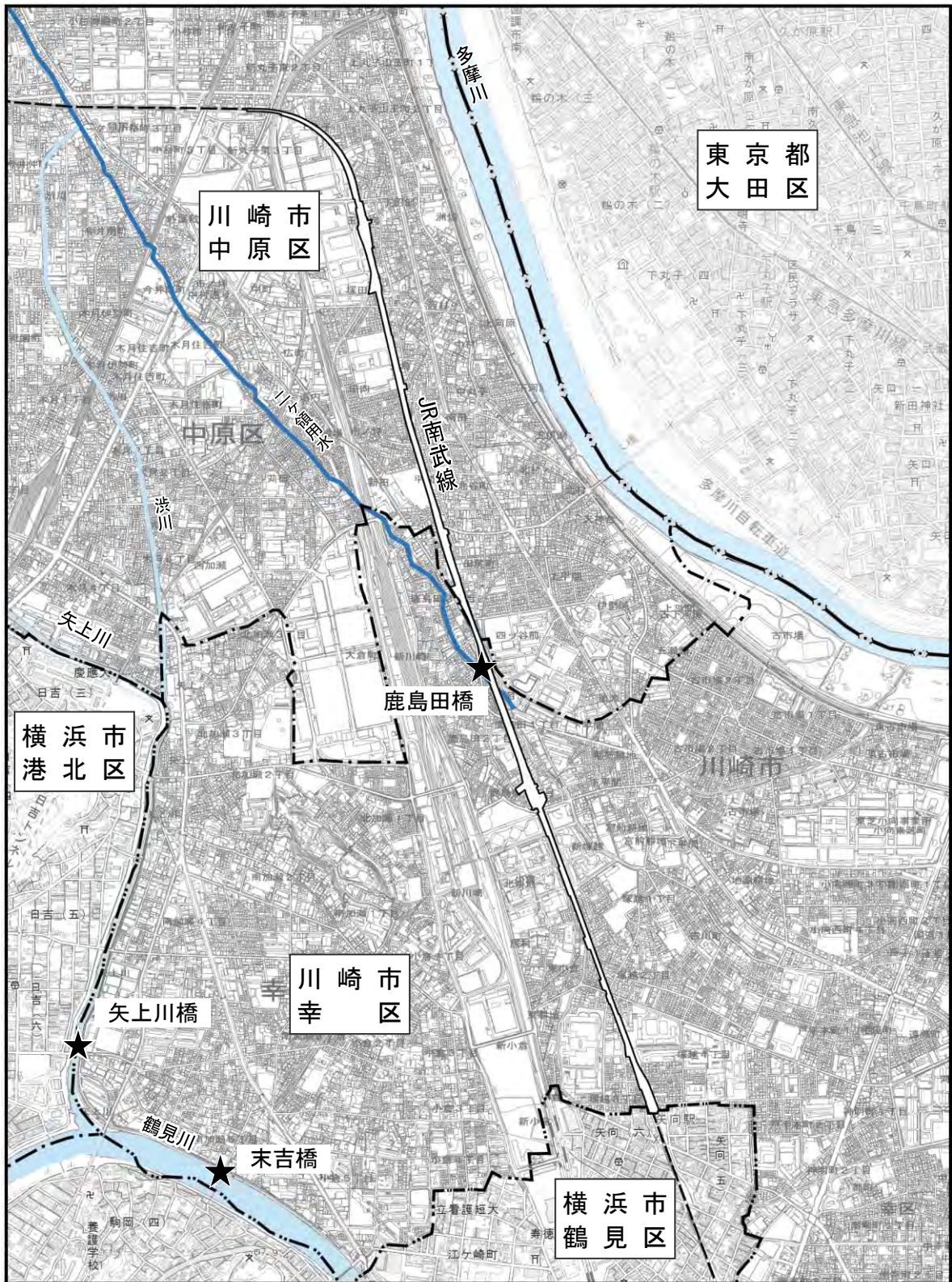
図 2-23 自排局における大気中の NO₂ 及び SPM 濃度の状況

ウ 水質汚濁

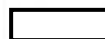






計画区間周辺の主な公共用水域水質測定地点である鶴見川（末吉橋）、矢上川（矢上川橋）及び二ヶ領用水（鹿島田橋）と計画区間との位置関係は、図2-24に示すとおりである。

公共用水域水質測定地点である鶴見川（末吉橋）、矢上川（矢上川橋）及び二ヶ領用水（鹿島田橋）における水素イオン濃度（以下、「pH」という。）、生物化学的酸素要求量（以下、「BOD」という。）、浮遊物質（以下、「SS」という。）及び溶存酸素量（以下、「DO」という。）の経年変化（平成27～令和元年度）は、表2-11及び図2-25に示すとおりである。

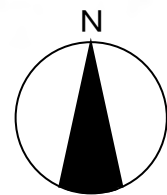
鶴見川（末吉橋）及び矢上川（矢上川橋）のpH、BOD、SS及びDOの測定結果をみると、いずれの項目も過去5年間にわたって環境基準に適合している。



凡例

- | | | | |
|---|------|---|-------------|
|  | 計画区間 |  | 主要な河川 |
|  | 都県境 |  | 主要な用水路 |
|  | 市境 |  | 公共用水域水質測定地点 |
|  | 区境 | | |

この地図は、「川崎市デジタル地形図 2500 Ver. 5」(川崎市)及び「電子地形図 25000」(国土地理院)を使用したものである。



1 : 25,000



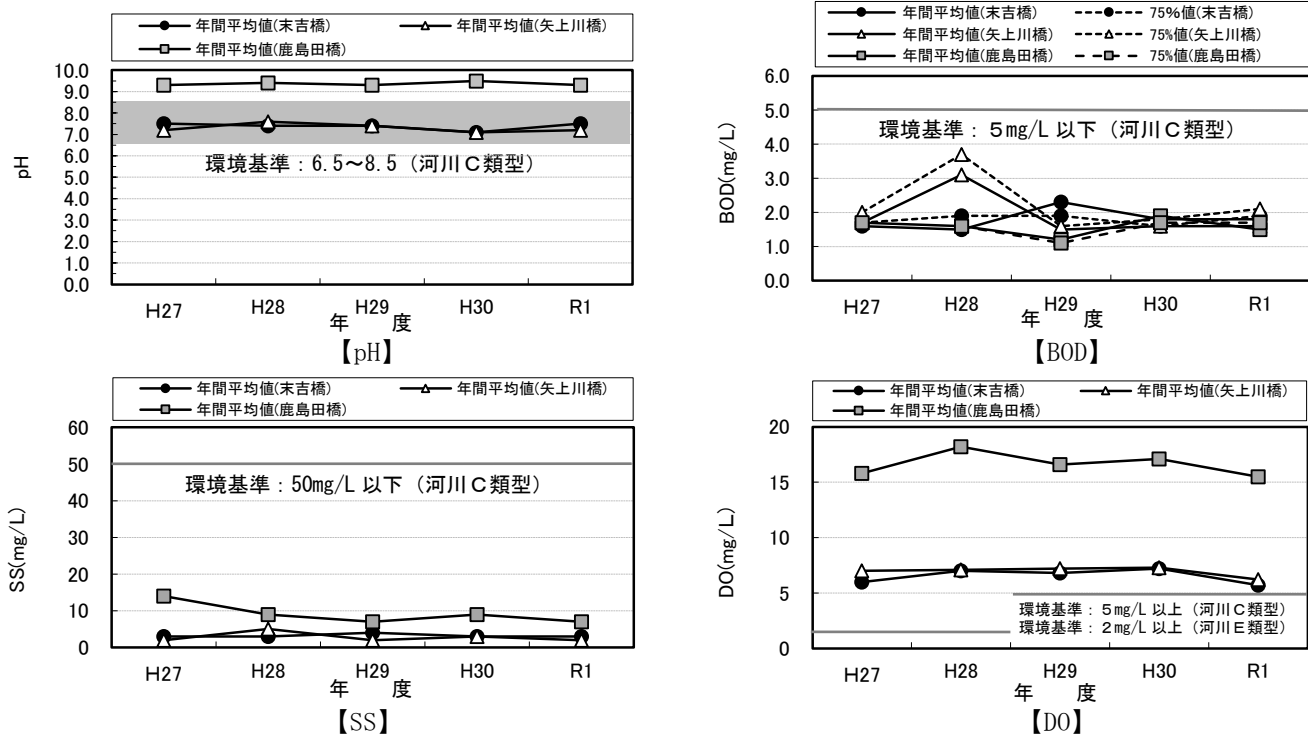
図 2-24 公共用水域水質測定地点図

表2-11 鶴見川（末吉橋）・矢上川（矢上川橋）・二ヶ領用水（鹿島田橋）における pH、BOD、SS及びDOの測定結果

測定地点	項目		平成	平成	平成	平成	令和	水域 類型 ^{注)}	環境基準	水域 類型 ^{注)}	環境基準		
			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度						
鶴見川 (末吉橋)	pH	年間平均値	7.5	7.4	7.4	7.1	7.5	河川E	6.0以上 8.5以下	河川C	6.5以上 8.5以下		
		評価	○	○	○	○	○						
	BOD (mg/L)	年間平均値	1.6	1.5	2.3	1.8	1.8					75%値が 10mg/L 以下	75%値が 5mg/L 以下
		75%値	1.7	1.9	1.9	1.6	1.9						
	SS (mg/L)	年間平均値	3	3	4	3	3		ごみ等の浮遊が認められないこと。		50mg/L 以下		
		評価	○	○	○	○	○						
	DO (mg/L)	年間平均値	6.0	7.0	6.8	7.2	5.7		2mg/L 以上		5mg/L 以上		
		評価	○	○	○	○	○						
矢上川 (矢上川橋)	pH	年間平均値	7.2	7.6	7.4	7.1	7.2	河川E	6.0以上 8.5以下	河川C	6.5以上 8.5以下		
		評価	○	○	○	○	○						
	BOD (mg/L)	年間平均値	1.7	3.1	1.5	1.6	1.6					75%値が 10mg/L 以下	75%値が 5mg/L 以下
		75%値	2.0	3.7	1.6	1.8	2.1						
	SS (mg/L)	年間平均値	2	5	2	3	2		ごみ等の浮遊が認められないこと。		50mg/L 以下		
		評価	○	○	○	○	○						
	DO (mg/L)	年間平均値	7.0	7.1	7.2	7.3	6.2		2mg/L 以上		5mg/L 以上		
		評価	○	○	○	○	○						
二ヶ領用水 (鹿島田橋)	pH	年間平均値	9.3	9.4	9.3	9.5	9.3	-	-	-	-		
	BOD (mg/L)	年間平均値	1.7	1.6	1.2	1.9	1.5					-	-
		75%値	-	1.6	1.1	1.7	1.7						
	SS (mg/L)	年間平均値	14	9	7	9	7					-	-
DO (mg/L)	年間平均値	15.8	18.2	16.6	17.1	15.5	-	-					

注) 環境基準の評価は、適合している場合は○で示している。鶴見川（末吉橋）及び矢上川（矢上川橋）は平成27年度まではE類型に、平成28年度以降はC類型に指定されている。なお、二ヶ領用水（鹿島田橋）は水域類型の指定はない。

出典：「平成27～令和元年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果」（令和4年6月閲覧 神奈川県ホームページ）
「平成27～令和元年度 水質年報」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）



注) 末吉橋及び矢上川橋は平成27年度まではE類型に、平成28年度以降はC類型に指定されている。

出典：「平成27～令和元年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果」（令和4年6月閲覧 神奈川県ホームページ）
「平成27～令和元年度 水質年報」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）

図2-25 鶴見川（末吉橋）・矢上川（矢上川橋）・二ヶ領用水（鹿島田橋）における pH、BOD、SS及びDOの状況

エ 騒音及び振動

計画区間周辺の自動車騒音・振動測定地点及び鉄道騒音・振動測定地点は図2-26に、測定結果は表2-12(1)、(2)及び表2-13に示すとおりである。

令和2年度における自動車騒音の測定結果（環境基準）では、県道大田神奈川（幸区南加瀬4丁目22-21地先）で測定されており、環境基準を達成している。

令和2年度における自動車騒音・振動の測定結果（要請限度）では、一般国道1号の道路端で測定が行われており、いずれも要請限度を下回っている。

令和2年度における鉄道騒音・振動測定では、東海道新幹線（中原区木月4-49付近）で測定が行われており、いずれも環境基準等を達成している。

表2-12(1) 自動車騒音の測定結果（環境基準）

単位：デシベル

No.	測定年度	道路名称	測定地点	用途地域	道路端における測定結果及び評価				環境基準	
					昼間	夜間	昼間	夜間		
1	平成	川崎駅丸子線	中原区上平間 247-1 付近	準住居地域	66	○	61	○	70 以下	65 以下
2	28年度	一般国道1号	幸区戸手 2-2（幸消防署第2分団）	近隣商業地域	70	○	68	×		
3	平成 29年度	東京丸子横浜	中原区新丸子東 1丁目 821-3 付近	商業地域	71	×	70	×		
4		東京丸子横浜	中原区木月 4丁目 8-5 付近	近隣商業地域	66	○	64	○		
5		鶴見溝ノ口	幸区南加瀬 4丁目 30-15 付近	準住居地域	67	○	65	○		
2		一般国道1号	幸区戸手 2-2（幸消防署第2分団）	近隣商業地域	71	×	68	×		
6		一般国道1号	幸区小向西町 1丁目 73-2 付近	近隣商業地域	70	○	69	×		
7	平成 30年度	一般国道409号	中原区小杉御殿町 2丁目 74 付近	近隣商業地域	67	○	63	○		
8		鶴見溝ノ口	幸区南加瀬 4丁目 2-3 付近	準住居地域	69	○	66	×		
9		大田神奈川線	中原区上平間 311-18 付近	近隣商業地域	66	○	64	○		
2	令和 元年度	一般国道1号	幸区戸手 2-2（幸消防署第2分団）	近隣商業地域	70	○	68	×		
10		一般国道409号	幸区小向西町 4丁目 114-1 付近	近隣商業地域	66	○	62	○		
11		一般国道409号	中原区市ノ坪 177-1 付近	準工業地域	63	○	59	○		
2	令和 2年度	一般国道1号	幸区戸手 2-2（幸消防署第2分団）	近隣商業地域	71	×	67	×		
12		県道大田神奈川	幸区南加瀬 4丁目 22-21 地先	準住居地域	67	○	62	○		

注1) 環境基準を達成している場合を○、非達成の場合を×で示している。

注2) 自動車騒音測定の時間の区分は、昼間を午前6時から午後10時までの間とし、夜間を午後10時から翌日の午前6時までの間とする。

注3) No. は、図2-26の番号と一致する。

出典：「平成29～令和3年度 環境局事業概要-公害編-」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）

表 2-12(2) 自動車騒音・振動の測定結果（要請限度）

単位：デシベル

No.	測定年度	道路名称	騒音				振動			
			道路端における測定結果		要請限度		道路端における測定結果		要請限度	
			昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
2	平成 28 年度	一般国道 1 号	70	68	75 以下	70 以下	49	44	70 以下	65 以下
2	平成 29 年度	一般国道 1 号	71	68			49	44		
2	平成 30 年度	一般国道 1 号	70	68			49	44		
2	令和元年度	一般国道 1 号	70	68			49	44		
2	令和 2 年度	一般国道 1 号	69	66			47	42		

注 1) 自動車騒音測定のための時間の区分は、昼間を午前 6 時から午後 10 時までの間とし、夜間を午後 10 時から翌日の午前 6 時までの間とする。

自動車振動測定のための時間の区分は、昼間を午前 8 時から午後 19 時までの間とし、夜間を午後 19 時から翌日の午前 8 時までの間とする。

注 2) No. は、図 2-26 の番号と一致する。

出典：「平成 29～令和 3 年度 環境局事業概要－公害編－」（令和 4 年 6 月閲覧 川崎市ホームページ）

表 2-13 鉄道騒音・振動測定結果

単位：デシベル

No.	測定年度	路線名	測定地点		用途地域	測定結果及び評価				環境基準等	
						騒音		振動		騒音	振動
1	平成 28 年度	東横線目黒線	中原区今井南町 1111 付近	12.5m	第一種住居地域	63(昼)	—	54	—	—	—
				25m		59(昼)	—	50	—		
2	平成 29 年度	東海道新幹線	中原区木月 4-49 付近	12.5m	第一種住居地域	67	○	64	○	70 以下	70 以下
				25m		67	○	58	○		
2	平成 29 年度	東海道新幹線	中原区木月 4-49 付近	12.5m	第一種住居地域	66	○	65	○	70 以下	70 以下
				25m		64	○	59	○		
3	平成 30 年度	南武線	中原区下沼部 1709 付近	12.5m	第一種住居地域	70(昼)	—	57	—	—	—
				25m		64(夜)	—	57	—		
2	令和元年度	東海道新幹線	中原区木月 4-49 付近	12.5m	第一種住居地域	67	○	54	○	70 以下	70 以下
				25m		67	○	52	○		
2	令和元年度	東海道新幹線	中原区木月 4-49 地先	12.5m	第一種住居地域	66	○	64	○	70 以下	70 以下
				25m		64	○	60	○		
2	令和 2 年度	東海道新幹線	中原区木月 4-49 地先	12.5m	第一種住居地域	66	○	64	○	70 以下	70 以下
				25m		64	○	57	○		

注 1) 環境基準等を達成している場合を○、非達成の場合を×で示している。

注 2) 在来鉄道については、騒音及び振動に係る環境基準等が定められていないため、環境基準等及びその達成評価は「—」となっている。

注 3) 鉄道騒音測定のための時間の区分は、昼間を午前 7 時から午後 10 時までの間とし、夜間を午後 10 時から翌日の午前 7 時までの間とする。

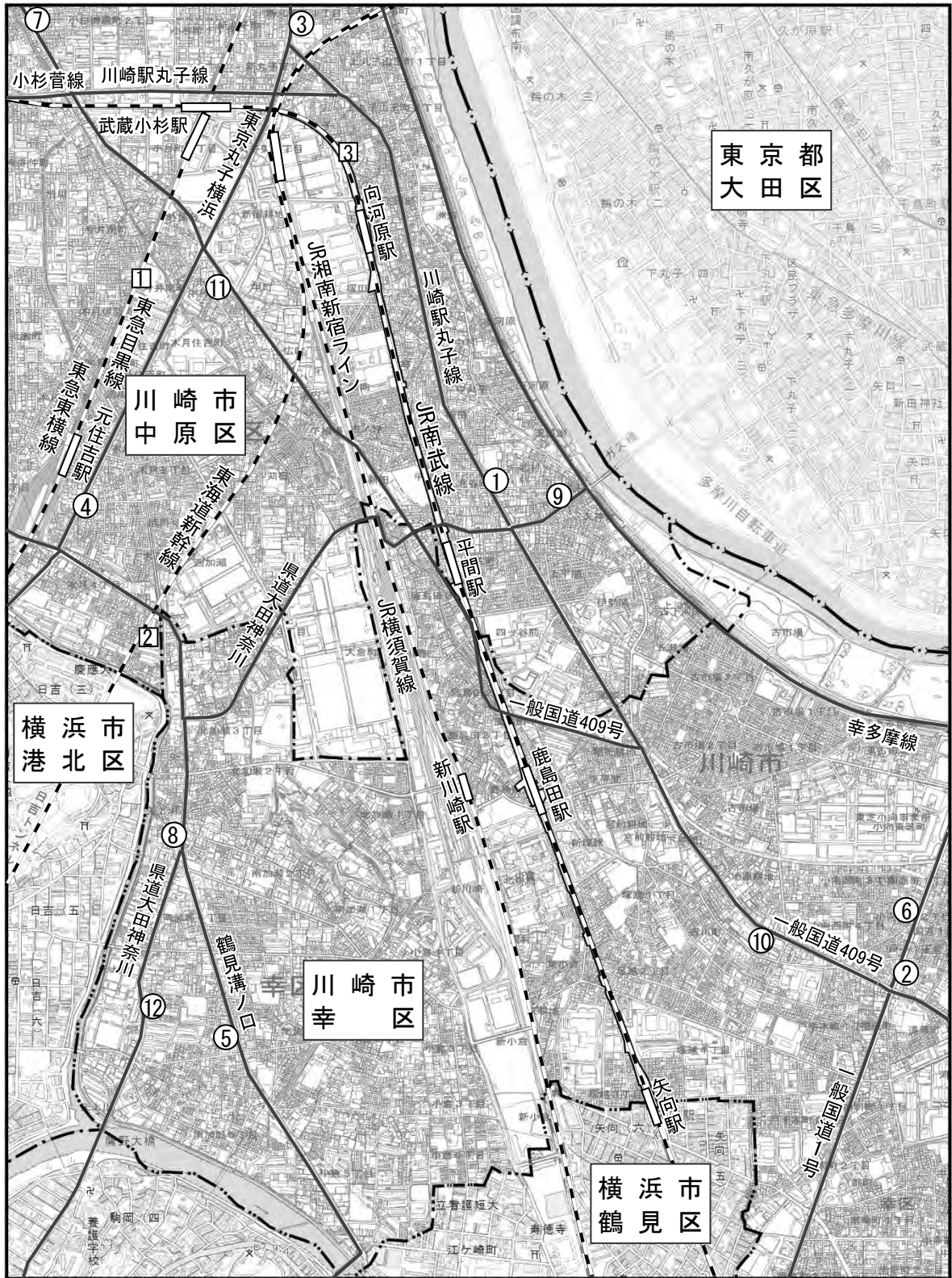
注 4) No. は、図 2-26 の番号と一致する。

注 5) 新幹線に係る騒音の測定結果は、測定した最大値のうちレベルの大きさが上位半数の値をパワー平均したものを示す。

注 6) 在来線に係る騒音の測定結果は、等価騒音レベルを示す。

注 7) 振動の測定結果は、測定した最大値のうちレベルの大きさが上位半数の値を算術平均したものを示す。

出典：「平成 29～令和 3 年度 環境局事業概要－公害編－」（令和 4 年 6 月閲覧 川崎市ホームページ）



凡例

	計画区間		主要道路
	都県境		鉄道網
	市境		自動車騒音・振動測定地点
	区境		鉄道騒音・振動測定地点

出典：「平成29～令和3年度 環境局事業概要-公害編-」
 (令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ)

この地図は、「川崎市デジタル地形図 2500 Ver. 5」(川崎市)及び「電子地形図 25000」(国土地理院)を使用したものである。

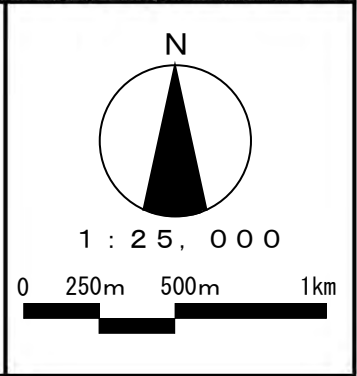


図2-26 騒音振動測定地点図

また、「騒音規制法」及び「振動規制法」に基づく工場または事業場、特定施設の届出状況は、表2-14に示すとおりである。

さらに、計画区間周辺の主な騒音及び振動の発生源としては、JR南武線のほか、JR横須賀線、東海道新幹線等の鉄道交通、一般国道409号、川崎駅丸子線等の道路交通等があげられる。

表2-14 「騒音規制法」及び「振動規制法」に基づく地区別特定事業場数及び特定施設届出状況

		騒音規制法		
		＜令和3年3月31日現在＞		
市区名		中原区	幸区	市全体
工場または事業場数		251	143	1,214
特定施設	金属加工機械	345	106	1,081
	空気圧縮機及び送風機	1,425	1,566	7,151
	土石用破碎機等	1	0	29
	建設用資材製造機械	2	0	20
	木材加工機械	14	9	79
	印刷機械	72	37	213
	合成樹脂用射出成型機	184	63	504
合計		2,043	1,781	9,077

出典：「令和3年度 環境局事業概要－公害編－」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）

		振動規制法		
		＜令和3年3月31日現在＞		
市区名		中原区	幸区	市全体
工場または事業場数		144	68	622
特定施設	金属加工機械	497	195	1,544
	圧縮機	118	99	746
	土石用破碎機等	1	0	23
	木材加工機械	1	0	1
	印刷機械	36	9	106
	ゴム練用又は合成樹脂練用ロール機	0	0	1
	合成樹脂用射出成型機	101	40	332
合計		754	343	2,753

出典：「令和3年度 環境局事業概要－公害編－」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）

オ 土壌汚染

計画区間及びその周辺における「土壌汚染対策法」に基づく形質変更時要届出区域の状況は表2-15に、要措置区域の状況は表2-16に、指定区域位置は図2-27に示すとおりである。

計画区間内には、土壌汚染に係る指定区域は存在しない。

表2-15 土壌汚染対策法に基づく形質変更時要届出区域

市	No.	形質変更時 要届出区域 の所在地	指定年月日	区域の 概況	区域の 面積 (m ²)	指定基準に適合しない特定有害物質 (適合しない基準項目)		
						含有量基準	溶出量基準	第二溶出量基準
川崎市	1	幸区小倉1645番1、1646番、1647番1、1647番2、1647番3の一部	平成23年 4月14日	事業所の跡地	3,741.6	—	・砒素及びその化合物 ・ふっ素及びその化合物	—
	2	幸区河原町1番36、37、48、49、60の一部	平成23年 5月16日	事業所の跡地	14,121.32	・鉛及びその化合物	—	—
	3	中原区新丸子町764番5の一部	平成25年 6月20日	事業所の跡地	200	—	・シス-1,2-ジクロロエチレン ・テトラクロロエチレン	・シス-1,2-ジクロロエチレン
	4	中原区上平間1073番1、1140番の一部	平成28年 3月15日	事業所の敷地	898.37	—	・ふっ素及びその化合物	—
	5	中原区木月1丁目423番1の一部	平成29年 10月11日	事業所の敷地	181.7	—	・テトラクロロエチレン	・テトラクロロエチレン
	6	幸区塚越4丁目298番1、298番3、298番4の一部	平成30年 令和4年 2月21日	事業所の跡地	4,544.37	—	・鉛及びその化合物 ・ふっ素及びその化合物	—
	7	中原区小杉町1丁目390番1、393番、394番1、395番1、396番、397番1、397番2、397番3、397番4、398番1、398番2、398番5の一部	令和2年 3月2日 令和4年 2月8日	事業所の敷地	4,083.74	・鉛及びその化合物	・クロロエチレン ・六価クロム化合物 ・鉛及びその化合物 ・ふっ素及びその化合物 ・水銀及びその化合物 ・セレン及びその化合物 ・砒素及びその化合物 ・シアン化合物	—
	8	幸区小向東芝町1番1、3番、4番1の一部	令和2年 8月31日 令和4年 2月2日	事業所の敷地	3,528.4	・鉛及びその化合物	・クロロエチレン ・ふっ素及びその化合物 ・六価クロム化合物 ・水銀及びその化合物 ・鉛及びその化合物 ・砒素及びその化合物	—
	9	中原区下沼部字玉川向1753番1の一部	令和3年 5月17日 令和3年 9月9日	事業所の敷地	588.835	—	・トリクロロエチレン ・クロロエチレン ・1,2-ジクロロエチレン	・クロロエチレン ・1,2-ジクロロエチレン
横浜市	10	鶴見区江ヶ崎町1,570番16の一部	平成27年 3月13日	事業所の跡地	6,170.7	—	・ふっ素及びその化合物 ・砒素及びその化合物	—
	11	鶴見区江ヶ崎町310番5、310番7、311番1	令和2年 12月4日	事業所の跡地	254.27	—	・クロロエチレン ・1,2-ジクロロエチレン ・トリクロロエチレン	・クロロエチレン

注) 川崎市：令和4年4月26日現在、横浜市：令和4年3月25日現在

出典：「川崎市の土壌汚染対策 形質変更時要届出区域」(令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ)

「土壌汚染対策法に基づく汚染された土地の区域の指定」(令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ)

表2-16 土壌汚染対策法に基づく要措置区域

市	No.	要措置区域の所在地	指定年月日	区域の概況	区域の面積(m ²)	指定基準に適合しない特定有害物質(適合しない基準項目)			地下水汚染の有無
						含有量基準	溶出量基準	第二溶出量基準	
川崎市	1	幸区塚越4丁目298番4の一部	平成30年10月18日	事業所の跡地	1,365.77	-	<ul style="list-style-type: none"> ・シス-1,2-ジクロロエチレン ・テトラクロロエチレン ・トリクロロエチレン ・ふっ素及びその化合物 	-	<ul style="list-style-type: none"> ・シス-1,2-ジクロロエチレン ・テトラクロロエチレン ・トリクロロエチレン ・ふっ素及びその化合物

注) 令和4年3月11日現在

出典:「川崎市の土壌汚染対策 要措置区域」(令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ)

また、計画区間及びその周辺における「川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例」に基づく汚染区域の状況は表2-17に、汚染区域位置は図2-27に示すとおりである。

計画区間に隣接した場所では幸区塚越三丁目で汚染区域が確認されており、現在は「対策実施中」及び「管理実施中」となっている。

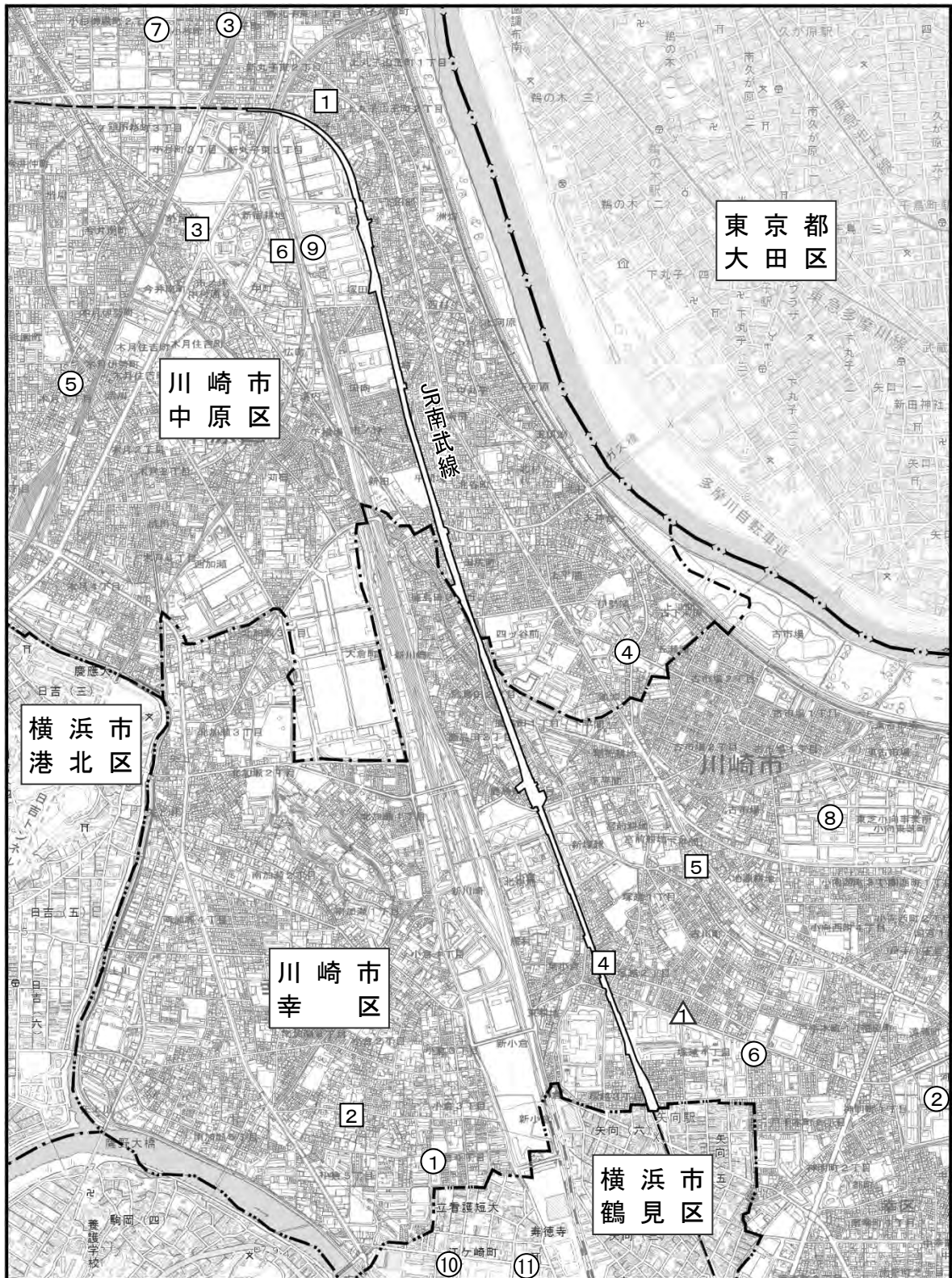
表2-17 川崎市条例に基づく汚染区域

No.	汚染区域の所在地	汚染判明年月日	汚染区域の面積(m ²)	基準に適合しない特定有害物質(最大値)	備考
1	中原区上丸子山王町2-1202及び1202-5	平成17年3月3日	3	六価クロム (0.18mg/L)	応急対策実施済み
2	幸区小倉1655	平成18年9月13日	420.87	シアン (5.9mg/L) トリクロロエチレン (1.9mg/L) シス-1,2-ジクロロエチレン (1.1mg/L)	-
3	中原区市ノ坪132番地	平成25年12月26日	73	ふっ素 (0.88mg/L)	対策実施中
4	幸区塚越三丁目142	平成28年9月28日	128.98	ふっ素 (1.2mg/L) 六価クロム (1.8mg/L) シアン (130mg/kg、10mg/L)	対策実施中 管理実施中
5	幸区古川町179番1、16	平成30年6月18日	578.33	クロロエチレン (0.0044mg/L) トリクロロエチレン (0.064mg/L) ふっ素 (1.3mg/L)	(搬出土壌) 対策実施中
6	中原区下沼部1812-10	令和3年2月4日	1,532.15	クロロエチレン (0.24mg/L) 六価クロム (0.051mg/L) セレン (0.11mg/L) ふっ素 (3.9mg/L) 砒素 (0.039mg/L) ※砒素は自然由来	対策実施中









注) 令和4年5月10日現在

出典:「市の条例に基づく土壌調査等の結果」(令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ)

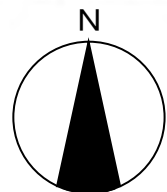
なお、現地踏査において確認したところ、計画区間及びその周辺には、土壌汚染の原因となる有害物質を取り扱っている可能性のある工場、事業所等が存在する。



凡例

- | | | | | | |
|---|------|---|----|---|--------------|
|  | 計画区間 |  | 市境 |  | 形質変更時要届出区域 |
|  | 都県境 |  | 区境 |  | 要措置区域 |
|  | | | |  | 川崎市条例に係る汚染区域 |

出典：「川崎市の土壤汚染対策 形質変更時要届出区域」
 (令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ)
 「土壤汚染対策法に基づく汚染された土地の区域の指定」
 (令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ)
 「川崎市の土壤汚染対策 要措置区域」(令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ)
 「市の条例に基づく土壤調査等の結果」(令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ)
 この地図は、「川崎市デジタル地形図 2500 Ver.5」(川崎市)及び「電子地形図 25000」
 (国土地理院)を使用したものである。



1 : 25,000



図2-27 土壤汚染に係る指定区域等位置図

カ 地盤沈下

計画区間周辺の水準点位置は図2-28に、平成29～令和3年度における水準点の経年変化は表2-18(1)、(2)に示すとおりである。

平成29～令和3年度における周辺の水準点の変動量は、環境省が地盤沈下の注意が必要とされる目安としている年間沈下量20mm以上の沈下はない。

表2-18(1) 標高変動調査結果（平成29～令和3年度）

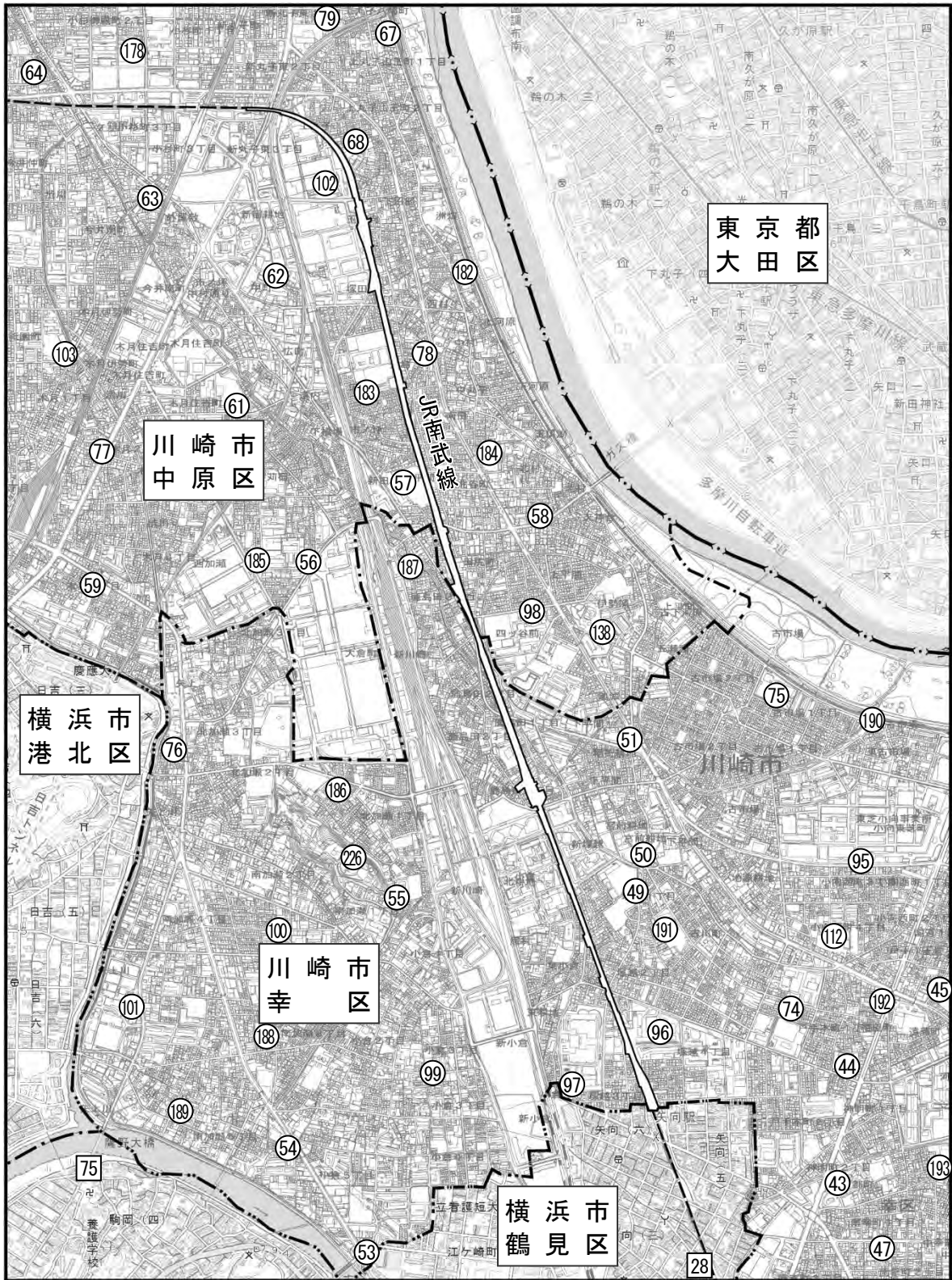
市	区	水準点 番号	所在地	項目	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度
川 崎 市	中 原 区	56	苅宿 335	標高 (m)	5.8527	5.8526	5.8573	5.8542	5.8539
				変動 (mm)	-2.7	-0.1	+4.7	-3.1	-0.3
		57 ^{注)}	市ノ坪 710	標高 (m)	亡失	亡失	亡失	亡失	亡失
				変動 (mm)	亡失	亡失	亡失	亡失	亡失
		58	上平間 293	標高 (m)	6.9070	6.9062	6.9086	不測	不測
				変動 (mm)	-3.1	-0.8	+2.4	不測	不測
		59	木月 1365	標高 (m)	6.0837	6.0820	6.0871	6.0832	6.085
				変動 (mm)	-1.8	-1.7	+5.1	-3.9	+1.8
		61	木月住吉町 1910	標高 (m)	6.7312	6.7311	6.7361	6.7348	6.7308
				変動 (mm)	-2.9	-0.1	+5.0	-1.3	-4.0
		62	市ノ坪 131	標高 (m)	6.4245	6.4240	6.4282	6.4265	6.4222
				変動 (mm)	-2.0	-0.5	+4.2	-1.7	-4.3
		63	市ノ坪 54	標高 (m)	7.6227	7.6216	7.6273	不測	不測
				変動 (mm)	-1.2	-1.1	+5.7	不測	不測
		64	今井上町 19	標高 (m)	8.3833	8.3835	8.3887	不測	不測
				変動 (mm)	-1.9	0.2	+5.2	不測	不測
		67	上丸子山王町 1-1555	標高 (m)	7.5029	7.5008	7.5065	不測	不測
				変動 (mm)	-1.8	-2.1	+5.7	不測	不測
		68	下沼部 1709	標高 (m)	5.7329	5.7310	5.7342	不測	不測
				変動 (mm)	-4.3	-1.9	+3.2	不測	不測
		77	木月 737	標高 (m)	6.8945	6.8929	6.8975	不測	不測
				変動 (mm)	-0.9	-1.6	+4.6	不測	不測
		78	中丸子 492	標高 (m)	6.6956	6.6943	6.6986	不測	不測
				変動 (mm)	-2.4	-1.3	+4.3	不測	不測
		79	上丸子八幡町 815	標高 (m)	6.6439	6.6431	6.6471	6.6464	6.6422
				変動 (mm)	-1.9	-0.8	+4.0	-0.7	-4.2
		98	上平間 1700-7	標高 (m)	4.4552	4.4541	4.4574	不測	不測
				変動 (mm)	-2.1	-1.1	+3.3	不測	不測
102	下沼部 1753 先	標高 (m)	6.0844	6.0838	6.0877	不測	不測		
		変動 (mm)	-2.7	-0.6	+3.9	不測	不測		
103	木月祇園町 289	標高 (m)	6.2127	6.2116	6.2157	不測	不測		
		変動 (mm)	-0.6	-1.1	+4.1	不測	不測		
138	上平間 1298	標高 (m)	4.3745	4.3745	4.3773	4.3743	4.3782		
		変動 (mm)	-2.7	0	+2.8	-3.0	+3.9		
178	小杉町 2-284 先	標高 (m)	8.0125	8.0125	8.0165	不測	不測		
		変動 (mm)	-2.6	0	+4.0	不測	不測		
182	中丸子 1155	標高 (m)	5.4285	5.4268	5.4308	不測	不測		
		変動 (mm)	-1.9	-1.7	+4.0	不測	不測		
183	中丸子 562	標高 (m)	6.1808	6.1799	6.1820	不測	不測		
		変動 (mm)	-4.0	-0.9	+2.1	不測	不測		
184	北谷町 32	標高 (m)	5.848	5.8473	5.8505	不測	不測		
		変動 (mm)	-3.4	+2.5	+3.2	不測	不測		
185	苅宿 233	標高 (m)	5.6219	5.6217	5.6260	5.6238	5.6229		
		変動 (mm)	-2.3	-0.2	+4.3	-2.2	-0.9		

注) 水準点番号57番の地点について、平成29年度より既存の地点での測定の継続が困難となったことから、測定を中止している。
出典：「水準測量成果一覧表」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）

表2-18(2) 標高変動調査結果(平成29~令和3年度)

市	区	水準点 番号	所在地	項目	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度
川崎市	幸区	43	都町 74-2	標高 (m)	2.5107	2.5068	2.5106	2.5099	2.5133
				変動 (mm)	-3.4	-3.9	+3.8	-0.7	+3.4
		44	紺屋町 72	標高 (m)	3.5302	3.5282	3.5312	3.5304	3.5341
				変動 (mm)	-3.4	-2.0	+3.0	-0.8	+3.7
		45	戸手 4-2-1	標高 (m)	3.7134	3.7115	3.7134	3.7129	3.7147
				変動 (mm)	-2.6	-1.9	+1.9	-0.5	+1.8
		47	南幸町 2-38-1	標高 (m)	2.2989	2.2954	2.2980	2.2972	2.2998
				変動 (mm)	-2.7	-3.5	+2.6	-0.8	+2.6
		49	塚越 1-60	標高 (m)	亡失	亡失	亡失	亡失	5.0049
				変動 (mm)	亡失	亡失	亡失	亡失	-
		50	下平間 183	標高 (m)	4.1948	4.1947	4.1980	4.1958	4.1996
				変動 (mm)	-4.1	-0.1	+3.3	-2.2	+3.8
		51	下平間 46 先	標高 (m)	5.5747	5.5744	5.5772	5.5745	5.5786
				変動 (mm)	-3.6	-0.3	+2.8	-2.7	+4.1
		53	小倉 1690 先	標高 (m)	2.9003	2.9008	2.9022	2.8994	2.903
				変動 (mm)	-2.2	+0.5	+1.4	-2.8	+3.6
		54	小倉 1800	標高 (m)	3.3109	3.3119	3.3144	3.3109	3.3143
				変動 (mm)	-1.0	+1.0	+2.5	-3.5	+3.4
		55	北加瀬 1-37-1	標高 (m)	5.0551	5.0532	5.0571	5.0537	5.0561
				変動 (mm)	-0.4	-1.9	+3.9	-3.4	+2.4
		74	戸手本町 1-81	標高 (m)	2.7875	2.7842	2.7856	2.7810	2.7837
				変動 (mm)	-5.8	-3.3	+1.4	-4.6	+2.7
		75	古市場 1-1	標高 (m)	4.2188	4.2186	4.2210	4.2190	4.221
				変動 (mm)	-2.3	-0.2	+2.4	-2.0	+2.0
		76	矢上 6-8	標高 (m)	5.3508	5.3495	5.3543	5.3499	5.3521
				変動 (mm)	-1.6	-1.3	+4.8	-4.4	+2.2
		95	小向東芝町 1	標高 (m)	3.8690	3.8677	3.8695	3.8680	3.8699
				変動 (mm)	-3.1	-1.3	+1.8	-1.5	+1.9
		96	塚越 4-345-15	標高 (m)	4.5543	4.5529	4.5553	4.5538	4.5579
				変動 (mm)	-2.6	-1.4	+2.4	-1.5	+4.1
		97	塚越 3-484-5	標高 (m)	4.4750	4.4757	4.4776	4.4754	4.4792
				変動 (mm)	-4.2	+0.7	+1.9	-2.2	+3.8
		99	小倉 901	標高 (m)	4.2532	4.2550	4.2580	4.2543	4.2584
				変動 (mm)	-2.9	+1.8	+3.0	-3.7	+4.1
		100	南加瀬 2-19-4	標高 (m)	4.2152	4.2139	4.2170	4.2116	4.2155
				変動 (mm)	-0.7	-1.3	+3.1	-5.4	+3.9
101	南加瀬 4-40-22	標高 (m)	4.0980	4.0981	4.1006	4.0968	4.1001		
		変動 (mm)	-1.0	+0.1	+2.5	-3.8	+3.3		
112	小向西町 4-30	標高 (m)	3.2189	3.2170	3.2188	3.2181	3.2199		
		変動 (mm)	-3.1	-1.9	+1.8	-0.7	+1.8		
186	北加瀬 1111-5	標高 (m)	5.2059	5.2033	5.2085	5.2041	5.2071		
		変動 (mm)	-1.0	-2.6	+5.2	-4.4	+3.0		
187	鹿島田 684	標高 (m)	4.9354	4.9338	4.9377	4.9357	4.9369		
		変動 (mm)	-1.7	-1.6	+3.9	-2.0	+1.2		
188	南加瀬 3-24-15	標高 (m)	3.6447	3.6453	3.6477	3.6443	3.6474		
		変動 (mm)	-0.5	+0.6	+2.4	-3.4	+3.1		
189	南加瀬 5-14-3	標高 (m)	3.1175	3.1178	3.1203	3.1160	3.1196		
		変動 (mm)	-1.2	+0.3	+2.5	-4.3	+3.6		
190	東古市場 71	標高 (m)	3.6300	3.6294	3.6313	3.6288	3.6307		
		変動 (mm)	-2.4	-0.6	+1.9	-2.5	+1.9		
191	古川町 70	標高 (m)	3.7651	3.7646	3.7669	3.7656	3.7692		
		変動 (mm)	-3.3	-0.5	+2.3	-1.3	+3.6		
192	紺野町 13	標高 (m)	3.4661	3.4642	3.4666	3.4657	3.4691		
		変動 (mm)	-3.5	-1.9	+2.4	-0.9	+3.4		
193	中幸町 2-17	標高 (m)	2.3293	2.3273	2.3291	2.3288	2.3305		
		変動 (mm)	-1.2	-2.0	+1.8	-0.3	+1.7		
226	北加瀬 1-13-1	標高 (m)	31.5154	31.5173	31.5184	31.5141	31.5171		
		変動 (mm)	-0.2	+1.9	+1.1	-4.3	+3.0		
横浜市	鶴見区	28	矢向 4-16-2	標高 (m)	不測	不測	不測	不測	不測
				変動 (mm)	不測	不測	不測	不測	不測
		75	駒岡 4-41-6 先	標高 (m)	不測	不測	不測	不測	不測
				変動 (mm)	不測	不測	不測	不測	不測

出典：「水準測量成果一覧表」(令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ)
「横浜市水準測量成果表」(令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ)



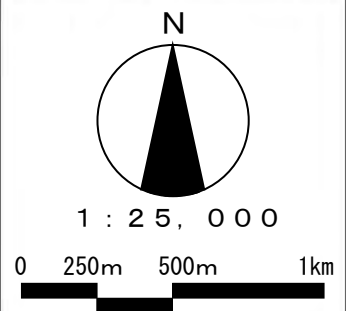
凡例

- | | | | |
|---|------|---|--------------|
|  | 計画区間 |  | 水準基標位置 (川崎市) |
|  | 都県境 |  | 水準基標位置 (横浜市) |
|  | 市境 | | |
|  | 区境 | | |

出典：「水準測量成果一覧表」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）
「横浜市水準測量成果表」（令和4年6月閲覧 横浜市ホームページ）

この地図は、「川崎市デジタル地形図 2500 Ver.5」（川崎市）及び「電子地形図 25000」（国土地理院）を使用したものである。

図 2-28 水準基標位置図



(12) 景観

計画区間周辺における「川崎市景観計画」に基づく景観資源の状況は、表2-19及び図2-29に示すとおりである。

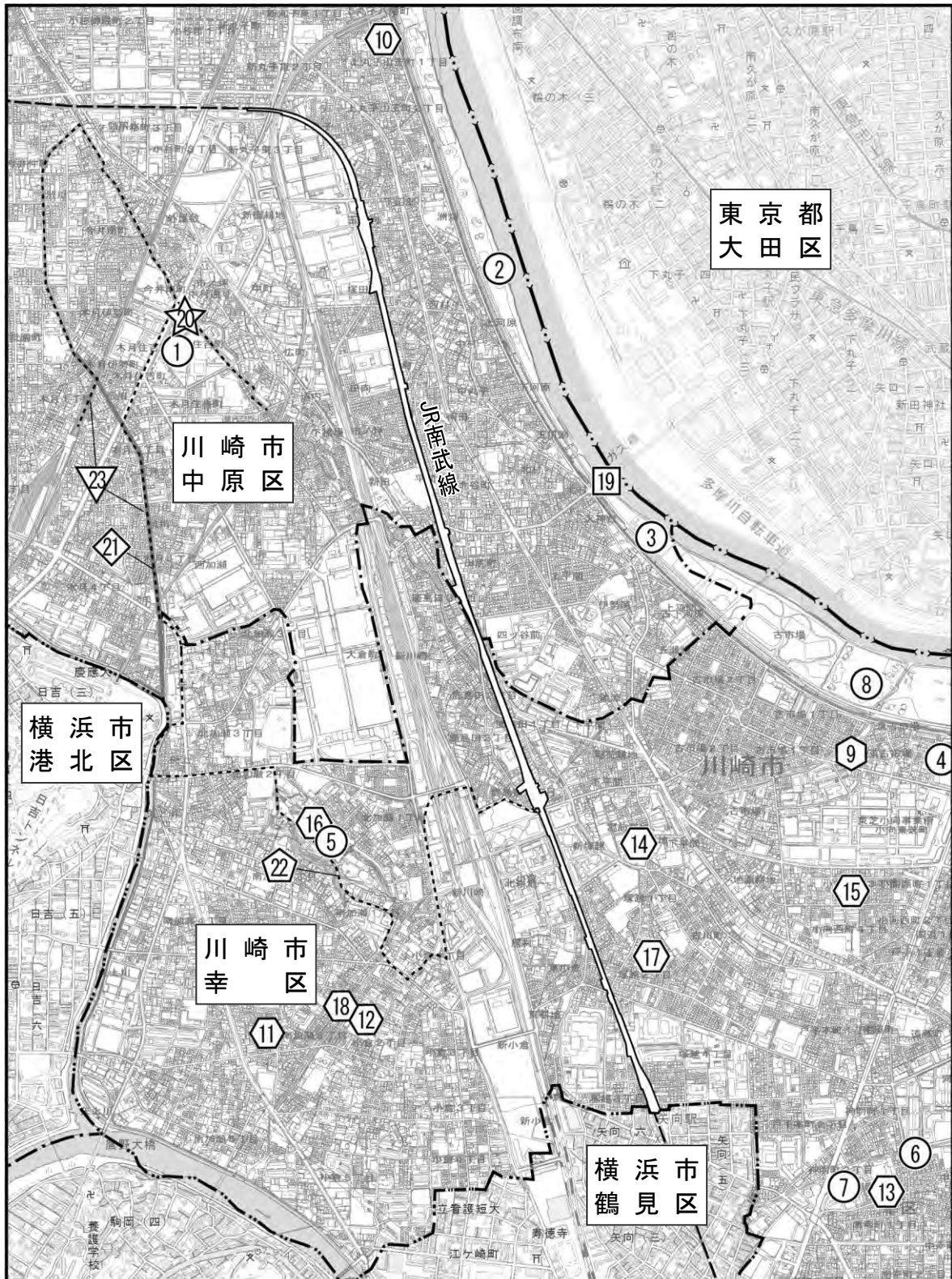
計画区間付近には、渋川・加瀬をめぐる散歩道が存在する。

また、計画区間周辺で比較的標高の高い場所にある景観資源としては、夢見ヶ崎（古墳群）、夢見ヶ崎（秋草文壺）が存在する。







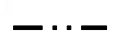


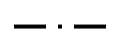


表2-19 「川崎市景観計画」に基づく景観資源一覧

区分	区	No.	名称	所在地
公園	中原区	1	川崎市中原平和記念公園	木月住吉町33-1
		2	多摩川緑地中丸子地区	中丸子、上平間地内
		3	多摩川緑地上平間地区	上平間地内
	幸区	4	御幸公園	東古市場1
		5	夢見ヶ崎公園（幸区市民健康の森）	南加瀬1-2-1
		6	さいわい緑道（旧河原町緑道）	河原町、神明町1、2丁目地内
		7	南河原公園	都町74-2
		8	多摩川緑地古市場地区	古市場地内
まちの樹	幸区	9	天満天神社のクスノキ	東古市場
文化財等	中原区	10	日枝神社	上丸子山王町1-1455
	幸区	11	長弘寺	南加瀬3-24-16
		12	無量院	小倉957
		13	延命寺	都町4-2
		14	称名寺	下平間183
		15	八幡大神（小向の獅子舞）	小向242
		16	夢見ヶ崎（古墳群）、夢見ヶ崎（秋草文壺）	北加瀬1-13-1ほか
		17	東明寺	塚越2-118
18	深瀬家長屋門	南加瀬3-13-25		
産業遺産 ・橋りょう	中原区	19	ガス橋	上平間
文化的施設	中原区	20	川崎市平和館	木月住吉町33-1（中原平和公園内）
河川親水整備	中原区	21	渋川	木月大町～今井仲町
坂道	幸区	22	おしみず坂	南加瀬1丁目
遊歩道	中原区 ・幸区	23	渋川・加瀬をめぐる散歩道	—

出典：「川崎市景観計画」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）



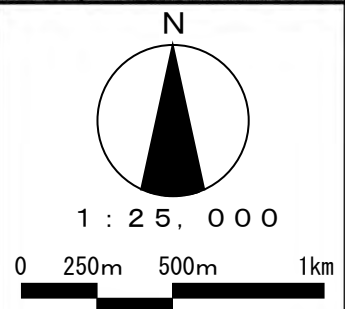
凡例

- | | | | | | |
|---|------|---|-----------|---|--------|
|  | 計画区間 |  | 公園 |  | 文化的施設 |
|  | 都県境 |  | まちなみ |  | 河川親水整備 |
|  | 市境 |  | 文化財等 |  | 坂道 |
|  | 区境 |  | 産業遺産・橋りょう |  | 遊歩道 |

出典：「川崎市景観計画」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）

この地図は、「川崎市デジタル地形図 2500 Ver. 5」（川崎市）及び「電子地形図 25000」（国土地理院）を使用したものである。

図2-29 「川崎市景観計画」に基づく景観資源位置図



(13) 法令等

ア 関連する法令等

本事業に関連する環境関連法令、条例、要綱、計画等及び対象事業関連法令としては、表2-20に示すものがあげられる。

表2-20 関連する法令等

区分	法令、条例、要綱、計画等の名称	備考
環境全般	環境基本法	平成5年11月19日法律第91号
	第五次環境基本計画	平成30年4月17日閣議決定
	川崎市環境基本条例	平成3年12月25日条例第28号
	川崎市環境基本計画	令和3年2月改定
環境影響評価	川崎市環境影響評価に関する条例	平成11年12月24日条例第48号
	地域環境管理計画（川崎市）	令和3年3月改定
	川崎市環境影響評価等技術指針	令和3年3月改訂
地球環境	地球温暖化対策の推進に関する法律	平成10年10月9日法律第117号
	川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例	平成21年12月24日条例第52号
	エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）	昭和54年6月22日法律第49号
	建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律	平成27年7月8日法律第53号
	川崎市地球温暖化対策推進基本計画	令和4年3月改定
公害全般	川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例	平成11年12月24日条例第50号
	川崎市大気・水環境計画	令和4年3月策定
大気	大気汚染防止法	昭和43年6月10日法律第97号
	悪臭防止法	昭和46年6月1日法律第91号
水	下水道法	昭和33年4月24日法律第79号
	水質汚濁防止法	昭和45年12月25日法律第138号
地盤	工業用水法	昭和31年6月11日法律第146号
土壌汚染	土壌汚染対策法	平成14年5月29日法律第53号
騒音・振動・低周波音	騒音規制法	昭和43年6月10日法律第98号
	在来鉄道の新設又は大規模改良に際しての騒音対策の指針について	平成7年12月20日環大一174号
	振動規制法	昭和51年6月10日法律第64号
	環境保全上緊急を要する新幹線鉄道振動対策について（勧告）	昭和51年3月12日環大特32号
廃棄物等	循環型社会形成推進基本法	平成12年6月2日法律第110号
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	昭和45年12月25日法律第137号
	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	平成12年5月31日法律第104号
	資源の有効な利用の促進に関する法律	平成3年4月26日法律第48号
	建設副産物適正処理推進要綱（国土交通省）	平成14年5月30日改正
	建設廃棄物処理指針（平成22年度版）（環境省）	平成22年3月策定
	建設廃棄物の適正管理の手引き（川崎市）	令和4年3月策定
	川崎市廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例	平成4年12月24日条例第51号
神奈川県土砂の適正処理に関する条例	平成11年3月16日条例第3号	
景観	景観法	平成16年6月18日法律第110号
	川崎市都市景観条例	平成6年12月26日条例第38号
	川崎市景観計画	平成30年12月改定
安全	消防法	昭和23年7月24日法律第186号
	川崎市火災予防条例	昭和48年7月3日条例第36号
	高圧ガス保安法	昭和26年6月7日法律第204号
バリアフリー関連	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律	平成18年6月21日法律第91号
	川崎市福祉のまちづくり条例	平成9年7月1日条例第36号
対象事業関連	都市計画法	昭和43年6月15日法律第100号
	川崎市都市計画マスタープラン（全体構想）	平成29年3月改定
	川崎市都市計画マスタープラン（中原区構想・幸区構想）	令和3年8月改定
	建築基準法	昭和25年5月24日法律第201号
	川崎市建築基準条例	昭和35年9月9日条例第20号
	川崎市総合都市交通計画	平成30年3月改定

2 計画区間及びその周辺地域の環境の特性

(1) 立地特性

計画区間は、平坦な地形となっているが、計画区間周辺は主に人工地形である盛土地となっており、低地の微高地である自然堤防及び砂堆・砂州や低地の一般面である旧河道も分布している。

計画区間は、現在、そのほとんどが現状のJR南武線の路線となっている。計画区間周辺は、主に住宅用地、集合住宅用地となっているほか、学校をはじめとした文教・厚生用地や軽工業用地等がみられる。

(2) 環境の特性

計画区間及びその周辺の概況を踏まえ、「地域環境管理計画」の大項目に沿って環境の特性を表2-21(1)～(3)に示すとおり整理した。

表2-21(1) 周辺地域の環境の特性

項目		周辺地域の環境の特性
環境の特性	地球環境	計画区間は、現在、そのほとんどが現状のJR南武線の路線となっている。計画区間周辺は、主に住宅用地、集合住宅用地となっているほか、学校をはじめとした文教・厚生用地や軽工業用地等がみられ、著しい温室効果ガス発生の要因となる施設はない。
	大気	計画区間は、現在、そのほとんどが現状のJR南武線の路線となっており、計画区間周辺の一般国道409号を走行する車両の排気ガスの排出はあるものの、著しい排出ガスを発生させる施設等は存在しない。また、計画区間周辺の一般局である中原測定局及び幸測定局、自排局である中原平和公園測定局及び遠藤町測定局の平成28～令和2年度におけるNO ₂ 、SPM及びPM _{2.5} の測定結果は、いずれも環境基準を達成している。 計画区間は、現在、そのほとんどがJR南武線の路線となっており、著しい悪臭を発生させる施設等は存在しない。なお、計画区間周辺には、軽工業用地等が存在する。
	水	主要な河川として計画区間の東側に多摩川、西側に鶴見川及び矢上川が位置している。また、主要な用水路として、計画区間及びその北西側に二ヶ領用水が位置している。 なお、計画区間及びその周辺では湧水は確認されていない。 計画区間周辺の公共用水域水質測定地点である鶴見川（末吉橋）、矢上川（矢上川橋）の平成27～令和元年度におけるpH、BOD、SS及びDOの測定結果は、いずれも環境基準に適合している。
	地盤	計画区間は、平坦な地形となっているが、計画区間周辺は主に人工地形である盛土地となっており、低地の微高地である自然堤防及び砂堆・砂州や低地の一般面である旧河道も分布している。計画区間周辺は、主に人工改変低地土である市街地及びその他の人工改変低地土となっている。 平成29～令和3年度における周辺の水準点の変動量では、環境省が地盤沈下の注意が必要とされる目安としている年間沈下量20mm以上の沈下はない。
	土壌汚染	計画区間及びその周辺では、「土壌汚染対策法」に基づく形質変更時届出区域が11カ所、要措置区域が1カ所指定されている。なお、計画区間内には土壌汚染に係る指定区域は存在しない。 計画区間及びその周辺における「川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例」に基づく土壌調査結果について、計画区間では幸区塚越三丁目で汚染区域が確認されており、現在は「対策実施中」及び「管理実施中」となっている。 現地踏査において確認したところ、計画区間及びその周辺には、土壌汚染の原因となる有害物質を取り扱っている可能性のある工場、事業所等が存在する。

表 2-21(2) 周辺地域の環境の特性

項目	周辺地域の環境の特性
騒音・振動・低周波音	<p>計画区間は、現在、そのほとんどが現状のJR南武線の路線となっている。</p> <p>令和2年度における自動車騒音測定結果（環境基準）は、県道大田神奈川（幸区南加瀬4丁目22-21地先）で測定されており、環境基準を達成している。</p> <p>令和2年度における自動車騒音・振動の測定結果（要請限度）では、一般国道1号の道路端で測定が行われており、いずれも要請限度を下回っている。</p> <p>令和2年度における鉄道騒音・振動測定結果では、東海道新幹線（中原区木月4-49付近）で測定が行われており、いずれも環境基準等を達成している。</p> <p>さらに、計画区間周辺の主な騒音及び振動の発生源としては、JR南武線のほか、JR横須賀線、東海道新幹線等の鉄道交通、一般国道409号、川崎駅丸子線等の道路交通等があげられる。</p> <p>なお、計画区間周辺に著しい低周波音を発生させる施設等は存在しない。</p>
廃棄物等	<p>計画区間は、現在、そのほとんどが現状のJR南武線の路線となっている。</p> <p>発生した一般廃棄物は、川崎市の許可を受けた業者等に運搬を委託して処理している。産業廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の許可を受けた業者に委託して、適正に処理している。</p>
水象	<p>主要な河川として計画区間の東側に多摩川、西側に鶴見川、矢上川及び渋川が位置している。また、主要な用水路として、計画区間及びその北西側に二ヶ領用水が位置している。</p> <p>なお、計画区間及びその周辺では湧水は確認されていない。</p>
環境の特性 生物	<p>計画区間は、現在、そのほとんどが現状のJR南武線の路線となっており、計画区間周辺は、主に市街化区域となっている。</p> <p>計画区間の東側に流れる多摩川の河川敷では緑地がみられ、「河川水辺の国勢調査（多摩川の調査結果）」（令和4年6月閲覧 国土交通省関東地方整備局ホームページ）によると、スギナやミゾソバ等の植物種が確認されている。また、動物種では、マガモ、アオサギ等の鳥類やアユ、オイカワ等の魚類が確認されており、重要種としては、ダイサギやコチドリ等の鳥類、ヒメハゼ等の魚類が確認されている。</p> <p>計画区間及びその北西側に位置する二ヶ領用水では、「かわさき水辺の生きもの一川と海に出かけてみよう」（令和4年6月閲覧 川崎市ホームページ）によると、コイ、オイカワ等の魚類が確認されており、絶滅危惧種としては、ミナミメダカ等の魚類が確認されている。また、現地踏査により、マガモ、サギ類、ハクセキレイ等の鳥類が確認されている。</p>
緑	<p>計画区間は、現在、そのほとんどが現状のJR南武線の路線となっており、公園緑地等は存在しない。</p> <p>なお、計画区間に隣接する公園緑地等としては、下沼部公園、向河原駅前広場公園、町田堀ふれあい公園、FUSOグリーンガーデンがある。</p>
人と自然とのふれあい活動の場	<p>計画区間は、現在、そのほとんどが現状のJR南武線の路線となっている。計画区間周辺は、主に住宅用地、集合住宅用地となっているほか、学校をはじめとした文教・厚生用地や軽工業用地等がみられる。</p> <p>なお、計画区間最寄りの人と自然とのふれあい活動の場は、親水空間として二ヶ領用水があげられる。</p>
歴史的文化的遺産	<p>計画区間周辺には国登録文化財は存在しないが、建造物をはじめとした市の指定文化財が多数存在する。なお、計画区間最寄りの指定文化財としては、紙本着色の閻魔府之図や四十七士像等があげられる。そのほか、川崎の歴史に深い関わりのある「我が国初の工業用水の案内碑」及び「稲毛・川崎二ヶ領用水余剰水取水口跡」等が存在する。</p> <p>また、計画区間には、周知の埋蔵文化財包蔵地として、古墳（平間銚子塚古墳）が存在する。</p>

表 2-21(3) 周辺地域の環境の特性

項目		周辺地域の環境の特性
環境の特性	景観	<p>計画区間は、現在、そのほとんどが現状のJR南武線の路線となっている。計画区間周辺は、主に住宅用地、集合住宅用地となっているほか、学校をはじめとした文教・厚生用地や軽工業用地等がみられる。</p> <p>計画区間付近の景観資源としては、渋川・加瀬をめぐる散歩道が存在する。また、計画区間周辺で比較的標高の高い場所にある景観資源としては、夢見ヶ崎（古墳群）、夢見ヶ崎（秋草文壺）が存在する。</p>
	構造物の影響	<p>計画区間は、現在、そのほとんどが現状のJR南武線の路線となっている。計画区間周辺は、主に住宅用地、集合住宅用地となっているほか、学校をはじめとした文教・厚生用地や軽工業用地等がみられる。</p>
	コミュニティ施設	<p>計画区間周辺の教育施設としては、計画区間西側に隣接して玉川中学校及び橘高等学校が存在し、保育園としては、計画区間内にはじめる保育園鹿島田が存在するほか、高齢者福祉施設としては、計画区間内に中丸子いこいの家が存在する。</p> <p>また、計画区間に隣接する公園緑地等としては、下沼部公園、向河原駅前広場公園、町田堀ふれあい公園、FUSO グリーンガーデンがある。</p>
	地域交通	<p>計画区間及びその周辺の主な道路として、一般国道409号、東京丸子横浜及び大田神奈川線が計画区間と一部交差している。</p> <p>計画区間周辺の道路交通センサス（全国道路・街路交通情勢調査一般交通量調査）の平成27年度の結果をみると、平日昼間の12時間交通量は、計画区間と交差する一般国道409号（区間番号：10160～10200）で5,666～17,009台、東京丸子横浜（区間番号：40020～40040）で13,784～17,827台、大田神奈川線で（区間番号：60060～60160）4,339～10,905台となっている。なお、計画区間及びその周辺における主な道路の平日昼間12時間交通量の最大値は、一般国道1号（区間番号：10005）で28,344台となっている。</p>
	地形・地質	<p>計画区間は、平坦な地形となっているが、計画区間周辺は主に人工地形である盛土地となっており、低地の微高地である自然堤防及び砂堆・砂州や低地の一般面である旧河道も分布している。計画区間周辺は、主に人工改変低地土である市街地及びその他の人工改変低地土となっている。</p> <p>計画区間及びその周辺は、多摩川下流部の三角州性低地に位置し、地質は多摩川に沿って分布する泥層よりなる低湿地堆積物及び旧河道堆積物、砂層よりなる自然堤防及び砂州堆積物となっている。</p>
	安全	<p>計画区間は、現在、そのほとんどが現状のJR南武線の路線となっている。</p> <p>計画区間周辺は、主に住宅用地、集合住宅用地となっているほか、学校をはじめとした文教・厚生用地や軽工業用地等がみられ、著しく安全に影響を及ぼす要因となる施設はない。</p>

第3章 環境影響評価項目の選定等

第3章 環境影響評価項目の選定等

1 環境影響要因の抽出

環境影響評価の予測及び評価にあたっては、対象事業の計画内容、計画区間及びその周辺の環境特性、地域特性を考慮し、事業実施に伴う環境影響要因（環境影響が想定される行為）を抽出のうえ、「地域環境管理計画」に掲げられている環境影響評価項目の中から、環境影響の予測及び評価を実施する項目を選定した。

環境影響要因の抽出結果は、表3-1に示すとおりである。

表3-1 環境影響要因の抽出

対象時期	環境影響要因の抽出結果	
工事中	建設機械の稼働	
	工事用車両の走行	
	工事の影響	
供用時	施設の存在	高架又は盛土構造
		駅舎等の存在
	施設の供用	列車の走行
		変電所の稼働
		踏切の除去

2 環境影響評価項目の選定

本事業の環境影響要因と環境影響評価項目の関連表は表3-2に、選定等の理由は表3-3(1)～(6)に示すとおりである。

表 3-2 環境影響要因と環境影響評価項目の関連表

環境影響評価項目 \ 環境影響要因		工事中			供用時					
		建設機械の稼働	工事用車両の走行	工事の影響	施設の存在		施設の供用			
					高架又は盛土構造	駅舎等の存在	列車の走行	変電所の稼働	踏切の除去	
地球環境	温室効果ガス									●
大気	大気質	●	●							
	悪臭									
	上記以外の大気環境要素									
水	水質									
	水温									
	底質									
地盤	地下水位									
	地盤沈下									
	変状									
土壌汚染	土壌汚染									
騒音・振動・低周波音	騒音	●	●				●	●		
	振動	●	●				●			
	低周波音									
廃棄物等	一般廃棄物									
	産業廃棄物			●						
	建設発生土			●						
水象	水量・流量・流出量									
	湧水									
	潮流									
	上記以外の水環境要素									
生物	植物									
	動物									
	生態系									
緑	緑の質									
	緑の量									
人と自然とのふれあい活動の場	人と自然とのふれあい活動の場									
歴史的・文化的遺産	歴史的・文化的遺産									
景観	景観、圧迫感				●	●				
建造物の影響	日照障害				●	●				
	テレビ受信障害				●	●	●			
	風害									
コミュニティ施設	コミュニティ施設									
地域交通	交通安全、交通混雑		●							
	地域分断									
地形・地質	土砂流出									
	崩壊									
	斜面安定									
安全	火災、爆発、化学物質の漏洩等							●		

注) は選定した項目を示す。

表 3-3(1) 環境影響評価項目選定等の理由

環境影響評価項目		項目の選定 (有○、無-)	現況の概要	選定理由、または、選定しない理由																																																		
地球環境	温室効果ガス	○	<p>計画区間は、現在、そのほとんどが現状の JR 南武線の路線となっており、踏切は遮断時間や交通量等を考慮し、国土交通大臣により改良する必要がある踏切に指定されている。計画区間周辺は、主に住宅用地、集合住宅用地となっているほか、学校をはじめとした文教・厚生用地や軽工業用地等がみられ、著しい温室効果ガス発生の要因となる施設はない。</p>	<p>【供用時】 本事業では、踏切の除去に係る交通混雑の緩和が、大きく温室効果ガスの排出削減に貢献することが考えられる。したがって、予測・評価項目として選定する。</p>																																																		
	大気質	○	<p>計画区間は、現在、そのほとんどが現状の JR 南武線の路線となっており、計画区間周辺の一般国道409号を走行する車両の排気ガスの排出はあるものの、著しい排出ガスを発生させる施設等は存在しない。</p> <p>また、計画区間周辺の一般局である中原測定局及び幸測定局、自排局である中原平和公園測定局及び遠藤町測定局の平成28～令和2年度におけるNO₂、SPM及びPM2.5の測定結果は、いずれも環境基準を達成している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定局</th> <th colspan="2">項目</th> <th>令和2年度</th> <th>環境基準の評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">一般局</td> <td rowspan="3">中原</td> <td>NO₂ (ppm)</td> <td>年間98%値</td> <td>0.039</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">SPM (mg/m³)</td> <td>年間2%除外値</td> <td>0.030</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>年平均値</td> <td>8.9</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">PM2.5 (μg/m³)</td> <td>年間98%値</td> <td>21.4</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">幸</td> <td>NO₂ (ppm)</td> <td>年間98%値</td> <td>0.040</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>SPM (mg/m³)</td> <td>年間2%除外値</td> <td>0.037</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">自排局</td> <td rowspan="2">中原平和公園</td> <td>NO₂ (ppm)</td> <td>年間98%値</td> <td>0.039</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>SPM (mg/m³)</td> <td>年間2%除外値</td> <td>0.036</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>遠藤町</td> <td>NO₂ (ppm)</td> <td>年間98%値</td> <td>0.047</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>SPM (mg/m³)</td> <td>年間2%除外値</td> <td>0.035</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	測定局	項目		令和2年度	環境基準の評価	一般局	中原	NO ₂ (ppm)	年間98%値	0.039	○	SPM (mg/m ³)	年間2%除外値	0.030	○	年平均値	8.9	○	PM2.5 (μg/m ³)	年間98%値	21.4	○	幸	NO ₂ (ppm)	年間98%値	0.040	○	SPM (mg/m ³)	年間2%除外値	0.037	○	自排局	中原平和公園	NO ₂ (ppm)	年間98%値	0.039	○	SPM (mg/m ³)	年間2%除外値	0.036	○	遠藤町	NO ₂ (ppm)	年間98%値	0.047	○	SPM (mg/m ³)	年間2%除外値	0.035	○	<p>【工事中】 建設機械の稼働及び工事用車両の走行による大気質への影響(NO₂、SPMの発生)が考えられる。したがって、予測・評価項目として選定する。</p> <p>【供用時】 本事業では、「大気汚染防止法」に規定される「ばい煙発生施設」、「一般粉じん発生施設」や「川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例」に規定される「排煙発生施設」等の指定施設は設置しない。したがって、予測・評価項目として選定しない。</p>
	測定局	項目		令和2年度	環境基準の評価																																																	
	一般局	中原	NO ₂ (ppm)	年間98%値	0.039	○																																																
SPM (mg/m ³)			年間2%除外値	0.030	○																																																	
			年平均値	8.9	○																																																	
PM2.5 (μg/m ³)		年間98%値	21.4	○																																																		
		幸	NO ₂ (ppm)	年間98%値	0.040	○																																																
			SPM (mg/m ³)	年間2%除外値	0.037	○																																																
自排局	中原平和公園	NO ₂ (ppm)	年間98%値	0.039	○																																																	
		SPM (mg/m ³)	年間2%除外値	0.036	○																																																	
	遠藤町	NO ₂ (ppm)	年間98%値	0.047	○																																																	
SPM (mg/m ³)	年間2%除外値	0.035	○																																																			
悪臭	-	<p>計画区間は、現在、そのほとんどが JR 南武線の路線となっており、著しい悪臭を発生させる施設等は存在しない。なお、計画区間周辺には、軽工業用地等が存在する。</p>	<p>【工事中】 工事中は、塗装工事等において、材料及び施工方法を検討し、できる限り悪臭の発生抑制に努める計画である。したがって、予測・評価項目として選定しない。</p> <p>【供用時】 供用時に、著しい悪臭を生じさせる要因はないことから、予測・評価項目として選定しない。</p>																																																			
上記以外の大気環境要素	-	<p>計画区間は、現在、そのほとんどが JR 南武線の路線となっており、上記以外の大気環境要素に係る物質を発生するような施設等はない。</p>	<p>工事中及び供用時には、上記以外の大気環境要素に影響を及ぼす要因はないことから、予測・評価項目として選定しない。</p>																																																			

表 3-3(2) 環境影響評価項目選定等の理由

環境影響評価項目		項目の選定 (有○、無-)	現況の概要	選定理由、または、選定しない理由
水	水質 (公共用水域)	-	<p>主要な河川として計画区間の東側に多摩川、西側に鶴見川、矢上川及び渋川が位置している。また、主要な用水路として、計画区間及びその北西側に二ヶ領用水が位置している。</p> <p>なお、計画区間及びその周辺では湧水は確認されていない。</p> <p>計画区間周辺の公共用水域水質測定地点である鶴見川(末吉橋)、矢上川(矢上川橋)の平成 27~令和元年度における pH、BOD、SS 及び D0 の測定結果は、いずれも環境基準に適合している。</p>	<p>【工事中】</p> <p>工事中の排水は、公共下水道に放流し、公共用水域への水質に著しい影響を及ぼす要因はないことから、予測・評価項目として選定しない。</p> <p>【供用時】</p> <p>供用時における計画区間からの排水は、公共下水道に放流する予定であることから、予測・評価項目として選定しない。</p>
	水質 (地下水)	-		<p>【工事中及び供用時】</p> <p>本事業では、工事中及び供用時ともに地下水の水質に影響を及ぼすような要因はないことから、予測・評価項目として選定しない。</p>
	水温	-		<p>【工事中】</p> <p>本事業では、公共用水域の水温に影響を及ぼす要因はないことから、予測・評価項目として選定しない。</p> <p>【供用時】</p> <p>供用時は、冷排水及び温排水を排出する施設はないことから、予測・評価項目として選定しない。</p>
	底質	-		<p>【工事中】</p> <p>本事業では、公共用水域の底質に影響を及ぼす要因はないことから、予測・評価項目として選定しない。</p> <p>【供用時】</p> <p>供用時は、雨水による路面からの排水や駅部から排水が発生するものの、公共下水道へ放流する計画であり、底質に影響を及ぼす要因はない。したがって、予測・評価項目として選定しない。</p>
地盤	地下水位	-	<p>計画区間は、平坦な地形となっているが、計画区間周辺は主に人工地形である盛土地となっており、低地の微高地である自然堤防及び砂堆・砂州や低地の一般面である旧河道も分布している。計画区間周辺は、主に人工改変低地土である市街地及びその他の人工改変低地土となっている。</p> <p>平成 29~令和 3 年度における周辺の水準点の変動量では、環境省が地盤沈下の注意が必要とされる目安としている年間沈下量 20mm 以上の沈下はない。</p>	<p>【工事中】</p> <p>本事業では、地下水の汲み上げを伴う工事や大規模な地下掘削を伴う工事は行わないことから、地盤に影響を及ぼす要因はないことから、予測・評価項目として選定しない。</p> <p>【供用時】</p> <p>本事業では、地下水の揚水等を行わないため、地盤への影響を及ぼす要因はないことから、予測・評価項目として選定しない。</p>
	地盤沈下	-		
	変状	-		
土壌汚染	土壌汚染	-	<p>計画区間及びその周辺では、「土壌汚染対策法」に基づく形質変更時届出区域が 11 カ所、要措置区域が 1 カ所指定されている。なお、計画区間内には土壌汚染に係る指定区域は存在しない。</p> <p>計画区間及びその周辺における「川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例」に基づく土壌調査結果について、計画区間では幸区塚越三丁目汚染区域が確認されており、現在は「対策実施中」及び「管理実施中」となっている。</p> <p>現地踏査において確認したところ、計画区間及びその周辺には、土壌汚染の原因となる有害物質を取り扱っている可能性のある工場、事業所等が存在する。</p>	<p>【工事中】</p> <p>本事業の計画区間は、現在の JR 南武線用地とともに、適切な汚染土壌処理が行われた後の更地にした用地を用いることから、予測・評価項目として選定しない。</p> <p>【供用時】</p> <p>本事業では、「土壌汚染対策法」及び「川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例」に規定される特定有害物質は使用しない。したがって、予測・評価項目として選定しない。</p>

表 3-3(3) 環境影響評価項目選定等の理由

環境影響評価項目		項目の選定 (有○、無-)	現況の概要	選定理由、または、選定しない理由
騒音・振動・低周波音	騒音	○	<p>計画区間は、現在、そのほとんどが現状の JR 南武線の路線となっている。</p> <p>令和 2 年度における自動車騒音測定結果（環境基準）は、県道大田神奈川（幸区南加瀬 4 丁目 22-21 地先）で測定されており、環境基準を達成している。</p> <p>令和 2 年度における自動車騒音・振動の測定結果（要請限度）では、一般国道 1 号の道路端で測定が行われており、いずれも要請限度を下回っている。</p> <p>令和 2 年度における鉄道騒音・振動測定結果では、東海道新幹線（中原区木月 4-49 付近）で測定が行われており、いずれも環境基準等を達成している。</p>	<p>【工事中】 建設機械の稼働及び工事用車両の走行による騒音への影響が考えられる。したがって、予測・評価項目として選定する。</p> <p>【供用時】 鉄道の走行及び変電所の稼働による騒音の影響が考えられる。したがって、予測・評価項目として選定する。</p>
	振動	○	<p>令和 2 年度における鉄道騒音・振動測定結果では、東海道新幹線（中原区木月 4-49 付近）で測定が行われており、いずれも環境基準等を達成している。</p> <p>さらに、計画区間周辺の主な騒音及び振動の発生源としては、JR 南武線のほか、JR 横須賀線、東海道新幹線等の鉄道交通、一般国道 409 号、川崎駅丸子線等の道路交通等があげられる。</p> <p>なお、計画区間周辺に著しい低周波音を発生させる施設等は存在しない。</p>	<p>【工事中】 建設機械の稼働及び工事用車両の走行による振動の影響が考えられる。したがって、予測・評価項目として選定する。</p> <p>【供用時】 鉄道の走行による振動の影響が考えられる。したがって、予測・評価項目として選定する。</p>
	低周波音	-	<p>なお、計画区間周辺に著しい低周波音を発生させる施設等は存在しない。</p>	<p>【工事中及び供用時】 工事中及び供用時に、著しい低周波音を生じさせる要因はないことから、予測・評価項目として選定しない。</p>
廃棄物等	一般廃棄物	-	<p>計画区間は、現在、そのほとんどが現状の JR 南武線の路線となっている。</p> <p>発生した一般廃棄物は、川崎市の許可を受けた業者等に運搬を委託して処理している。産業廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の許可を受けた業者に委託して、適正に処理している。</p>	<p>【供用時】 本事業では、現在と同様、駅部で発生する一般廃棄物は、川崎市の許可を受けた業者等に運搬を委託し処理する。したがって、予測・評価項目として選定しない。</p>
	産業廃棄物	○		<p>【工事中】 建設工事により産業廃棄物が発生するため、その影響が考えられる。したがって、予測・評価項目として選定する。</p> <p>【供用時】 本事業では、現在と同様、駅部で発生する産業廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の許可を受けた業者に運搬を委託し処理する。したがって、予測・評価項目として選定しない。</p>
	建設発生土	○		<p>【工事中】 建設工事により建設発生土が発生するため、その影響が考えられる。したがって、予測・評価項目として選定する。</p>

表 3-3(4) 環境影響評価項目選定等の理由

環境影響評価項目		項目の選定 (有○、無-)	現況の概要	選定理由、または、選定しない理由
水象	水量・ 流量・ 流出量	-	<p>主要な河川として計画区間の東側に多摩川、西側に鶴見川、矢上川及び渋川が位置している。また、主要な用水路として、計画区間及びその北西側に二ヶ領用水が位置している。</p> <p>なお、計画区間及びその周辺では湧水は確認されていない。</p>	<p>【工事中】 工事中の排水は、流量調整後に公共用下水道へ放流する計画であり、公共用水域の水量・流量・流出量に影響を及ぼす要因はない。したがって、予測・評価項目として選定しない。</p> <p>【供用時】 供用時は、雨水による路面からの排水や駅部から排水が発生するものの、公共用下水道へ放流する計画であり、公共用水域の水量、流量、流出量に影響を及ぼす要因はない。したがって、予測・評価項目として選定しない。</p>
	湧水	-		<p>【工事中及び供用時】 計画区間に湧水は存在せず、本事業では工事中及び供用時ともに地下水の揚水はない。したがって、予測・評価項目として選定しない。</p>
	潮流	-		<p>【工事中】 工事中の排水は、流量調整後に公共用下水道へ放流する計画であり、海域の潮流に影響を及ぼす要因はない。したがって、予測・評価項目として選定しない。</p> <p>【供用時】 供用時は、雨水による路面からの排水や駅部から排水が発生するものの、公共用下水道へ放流する計画であり、海域の潮流に影響を及ぼす要因はない。したがって、予測・評価項目として選定しない。</p>
	上記以外の 水環境要素	-		<p>【工事中及び供用時】 本事業では、上記以外の水環境要素に影響を及ぼす要因はないことから、予測・評価項目として選定しない。</p>
生物	植物	-	<p>計画区間は、現在、そのほとんどが現状の JR 南武線の路線となっており、計画区間周辺は、主に市街化区域となっている。</p> <p>計画区間の東側に流れる多摩川の河川敷では緑地がみられ、「河川水辺の国勢調査（多摩川の調査結果）」（令和 4 年 6 月閲覧 国土交通省関東地方整備局ホームページ）によると、スギナやミゾソバ等の植物種が確認されている。また、動物種では、マガモ、アオサギ等の鳥類やアユ、オイカワ等の魚類が確認されており、重要種としては、ダイサギやコチドリ等の鳥類、ヒメハゼ等の魚類が確認されている。</p>	<p>【工事中及び供用時】 計画区間は、現在、そのほとんどが現状の JR 南武線の路線となっており、計画区間周辺は、主に市街化区域となっている。また、本事業では、高架化工事により、多摩川及び二ヶ領用水の改変を行う計画はなく、工事中及び供用時ともに排水は公共用下水道に放流する予定である。したがって、植物・動物の生息環境に著しい影響を与える要因はないことから、予測・評価項目として選定しない。</p>
	動物	-	<p>計画区間及びその北西側に位置する二ヶ領用水では、「かわさき水辺の生きもの一川と海に出かけてみよう」（令和 4 年 6 月閲覧 川崎市ホームページ）によると、コイ、オイカワ等の魚類が確認されており、絶滅危惧種としては、ミナミメダカ等の魚類が確認されている。また、現地踏査により、マガモ、サギ類、ハクセキレイ等の鳥類が確認されている。</p>	
	生態系	-		

表 3-3(5) 環境影響評価項目選定等の理由

環境影響評価項目		項目の選定 (有○、無-)	現況の概要	選定理由、または、選定しない理由
緑	緑の質	-	<p>計画区間は、現在、そのほとんどが現状の JR 南武線の路線となっており、公園緑地等は存在しない。</p> <p>なお、計画区間に隣接する公園緑地等としては、下沼部公園、向河原駅前広場公園、町田堀ふれあい公園、FUSO グリーンガーデンがある。</p>	<p>【供用時】</p> <p>本事業は鉄道を高架化するものであり、緑の回復成は行わない。したがって、予測・評価項目として選定しない。</p>
	緑の量	-		
人と自然とのふれあい活動の場	人と自然とのふれあい活動の場	-	<p>計画区間は、現在、そのほとんどが現状の JR 南武線の路線となっている。計画区間周辺は、主に住宅用地、集合住宅用地となっているほか、学校をはじめとした文教・厚生用地や軽工業用地等がみられる。</p> <p>なお、計画区間最寄りの人と自然とのふれあい活動の場は、親水空間として二ヶ領用水があげられる。</p>	<p>【工事中及び供用時】</p> <p>本事業では、高架化工事により二ヶ領用水の改変を行う計画はなく、工事中及び供用時において、人と自然とのふれあい活動の場に著しい影響を及ぼす要因はないことから、予測・評価項目として選定しない。</p>
歴史的文化的遺産	歴史的文化的遺産	-	<p>計画区間周辺には国登録文化財は存在しないが、建造物をはじめとした市の指定文化財が多数存在する。なお、計画区間最寄りの指定文化財としては、紙本着色の閻魔府之図や四十七士像等があげられる。そのほか、川崎の歴史に深い関わりのある「我が国初の工業用水の案内碑」及び「稲毛・川崎二ヶ領用水余剰水取水口跡」等が存在する。</p> <p>また、計画区間には、周知の埋蔵文化財包蔵地として、古墳（平間銚子塚古墳）が存在する。</p>	<p>【工事中及び供用時】</p> <p>本事業の計画区間は、現在の JR 南武線用地とともに、適切な文化財の保全措置が行われた後の更地にした用地を用いることから、予測・評価項目として選定しない。</p>
景観	景観、圧迫感	○	<p>計画区間は、現在、そのほとんどが現状の JR 南武線の路線となっている。計画区間周辺は、主に住宅用地、集合住宅用地となっているほか、学校をはじめとした文教・厚生用地や軽工業用地等がみられる。</p> <p>計画区間付近の景観資源としては、渋川・加瀬をめぐる散歩道が存在する。また、計画区間周辺で比較的標高の高い場所にある景観資源としては、夢見ヶ崎（古墳群）、夢見ヶ崎（秋草文壺）が存在する。</p>	<p>【供用時】</p> <p>事業区間の延長が約4.5kmとなることから周辺の景観に変化が生じる可能性が考えられる。したがって、予測・評価項目として選定する。</p> <p>圧迫感については、駅部、高架構造区間及び変電所ともに周辺建物から突出した高さでないため、圧迫感に係る著しい影響はないものと考えられることから、予測・評価項目として選定しない。</p>
構造物の影響	日照障害	○	<p>計画区間は、現在、そのほとんどが現状の JR 南武線の路線となっている。計画区間周辺は、主に住宅用地、集合住宅用地となっているほか、学校をはじめとした文教・厚生用地や軽工業用地等がみられる。</p>	<p>【供用時】</p> <p>構造物の最高高さは、駅部が約15m、高架構造区間が約10m、変電所の建物高さが約17mであり、日照への影響が考えられる。したがって、予測・評価項目として選定する。</p>
	テレビ受信障害	○		<p>【供用時】</p> <p>構造物の最高高さは、駅部が約15m、高架構造区間が約10m、変電所の建物高さが約17mであり、テレビ受信障害への影響が考えられる。したがって、予測・評価項目として選定する。</p>
	風害	-		<p>【供用時】</p> <p>構造物の最高高さは、駅部が約15m、高架構造区間が約10m、変電所の建物高さが約17mであり、風害に係る著しい影響はないと考えられる。したがって、予測・評価項目として選定しない。</p>

表 3-3(6) 環境影響評価項目選定等の理由

環境影響評価項目		項目の選定 (有○、無-)	現況の概要	選定理由、または、選定しない理由
コミュニティ施設	コミュニティ施設	-	<p>計画区間周辺の教育施設としては、計画区間西側に隣接して玉川中学校及び橘高等学校が存在し、保育園としては、計画区間内にはじいろ保育園鹿島田が存在するほか、高齢者福祉施設としては、計画区間内は中丸子いこいの家が存在する。</p> <p>また、計画区間に隣接する公園緑地等としては、下沼部公園、向河原駅前広場公園、町田堀ふれあい公園、FUSOグリーンガーデンがある。</p>	<p>【工事中及び供用時】</p> <p>本事業では、向河原駅前広場の端部を使用するものの、使用範囲は公園としての利用のない範囲であるため、コミュニティ施設の利用に著しい影響を及ぼす要因はない。</p> <p>また、本事業では、にじいろ保育園鹿島田、高齢者福祉施設の中丸子いこいの家の敷地を使用するものの、本事業は移転・撤去等が行われた後の更地となった用地を用いるため、コミュニティ施設の利用に著しい影響を及ぼす要因はない。したがって、予測・評価項目として選定しない。</p>
	交通安全、交通混雑	○	<p>計画区間及びその周辺の主な道路として、一般国道409号、東京丸子横浜及び大田神奈川線が計画区間と一部交差している。</p> <p>計画区間周辺の道路交通センサス（全国道路・街路交通情勢調査一般交通量調査）の平成27年度の結果をみると、平日昼間の12時間交通量は、計画区間と交差する一般国道409号（区間番号：10160～10200）で5,666～17,009台、東京丸子横浜（区間番号：40020～40040）で13,784～17,827台、大田神奈川線（区間番号：60060～60160）4,339～10,905台となっている。なお、計画区間及びその周辺における主な道路の平日昼間12時間交通量の最大値は、一般国道1号（区間番号：10005）で28,344台となっている。</p>	<p>【工事中】</p> <p>工事用車両の走行による地域交通への影響が考えられる。したがって、予測・評価項目として選定する。</p> <p>【供用時】</p> <p>本事業では、施設関連車両の発生はなく、地域交通への影響を及ぼす要因はないことから、予測・評価項目として選定しない。</p>
地域交通	地域分断	-	<p>計画区間は、平坦な地形となっているが、計画区間周辺は主に人工地形である盛土地となっており、低地の微高地である自然堤防及び砂堆・砂州や低地の一般面である旧河道も分布している。計画区間周辺は、主に人工改変低地土である市街地及びその他の人工改変低地土となっている。</p> <p>計画区間及びその周辺は、多摩川下流部の三角州性低地に位置し、地質は多摩川に沿って分布する泥層よりなる低湿地堆積物及び旧河道堆積物、砂層よりなる自然堤防及び砂州堆積物となっている。</p>	<p>【工事中及び供用時】</p> <p>工事中は、踏切位置は概ね同じであり、踏切幅や現在の道路の通行形態に大きな変化はない。また、供用時に地域分断を生じさせる要因はない。したがって、予測・評価項目として選定しない。</p>
	土砂流出	-		
	崩壊	-		
地形・地質	斜面安定	-		
	火災、爆発、化学物質の漏洩等	○	<p>計画区間は、現在、そのほとんどが現状の JR 南武線の路線となっている。</p> <p>計画区間周辺は、主に住宅用地、集合住宅用地となっているほか、学校をはじめとした文教・厚生用地や軽工業用地等がみられ、著しく安全に影響を及ぼす要因となる施設はない。</p>	<p>【工事中】</p> <p>工事中は、危険物等の貯蔵及び取扱いはなく、安全に影響を及ぼす要因はないことから、予測・評価項目として選定しない。</p> <p>【供用時】</p> <p>本事業の変電所設備では、危険物等、高圧ガスを扱う計画である。したがって、予測・評価項目として選定する。</p>

3 環境配慮項目

(1) 環境配慮項目の選定

事業計画の内容と周辺地域の環境特性及び地域特性を考慮し、表3-4に示すとおり環境配慮項目を選定した。

表3-4 環境配慮項目の選定

環境配慮項目	項目の選定	選定理由、または、選定しない理由
有害化学物質	—	本事業は鉄道を高架にする事業であり、有害化学物質を使用しないことから、環境配慮項目として選定しない。
放射性物質	—	本事業は鉄道を高架にする事業であり、放射性物質を使用しないことから、環境配慮項目として選定しない。
電磁波・電磁界	○	供用時において、移設する向河原変電所から電磁波・電磁界が発生する可能性があることから、環境配慮項目として選定する。
光害	○	高架化による新たな照明により、周辺の生活環境に影響を及ぼす可能性があることから、環境配慮項目として選定する。
地震時等の災害	○	地震時等の災害の発生時における配慮が求められることから、環境配慮項目として選定する。
生物多様性	—	本事業は鉄道を高架にする事業であり、生物多様性の保全に影響を及ぼす計画はないことから、環境配慮項目として選定しない。
地球温暖化対策	○	工事中において、二酸化炭素等が排出されるため、環境配慮項目として選定する。
気候変動の影響への適応	—	本事業は鉄道を高架にする事業であり、治水・水害対策や暑熱対策に関連する計画はないことから、環境配慮項目として選定しない。
酸性雨	—	本事業は現在の鉄道を高架にする事業であり、酸性雨の起因物質（硫黄酸化物、窒素酸化物等）の著しい発生はないため、環境配慮項目として選定しない。
資源	○	工事中において、資源の有効利用への配慮が求められるため、環境配慮項目として選定する。

注) ○：選定した項目、—：選定しない項目

(2) 環境配慮方針

選定した環境配慮項目の環境配慮方針は、表 3-5 に示すとおりである。

表 3-5 環境配慮方針

選定した環境配慮項目	環境配慮方針	
	工事中	供用時
電磁波・電磁界	—	・電磁波・電磁界による影響の低減を図る。
光害	—	・照明施設による光害の低減を図る。
地震時等の災害	—	・耐震性の確保に努める。 ・災害発生時の利用者の安全の確保を図る。
地球温暖化対策	・建設機械及び工事用車両の効率的な使用等により温室効果ガスの低減を図る。 ・温室効果ガスの抑制に配慮した資材を採用する。	—
資源	・建設資材の有効利用、再利用を図る。	—